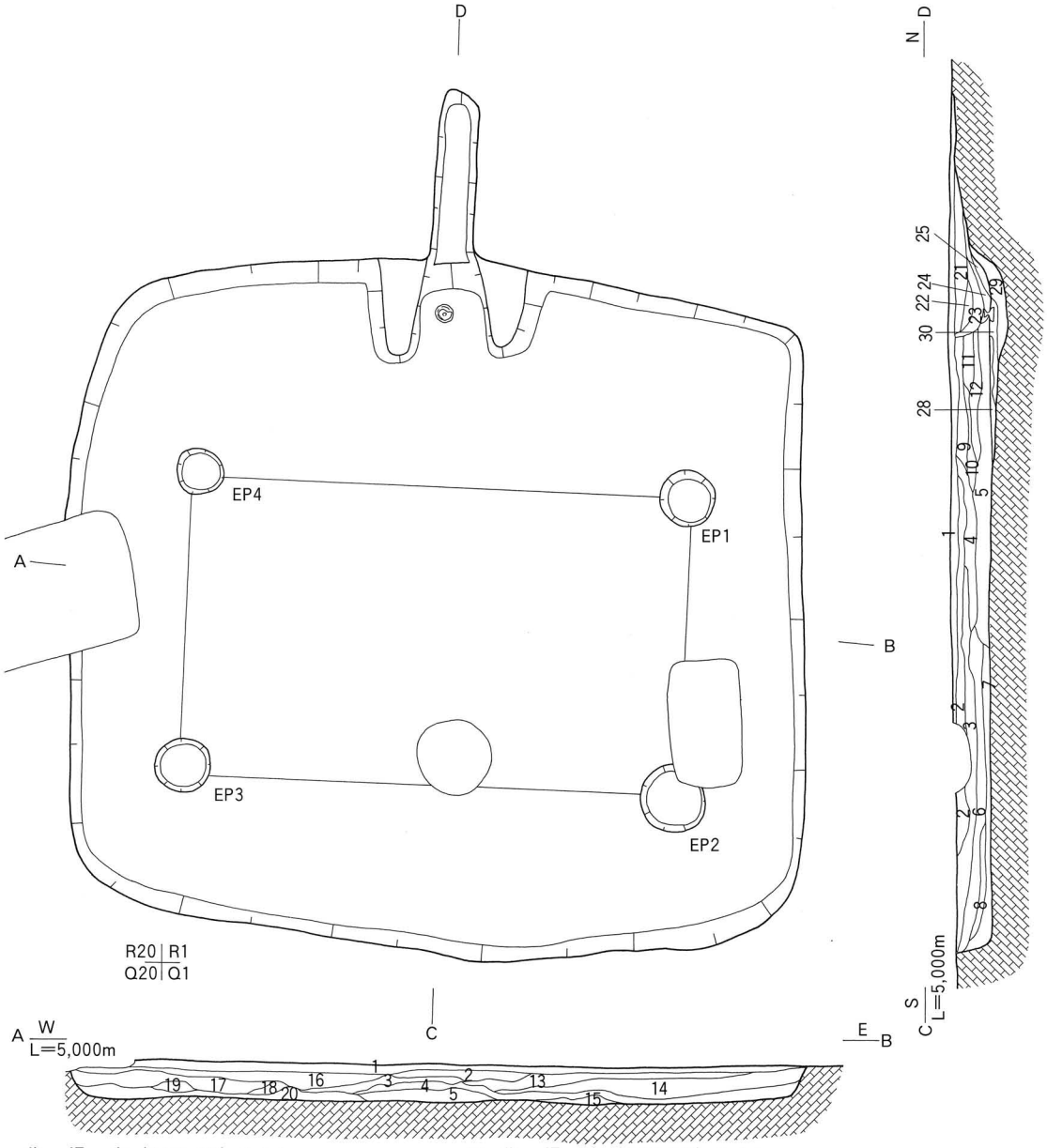
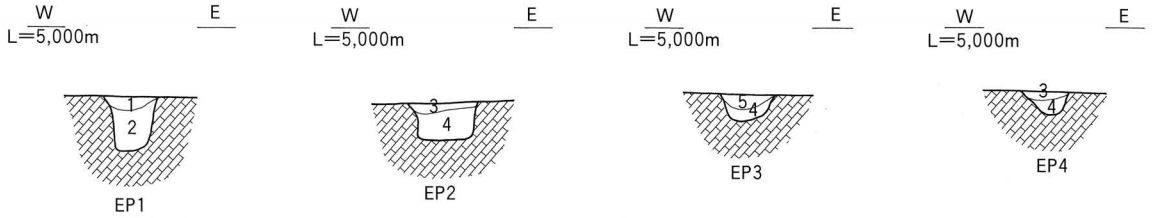


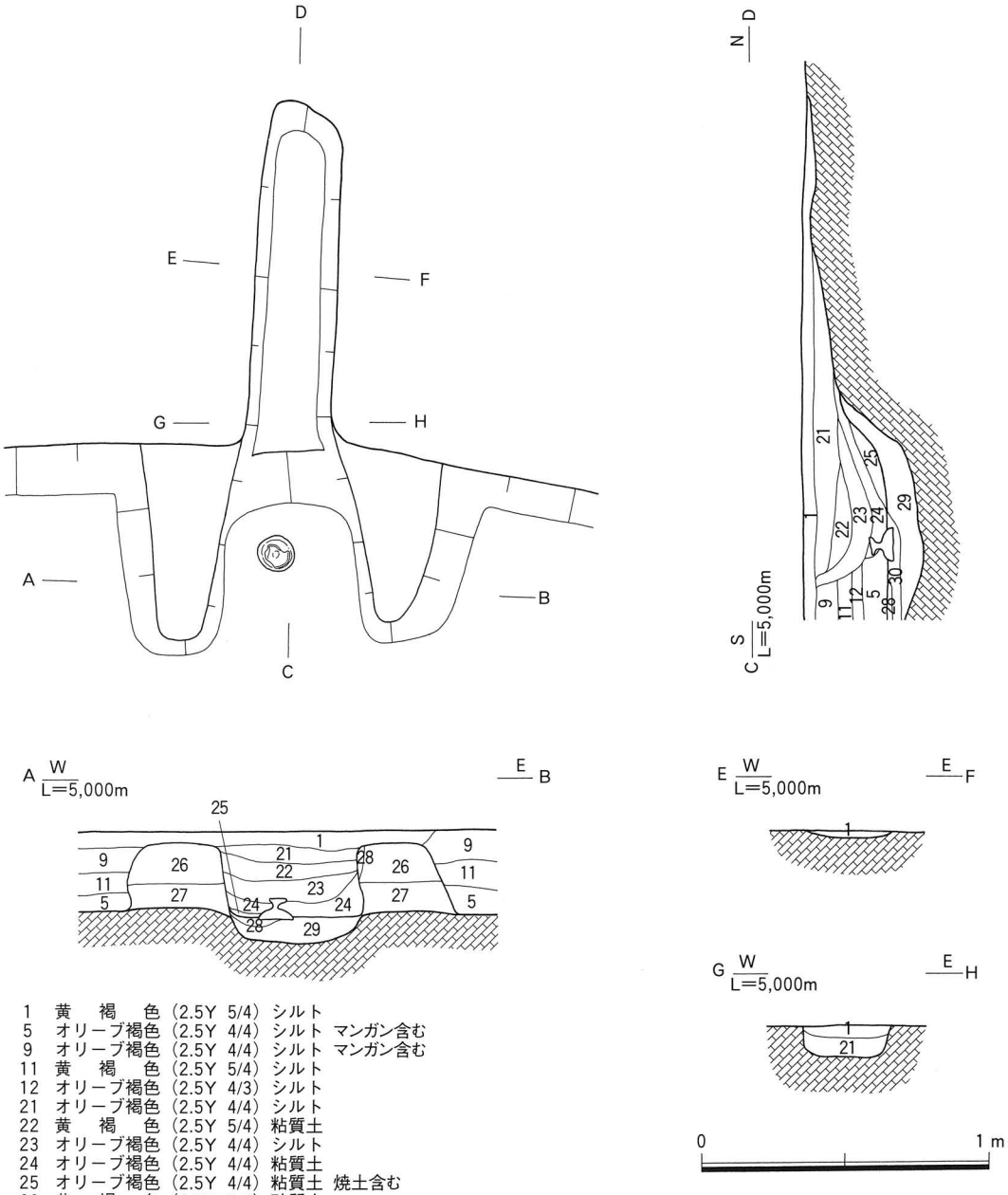
1 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
2 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガン含む
6 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト 鉄分含む
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
8 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト 炭化物含む
9 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガン含む
10 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
11 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
12 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
13 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
14 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
15 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
16 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
17 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト マンガン含む
18 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
19 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
20 褐　　色（10YR 4/4）シルト



1 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
2 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
3 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
4 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
5 黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土

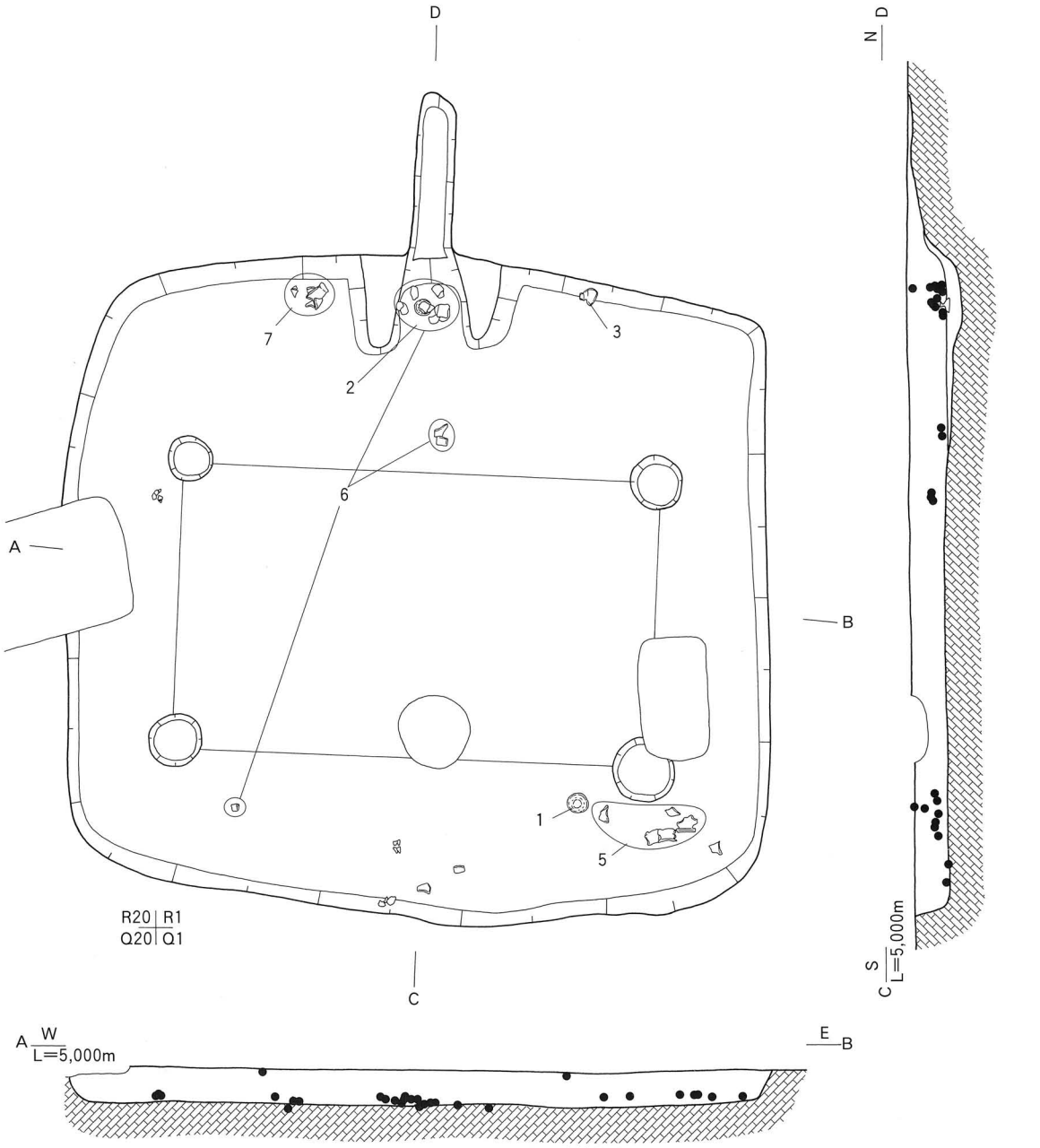
第485図　SB3039 平断面図

0　2 m

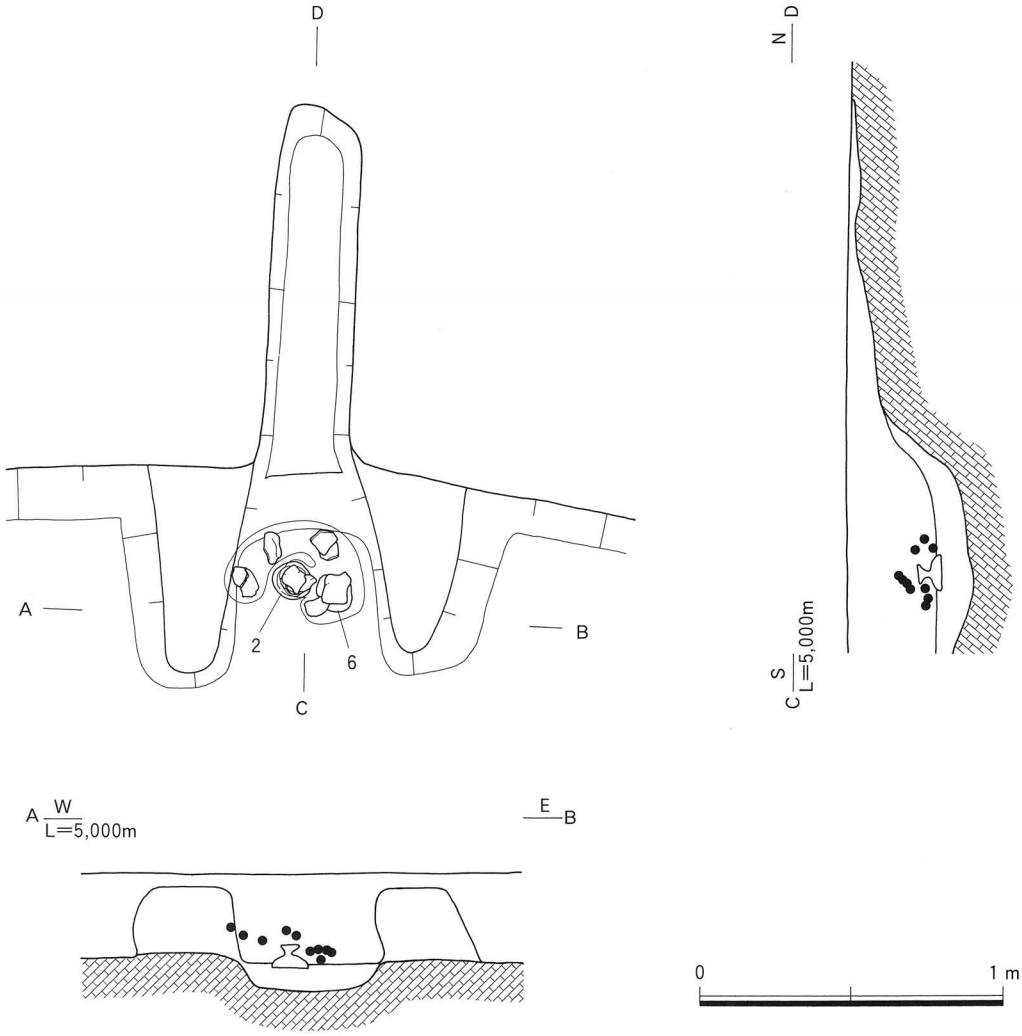


1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガン含む
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガン含む
11　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
21　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
22　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
23　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
24　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
25　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土　焼土含む
26　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
27　黄　褐　色（2.5Y 5/6）砂質土
28　褐　　色（7.5YR4/4）シルト（焼土）
29　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
30　褐　　色（10YR 4/6）粘質土　炭化物含む

第486図　SB3039・EH1 平断面図



第487図　SB3039 遺物出土状況図



第488図　SB3039・EH1 遺物出土状況図

形態・規模　平面形態は長方形を呈し、長軸5.08m、短軸4.28m、表面積は約21.7㎡を測る。残存する深度は0.43mである。

土層　29層に分層される。

柱穴　柱穴は４基検出されている。

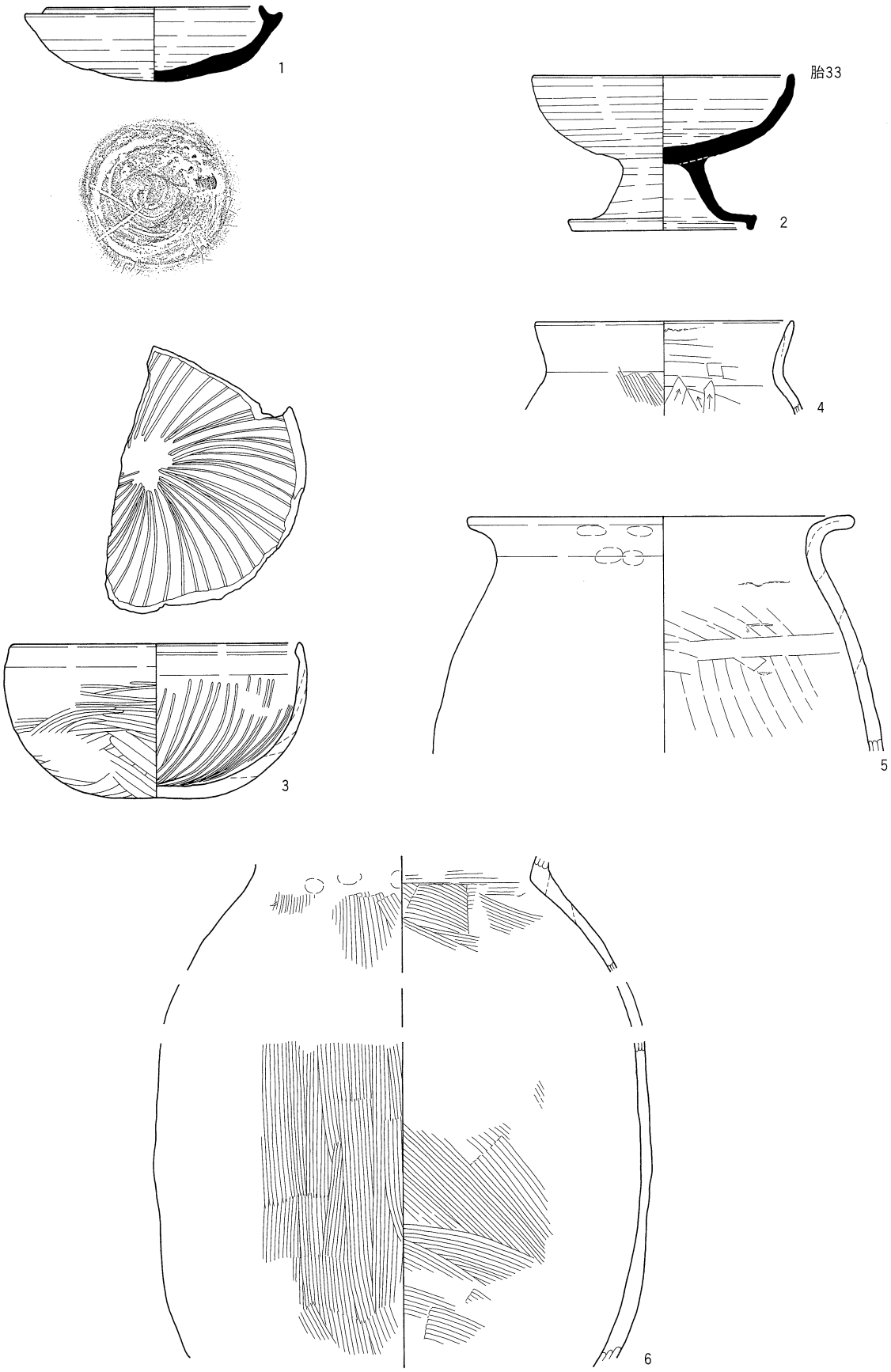
土坑　北東、北西の隅にそれぞれ１基ずつ検出されている。いずれも皿状の浅いピットである。

竈　北壁のほぼ中央に１基検出された。支脚に須恵器の高杯を倒置して使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、煙道部の端は後世の遺構に切られている。下部構造は検出されていない。

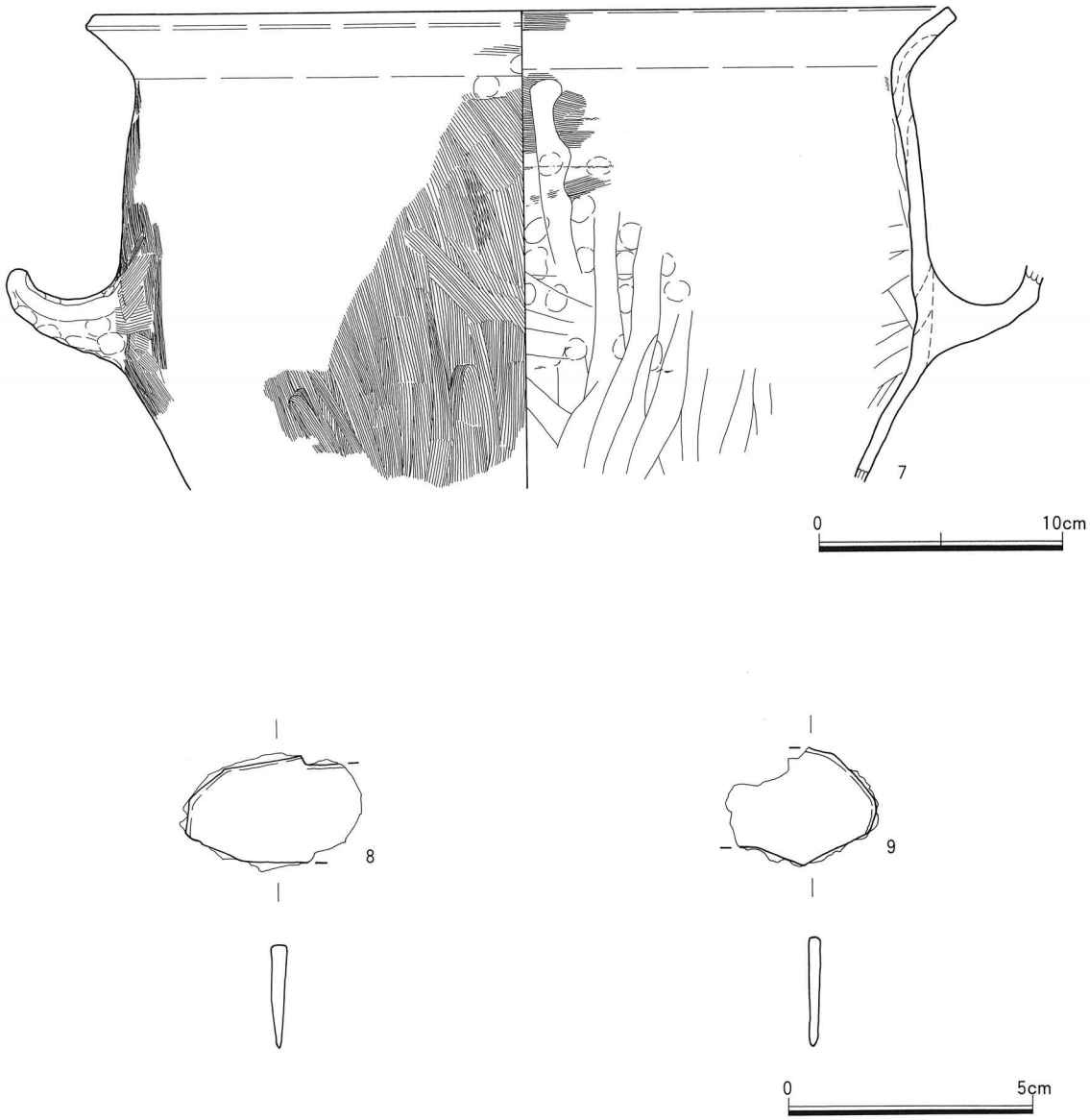
遺物出土状況　竈内および北側の床面を中心に検出された。

出土遺物　１は須恵器の高杯である。２は須恵器の甕である。３・４は土師器の甕である。３は外面体部にヘラ記号を持つ。５は土師器の椀である。６は滑石製の臼玉である。７は鉄製の鎌である。８は鉄鏃である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。



第489図　SB3039 出土遺物（1）



第490図　SB3039 出土遺物（2）

44号竪穴住居跡（SB3044）（第515～523図）

検出場所　2003年度調査３－１区　Loc.G１・βⅡS19・20・T19・20グリッド

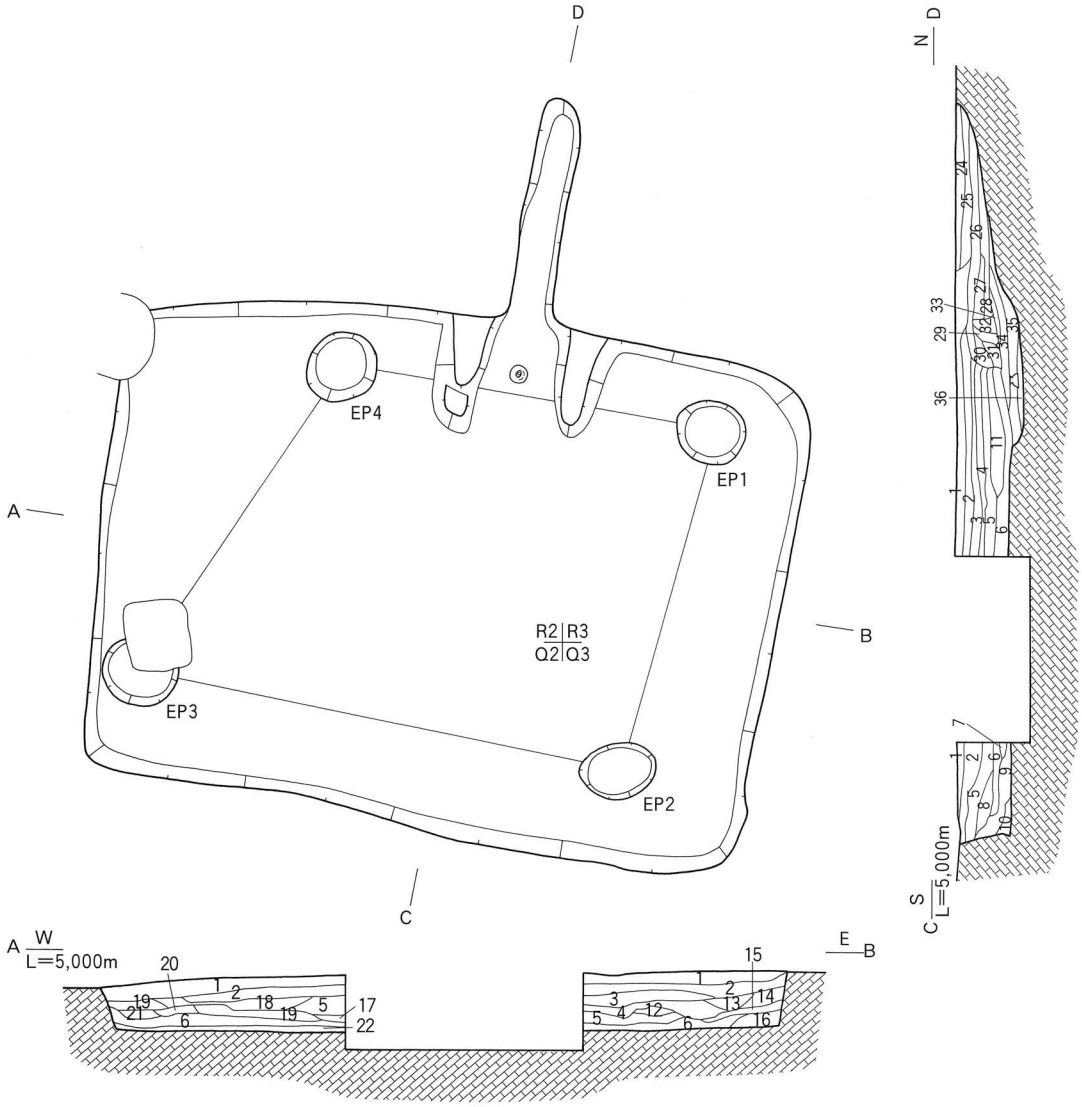
形態・規模　平面形状はほぼ方形を呈し、長軸4.73m、短軸4.60m、表面積は約21.8㎡を測る。残存する深度は0.27mである。

土層　25層に分層される。

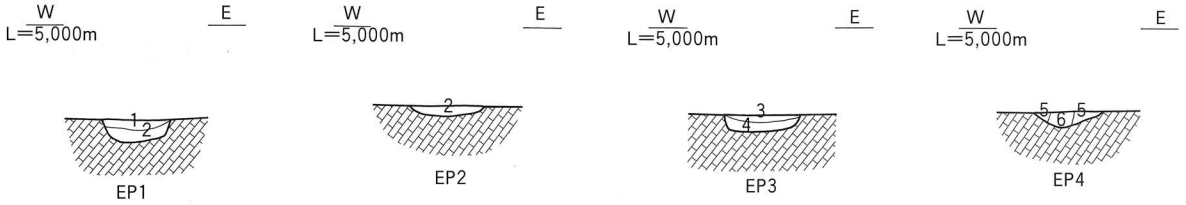
柱穴　柱穴は６基検出されている。主柱穴は４本とみられるが、EP２・EP４の脇にそれぞれ１基ずつ柱穴が検出されている。

竈　北壁のほぼ中央に１基検出された。支脚に須恵器の高杯を倒置して使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されている。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内およびその周辺部、また床面中央部を中心として検出されている。



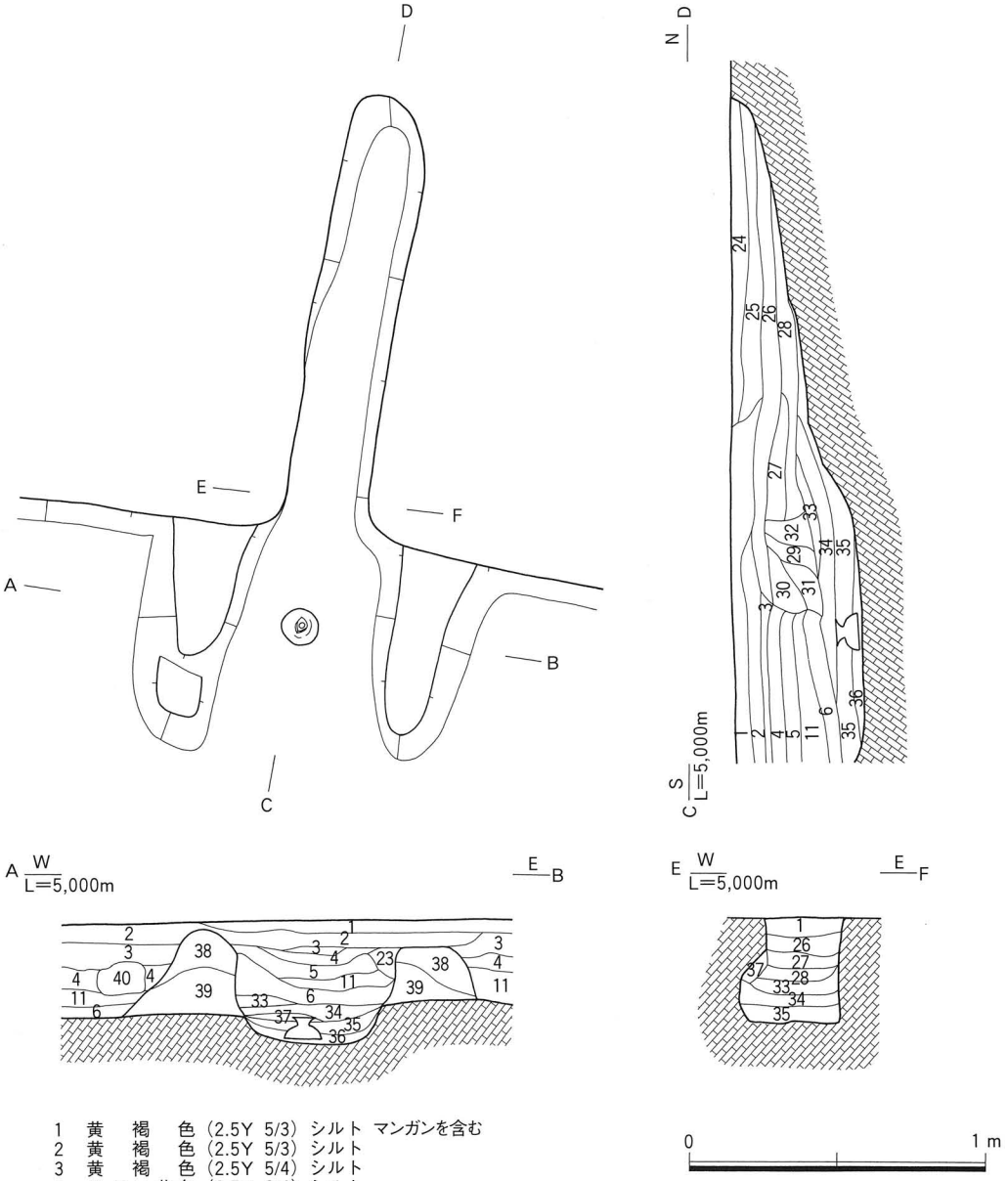
1 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト マンガンを含む
2 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4 にぶい黄色（2.5Y 6/4）シルト
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
8 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
9 黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘質土
10 黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
11 黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土 マンガンを含む
12 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
13 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガンを含む
14 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
15 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
16 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
17 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
18 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
19 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
20 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
21 にぶい黄色（2.5Y 6/4）シルト
22 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土



1 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
2 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
3 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4 黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
6 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土

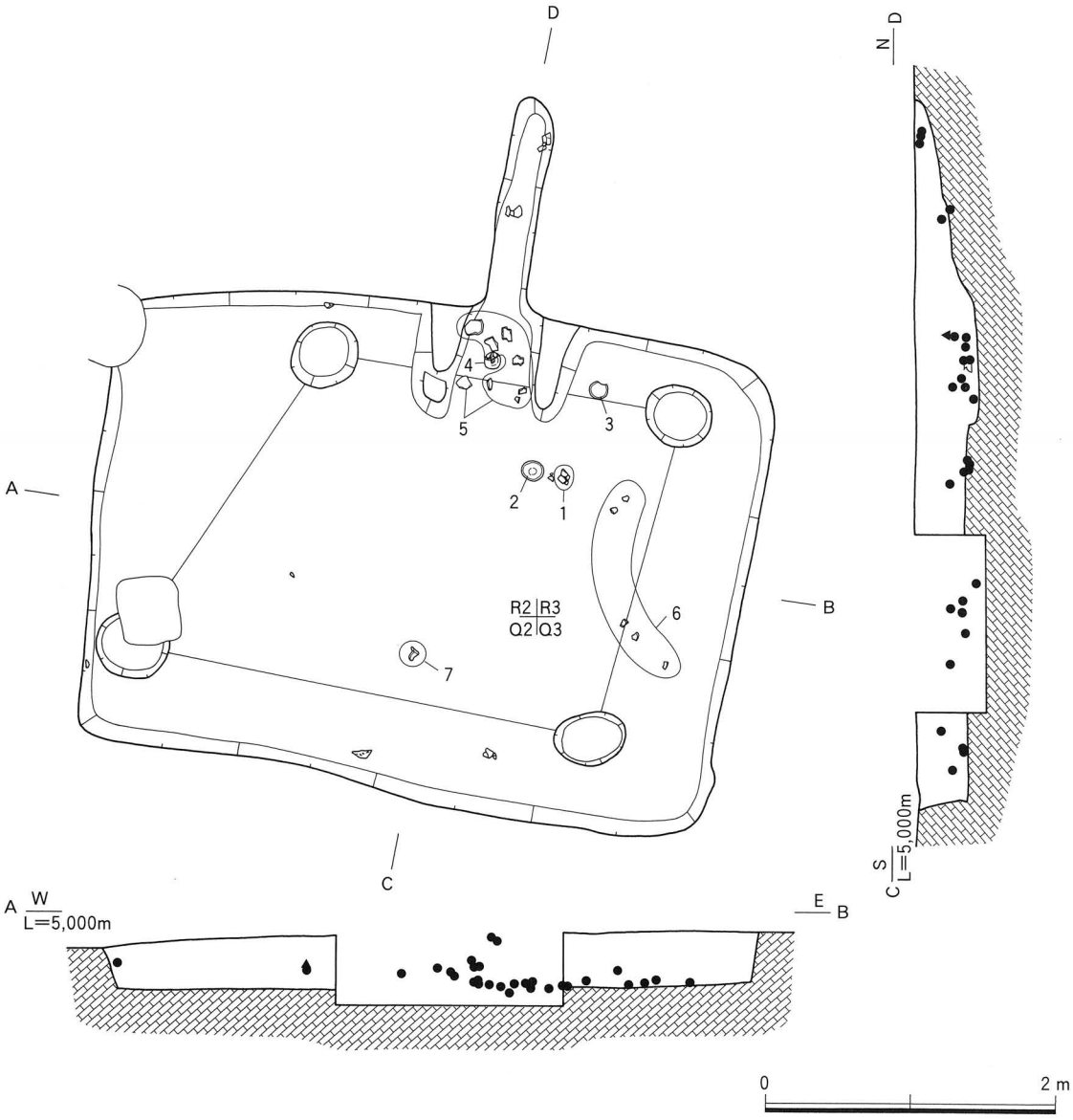
0　2 m

第491図　SB3040 平断面図



1　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト　マンガンを含む
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4　にぶい黄色（2.5Y 6/4）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
11　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土　マンガンを含む
23　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
24　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
25　にぶい黄色（2.5Y 6/4）シルト
26　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
27　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
28　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
29　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
30　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
31　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
32　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
33　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土　焼土を含む
34　褐　　色（10YR 4/6）砂質土　焼土を含む
35　褐　　色（7.5YR4/4）粘質土
36　褐　　色（7.5YR4/4）シルト
37　にぶい黄橙色（10YR 6/4）シルト　焼土を含む
38　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　焼土を含む
39　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土　焼土を含む
40　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土

第492図　SB3040・EH1 平断面図



第493図　SB3040 遺物出土状況図

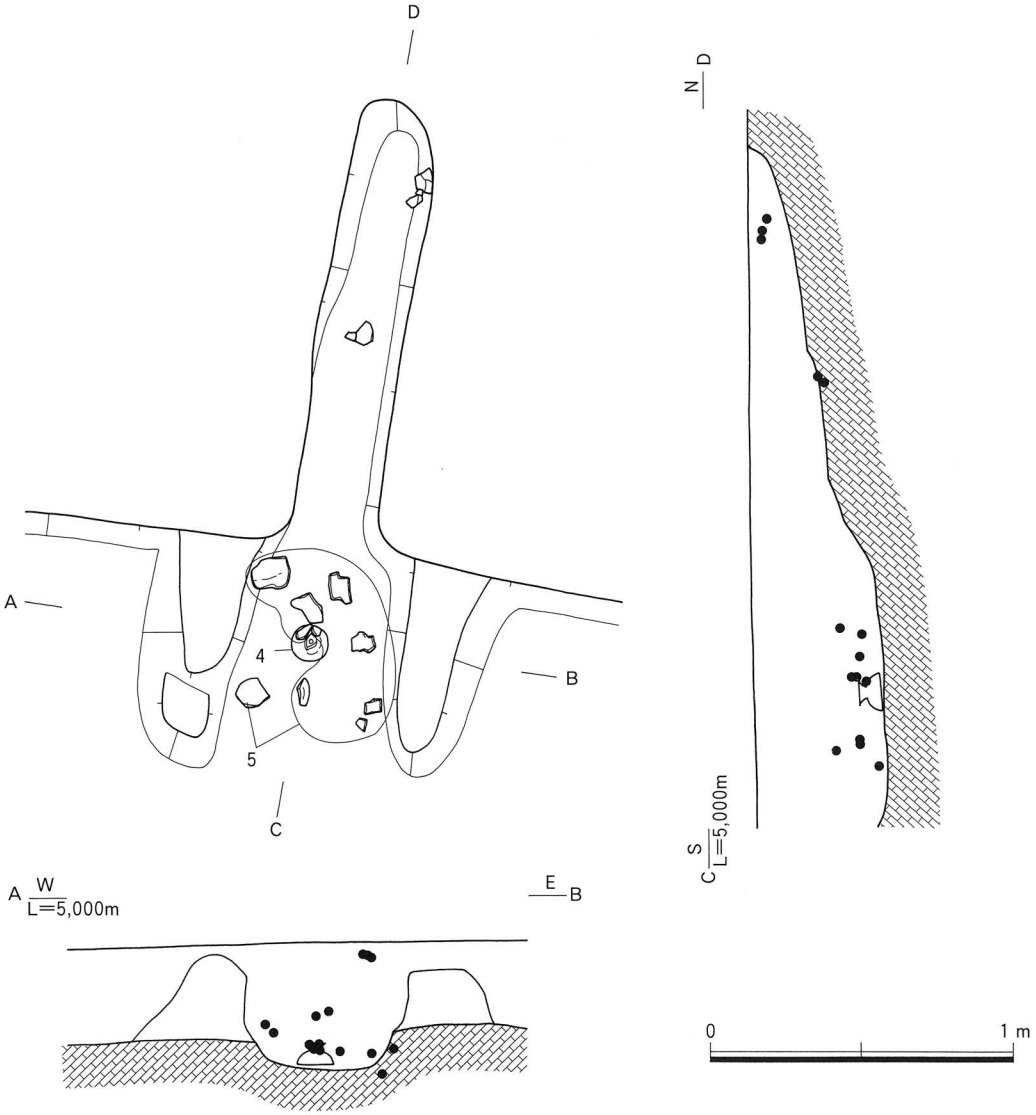
出土遺物　1・2は須恵器の杯蓋である。3～5は須恵器の杯身である。6は須恵器の高杯である。7は須恵器の壺である。8～13は土師器の甕である。11は外面体部にヘラ記号を持つ。14は土師器の鉢である。15は土師器の甑である。16は滑石の紡錘車である。表面に鋸歯文が線刻されている。17は砂質片岩の剥片である。18は泥岩の砥石である。19・20は砂岩の敲石である。21は砂質片岩の剥片である。受熱しており、竈の部材の可能性がある。22は滑石製の臼玉の未成品である。23は鉄製の鎌である。24は鉄製の刀子である。25は鉄鏃である。26は棒状の鉄器である。27は釘である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第1四半期・TK209並行期）と考えられる。

45号竪穴住居跡（SB3045）（第524～530図）

検出場所　2003年度調査3－1区　Loc.G1・βⅢT1・2・γⅢA1・2グリッド

形態・規模　平面形態はほぼ方形を呈し、長軸4.63m、短軸4.30m、表面積は約19.9㎡を測る。残存す



第494図　SB3040・EH1 遺物出土状況図

る深度は0.30mである。

土層　20層に分層される。

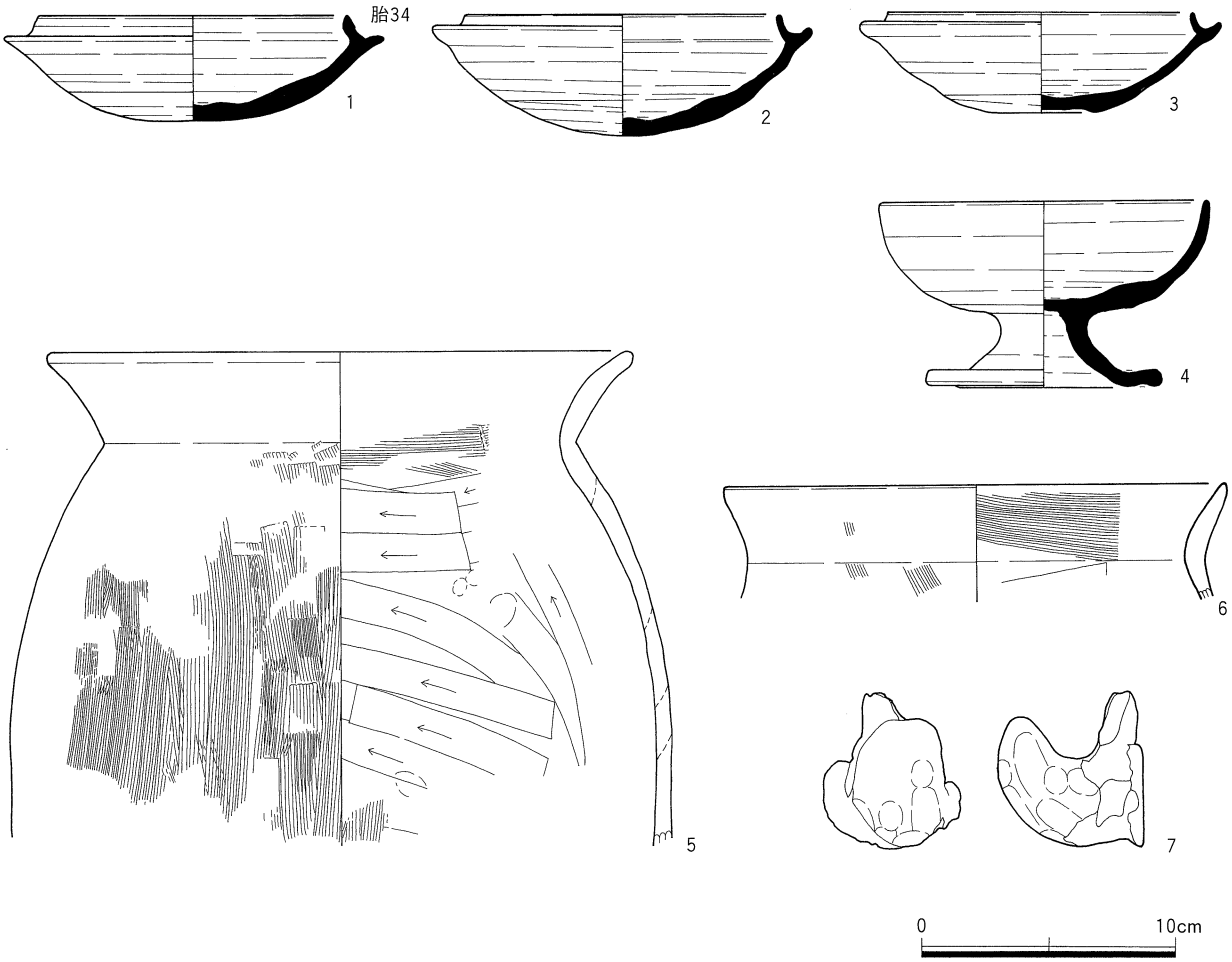
柱穴　柱穴は５基検出されている。主柱穴は４本とみられるが、床面中央やや東寄りで１基、柱穴が検出されている。

竈　北壁のほぼ中央から１基検出された。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内および床面の北東隅を中心に検出されている。

出土遺物　１～３は須恵器の杯身である。４は須恵器の甕である。５は土師器の椀である。６～10は土師器の甕である。11～13は鞴の羽口である。14は土錘である。15は砂岩の敲石である。16は用途不明の鉄器である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。



第495図　SB3040 出土遺物

46号竪穴住居跡（SB3046）（第531～537図）

検出場所　2003年度調査３－１区　Loc.G１・βⅡT19・20・γⅡA19・20・B20グリッド

形態・規模　平面形態はほぼ方形で、長軸6.00m、短軸5.78m、表面積は約34.7㎡を測る。残存する深度は0.39mである。

土層　20層に分層される。

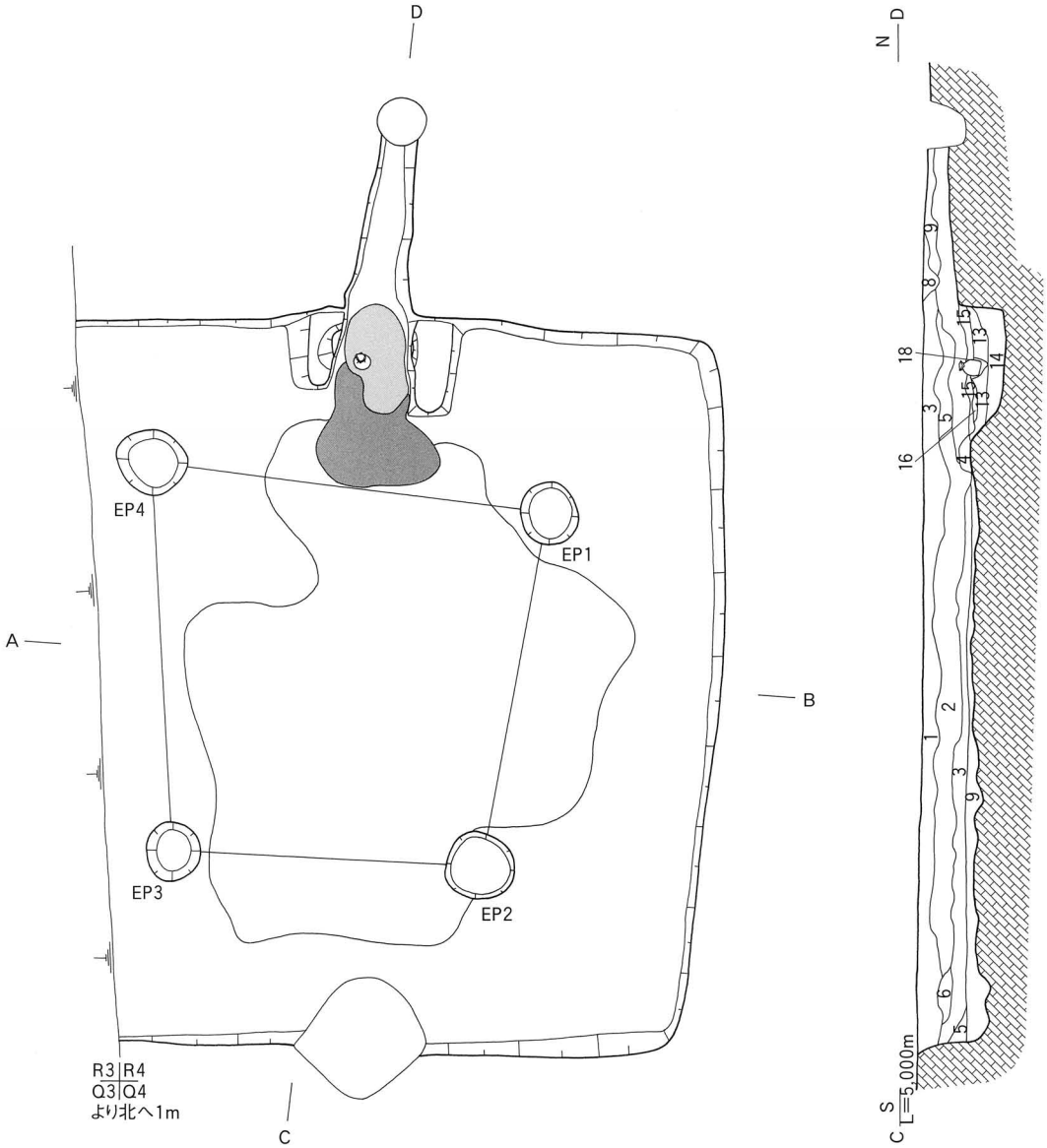
柱穴　柱穴は６基検出されている。主柱穴は４本とみられるが、北東側の柱は後世の遺構によって失われている。

竈　北壁のほぼ中央から１基検出された。支脚は須恵器の高杯を倒置させて使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されている。下部構造は検出されていない。

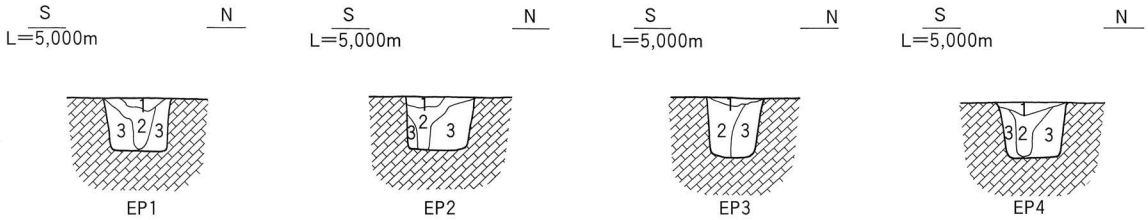
遺物出土状況　竈内および床面南東部分に集中して検出された。

出土遺物　１・２は須恵器の杯蓋である。３～５は須恵器の杯身である。６・７は須恵器の高杯である。８は須恵器の壺である。９は須恵器の甕である。10～12は土師器の甕である。13は土師器の甑である。14は滑石製の臼玉である。15は棒状の鉄器である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（６世紀第４四半期・TK43並行期）と考えられる。



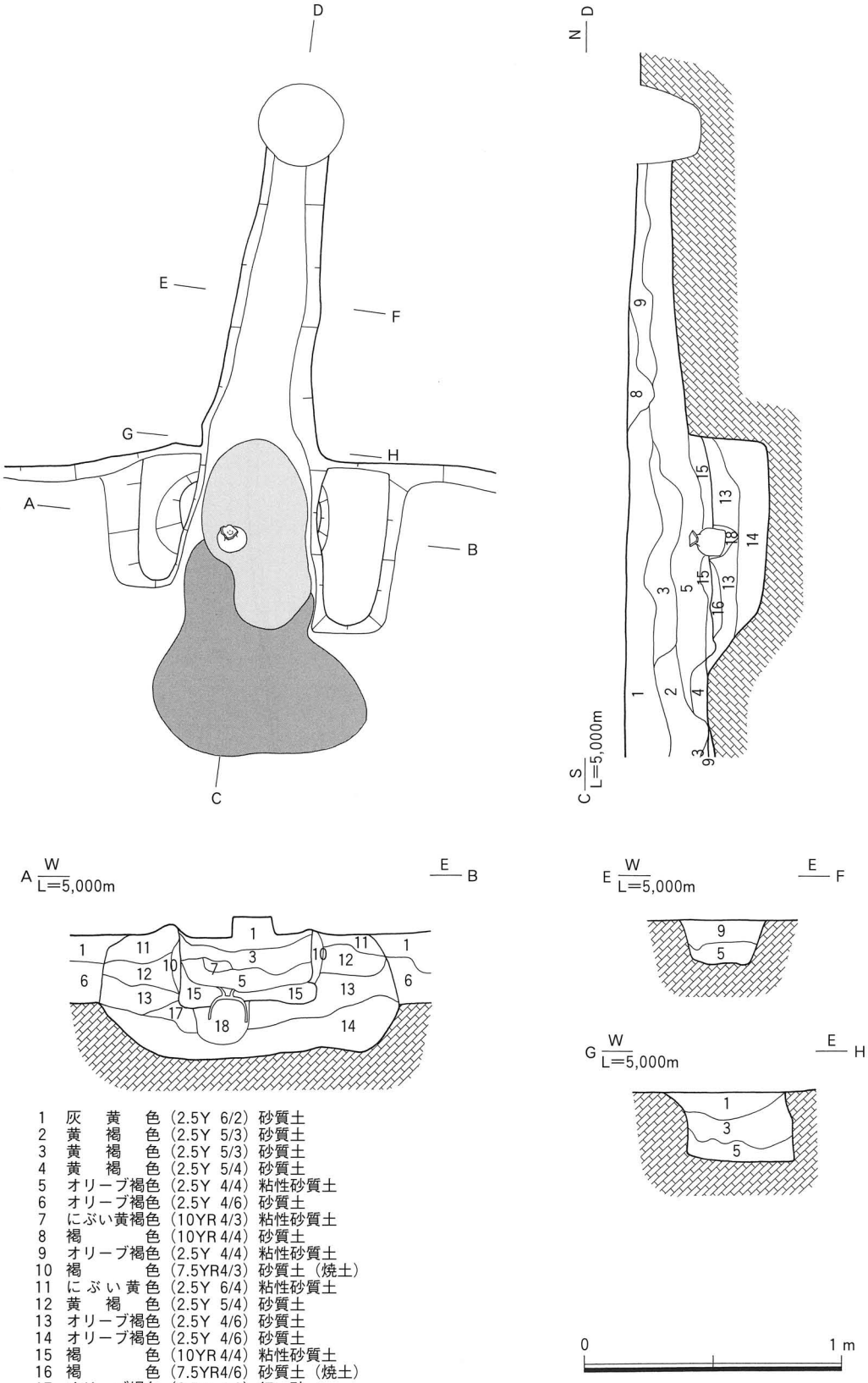
1　灰　黄　色（2.5Y 6/2）砂質土
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
4　オリーブ色（5Y 5/4）粘性砂質土
5　オリーブ黄色（5Y 6/3）粘性砂質土
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
8　暗灰黄色（2.5Y 4/2）粘性砂質土
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘性砂質土



1　灰黄褐色（10YR 5/2）砂質土
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
3　にぶい黄褐色（10YR 5/4）砂質土

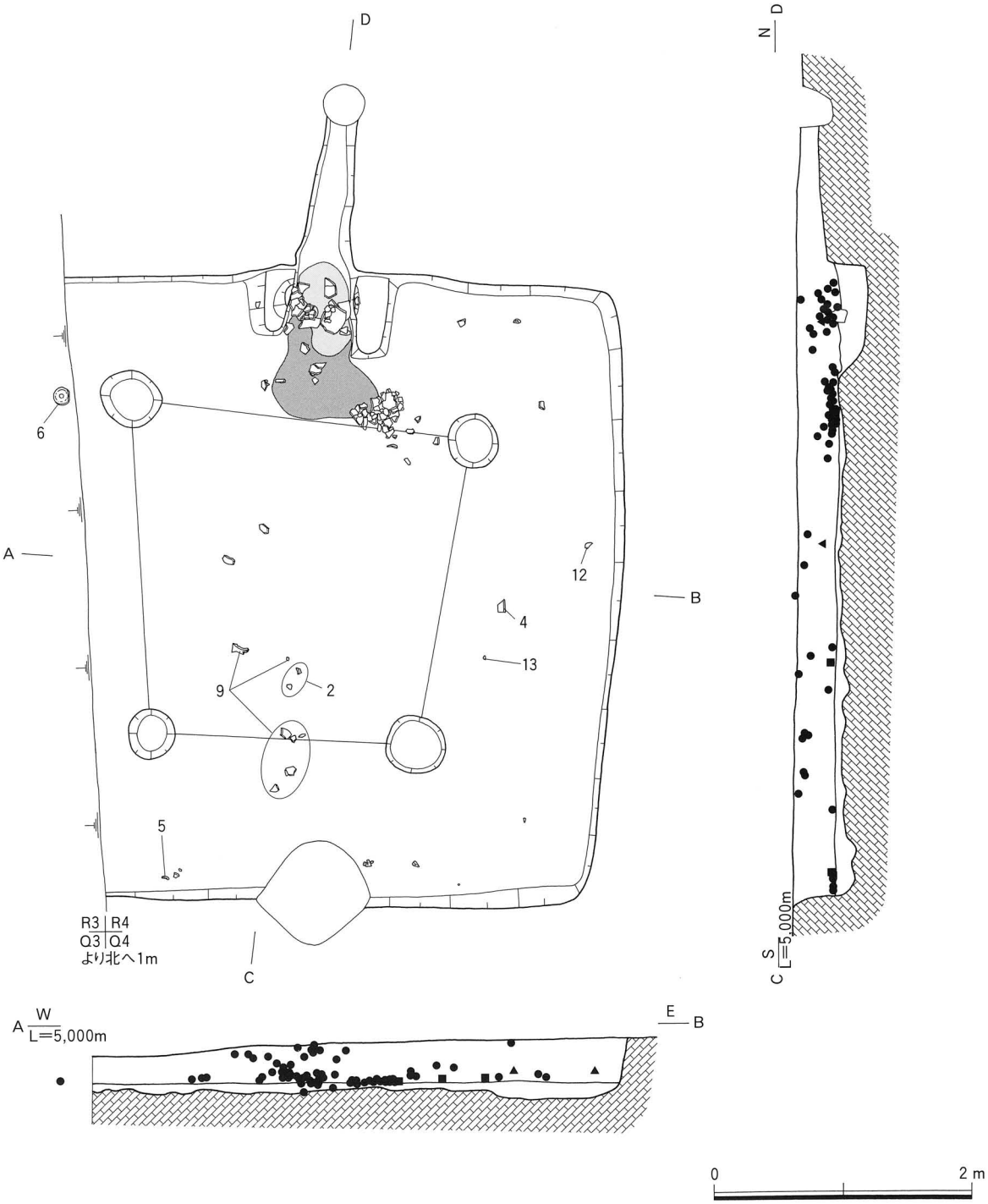
0　2 m

第496図　SB3041 平断面図

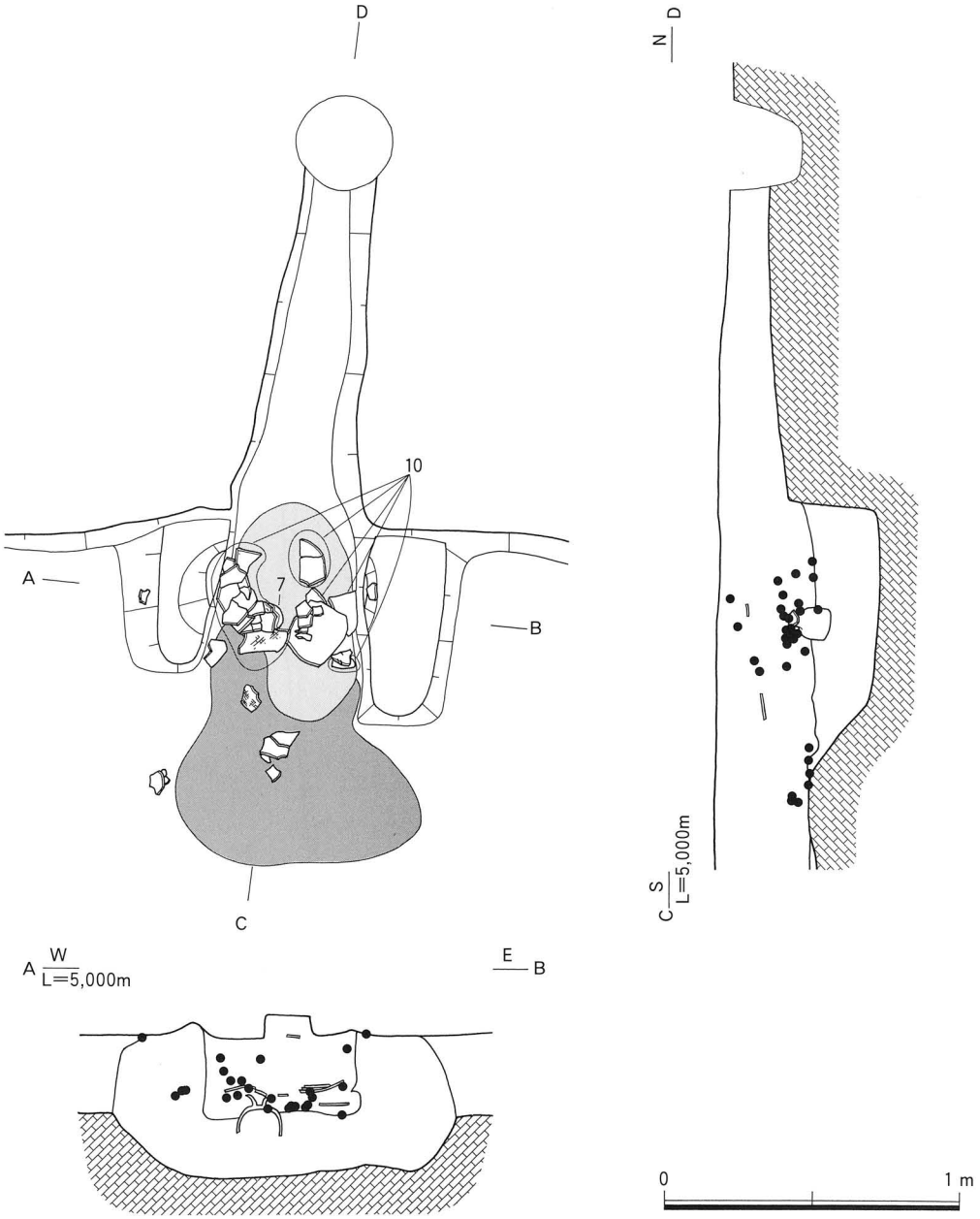


1　灰　黄　色（2.5Y 6/2）砂質土
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
3　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘性砂質土
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
7　にぶい黄褐色（10YR 4/3）粘性砂質土
8　褐　　色（10YR 4/4）砂質土
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘性砂質土
10　褐　　色（7.5YR4/3）砂質土（焼土）
11　にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘性砂質土
12　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
13　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
15　褐　　色（10YR 4/4）粘性砂質土
16　褐　　色（7.5YR4/6）砂質土（焼土）
17　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）細　砂
18　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘性砂質土

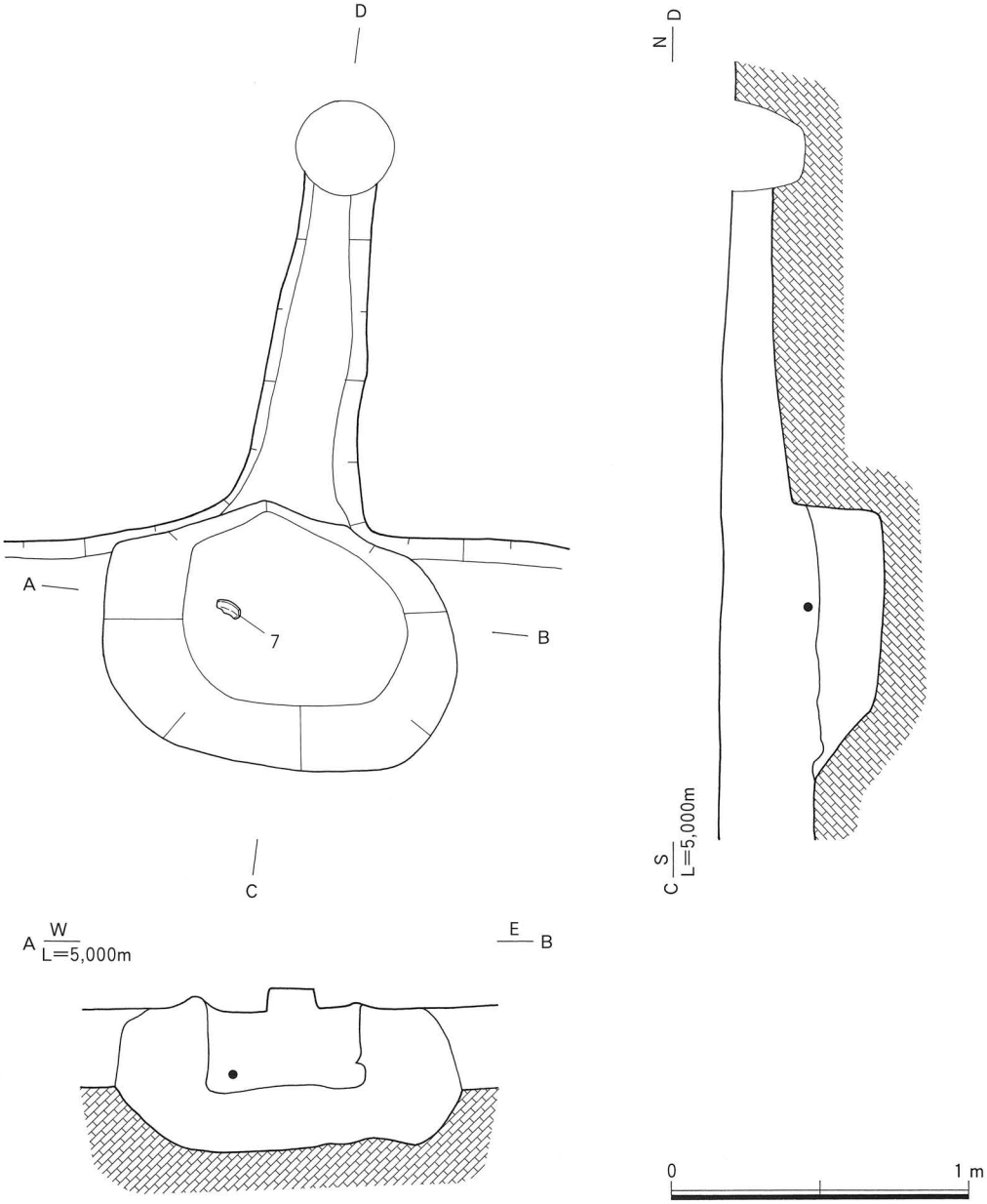
第497図　SB3041・EH1 平断面図



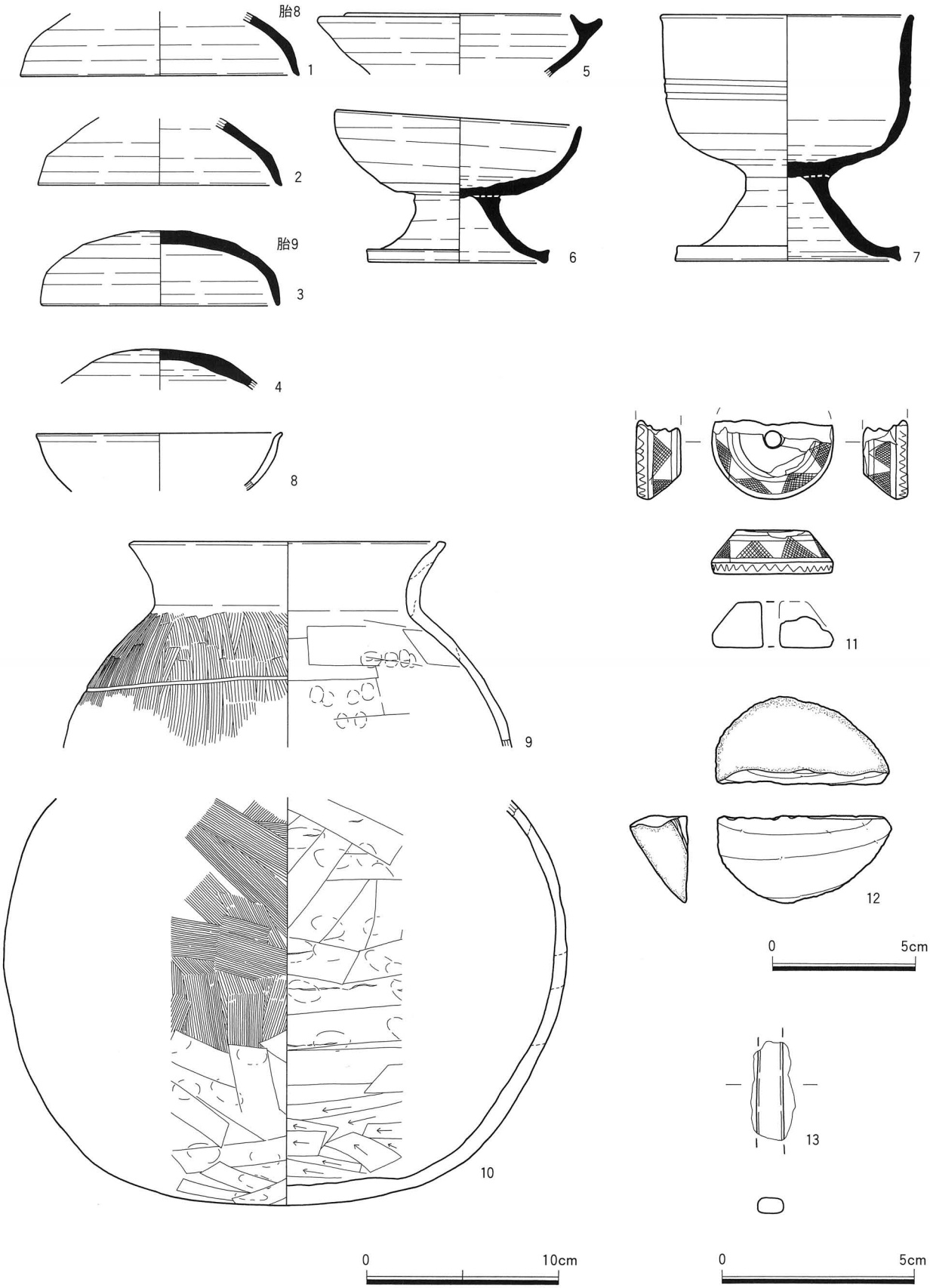
第498図　SB3041 遺物出土状況図



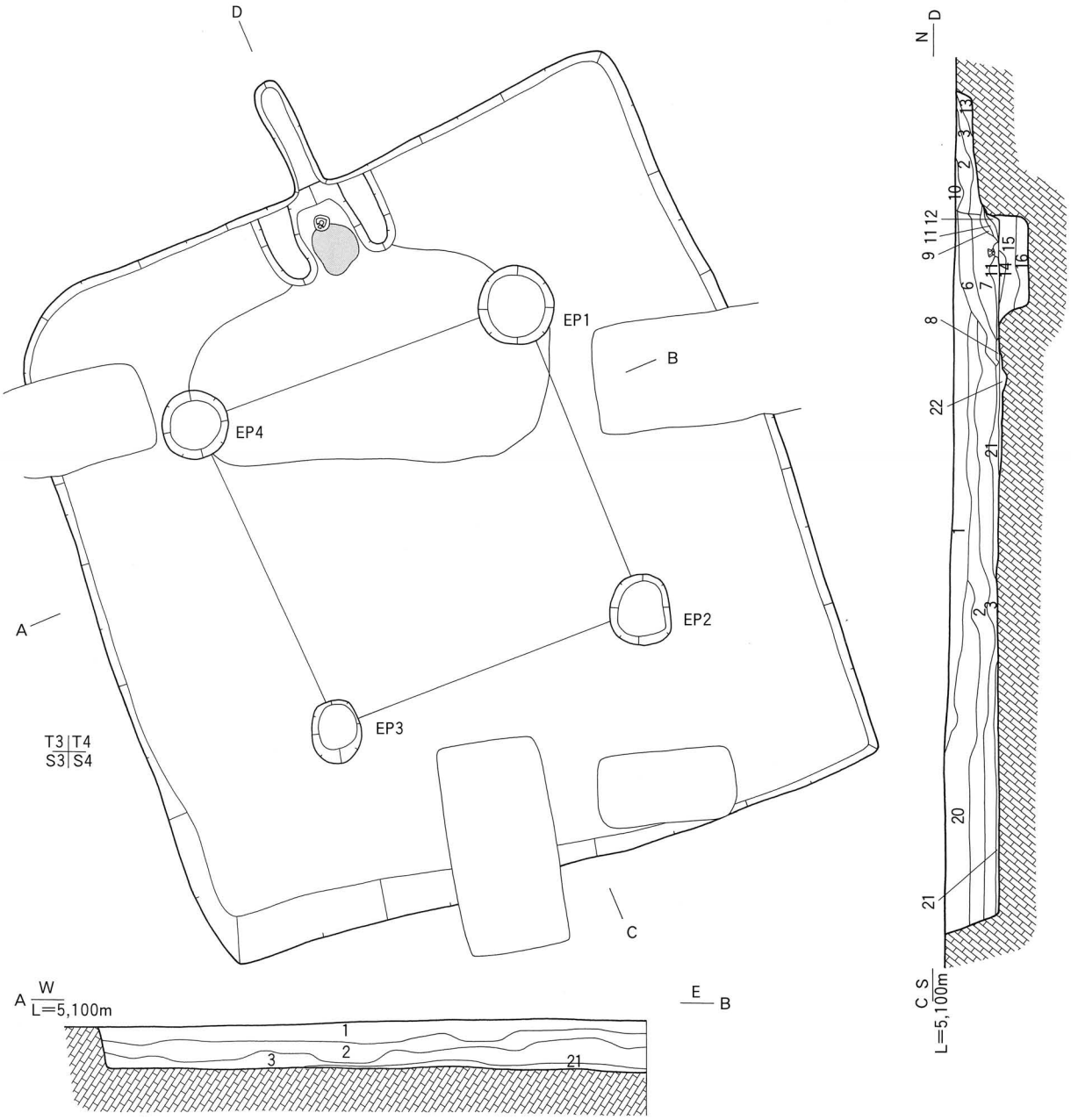
第499図　SB3041・EH1 遺物出土状況図



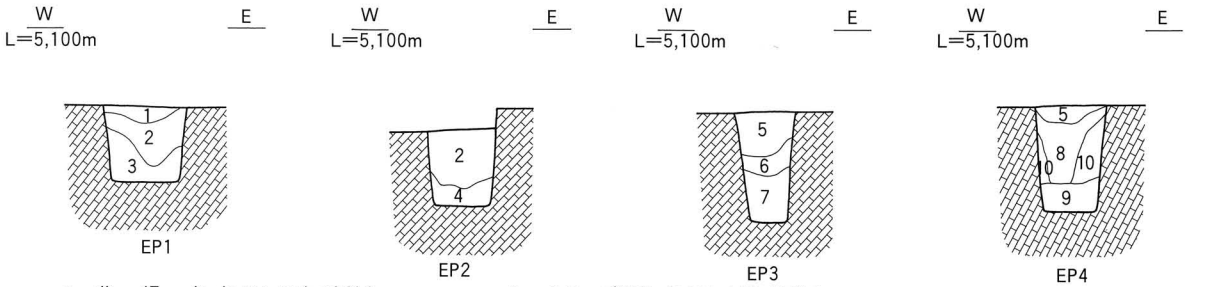
第500図　SB3041・EH1 下部構造遺物出土状況図



第501図　SB3041 出土遺物



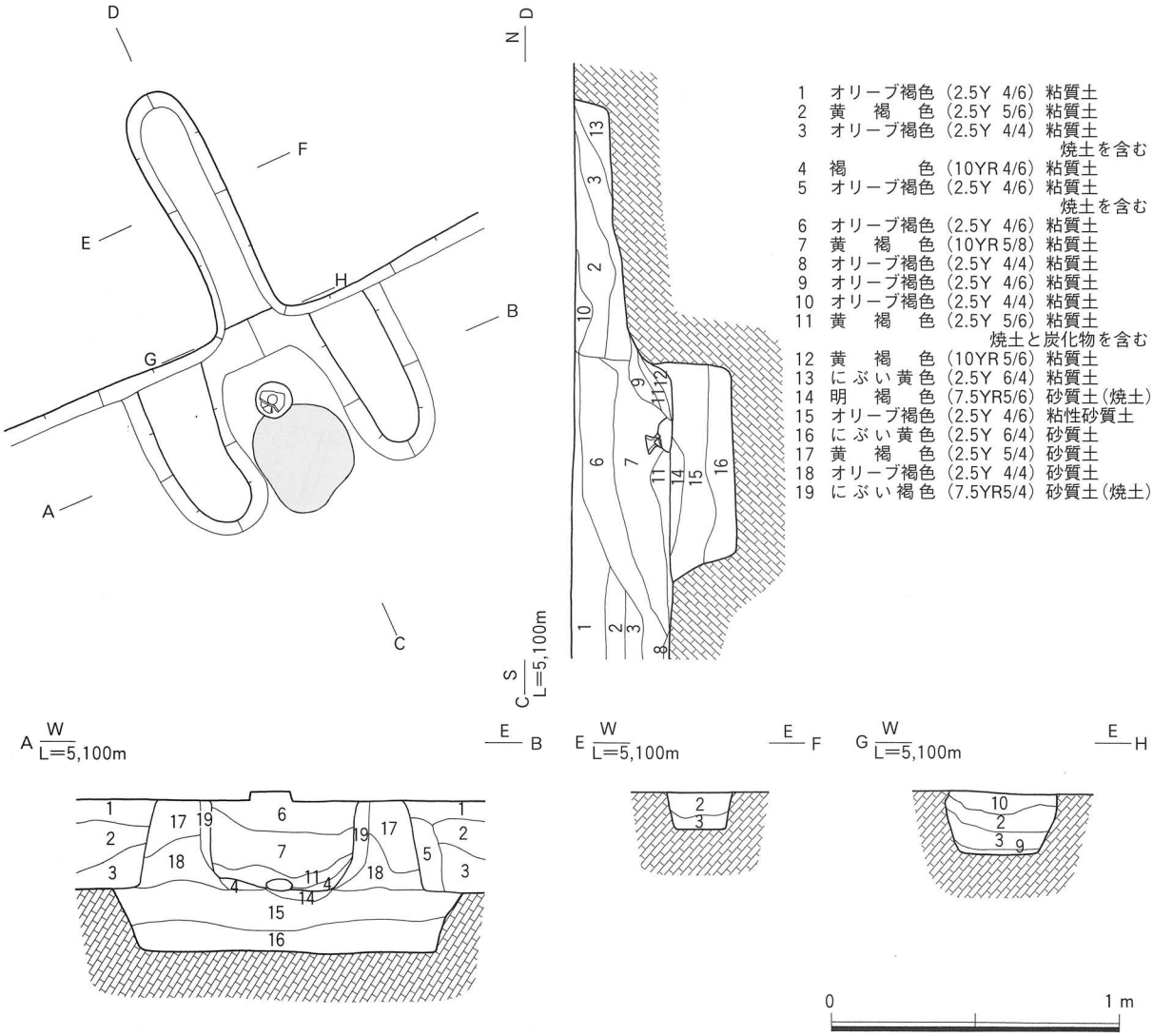
1　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
2　黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘質土
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土 焼土を含む
20　にぶい黄褐色（10YR 5/4）粘質土
21　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
22　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘性砂質土



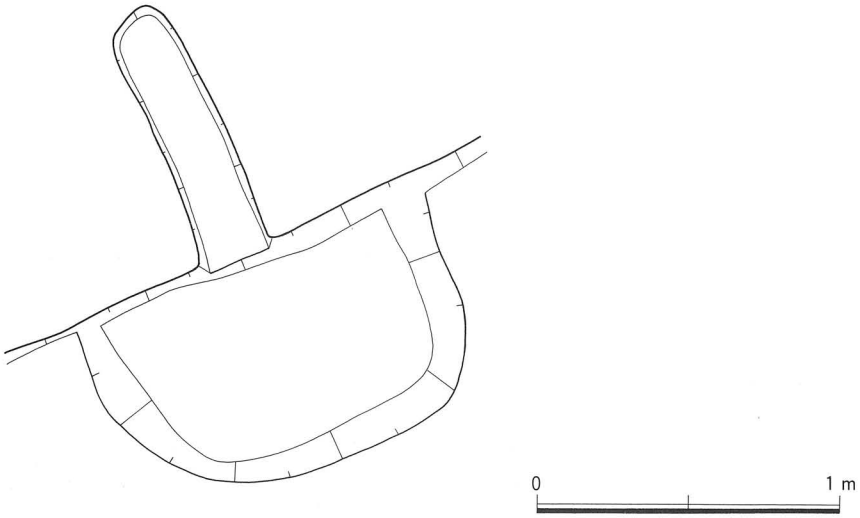
1　黄　褐　色（2.5Y 5/6）砂質土
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
3　にぶい黄褐色（10YR 5/4）砂質土
4　にぶい黄褐色（10YR 5/4）粘性砂質土
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘性粘質土
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
7　黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘性砂質土
8　黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘性砂質土
9　暗オリーブ褐色（2.5Y 3/3）粘質土
10　暗 黄 褐 色（2.5Y 6/6）粘質土

0　2 m

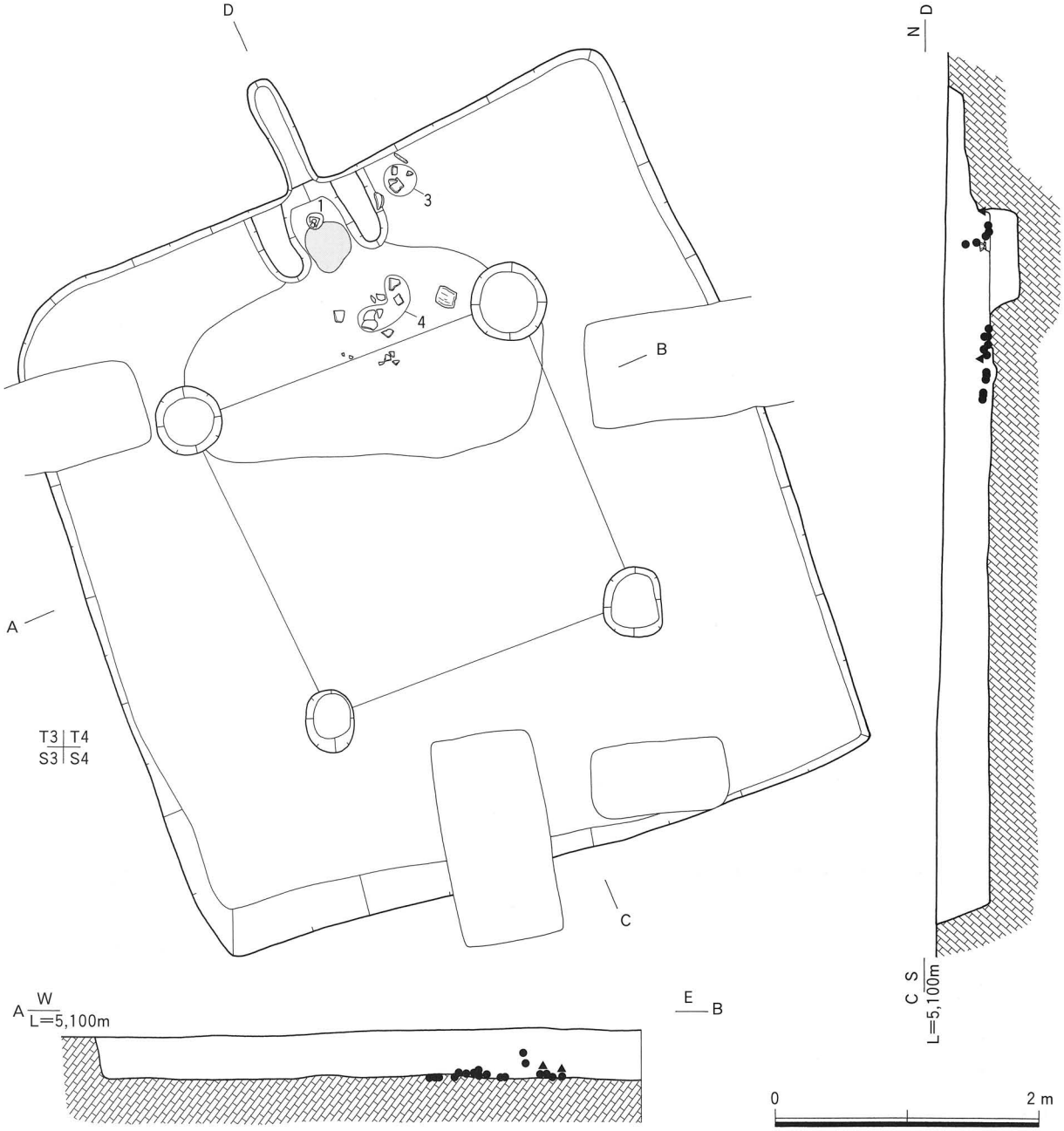
第502図　SB3042 平断面図



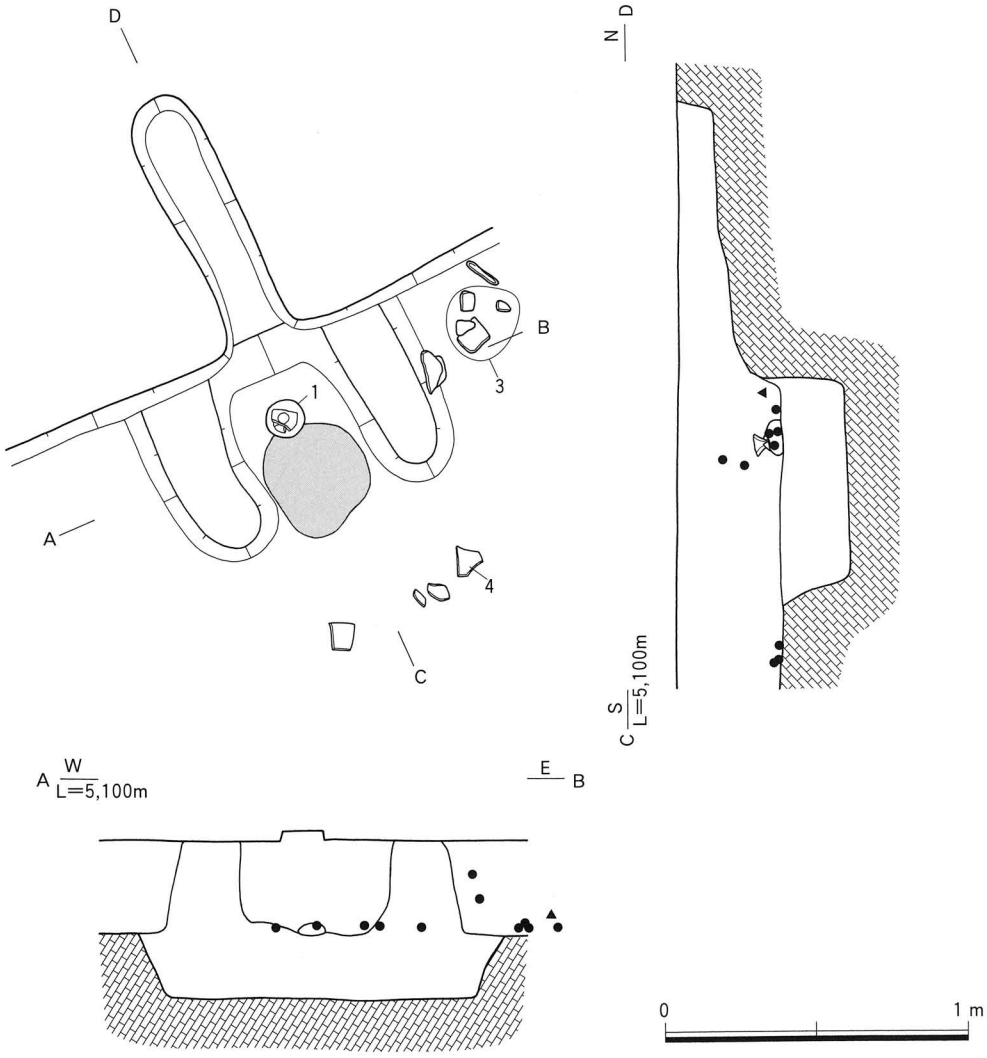
第503図　SB3042・EH1 平断面図



第504図　SB3042・EH1 下部構造図



第505図　SB3042 遺物出土状況図



第506図　SB3042・EH1 遺物出土状況図

47号竪穴住居跡（SB3047）（第538～544図）

検出場所　2003年度調査３－１区　Loc.G１・γⅡB20・C20・γⅢB１・C１グリッド

形態・規模　平面形状はほぼ方形を呈し、長軸5.65m、短軸4.95m、表面積は約28.0m²を測る。残存する深度は0.44mである。

土層　32層に分層される。

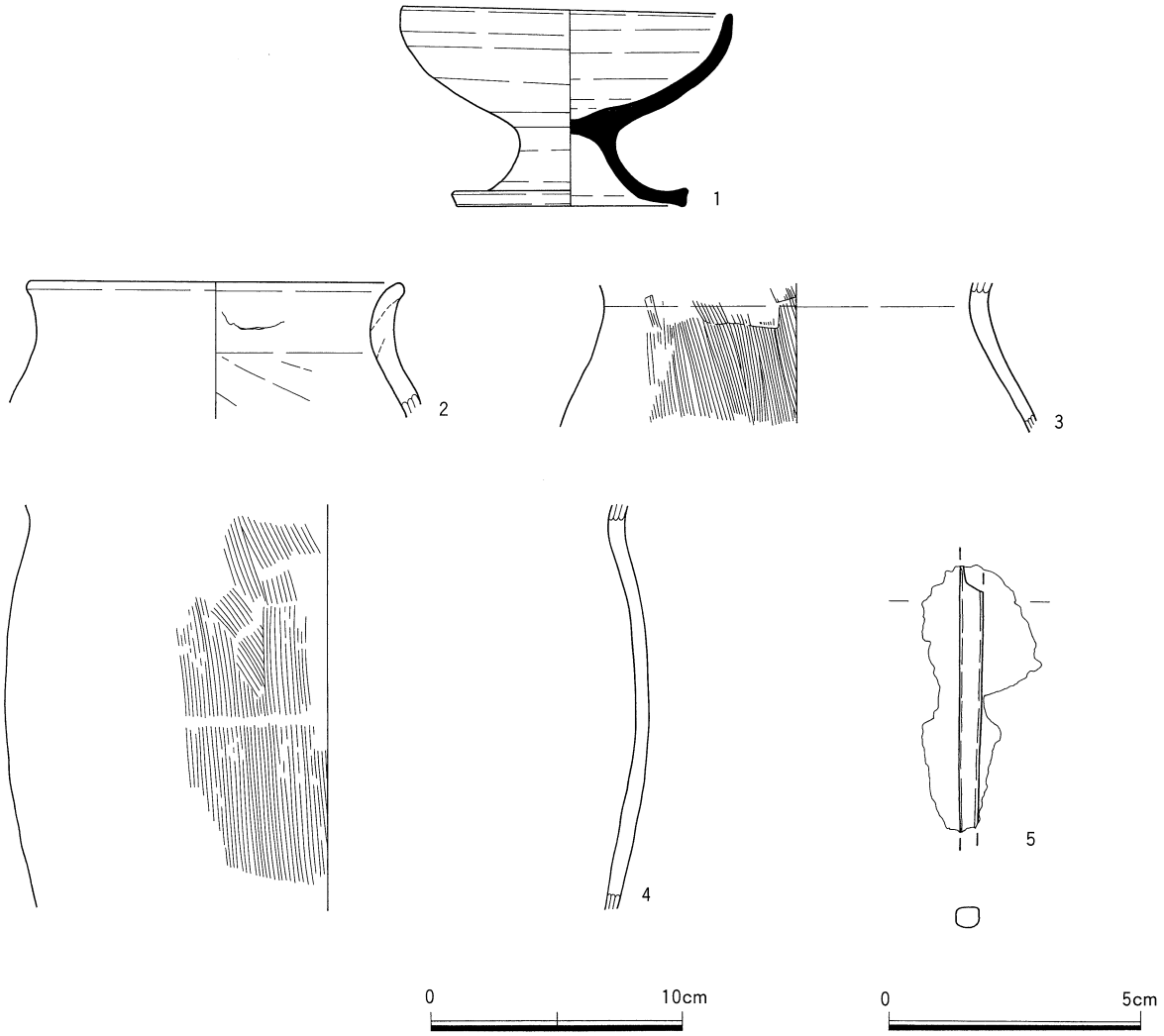
柱穴　柱穴は４基検出されている。

周壁溝　壁沿い四方向から検出されている。ただし南壁中央付近では空白がみとめられた。

竈　北壁中央付近で１基検出された。支脚に須恵器の高杯を倒置して使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部から焚き口部分周辺にかけて焼土や炭化物の拡がりが検出されている。また燃焼部は北壁から外に張り出すような形で設けられている。

遺物出土状況　竈周辺および床面中央付近から検出されている。

出土遺物　１は須恵器の杯蓋である。２～５は須恵器の杯身である。６・７は須恵器の高杯である。８は須恵器の提瓶である。９は土師器の椀である。10～15は土師器の甕である。10は外面体部にヘラ記号



第507図　SB3042 出土遺物

を持つ。16は砂質片岩の剥片である。17は用途不明の鉄器である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（６世紀第４四半期・TK43並行期）と考えられる。

48号竪穴住居跡（SB3048）（第545～550図）

検出場所　1999年度調査５区　Loc.G１・γⅢC５・６・D５・６グリッド

形態・規模　平面形態はほぼ方形を呈し、長軸6.90m、短軸6.68m、表面積は約46.1m²を測る。残存する深度は0.53mである。

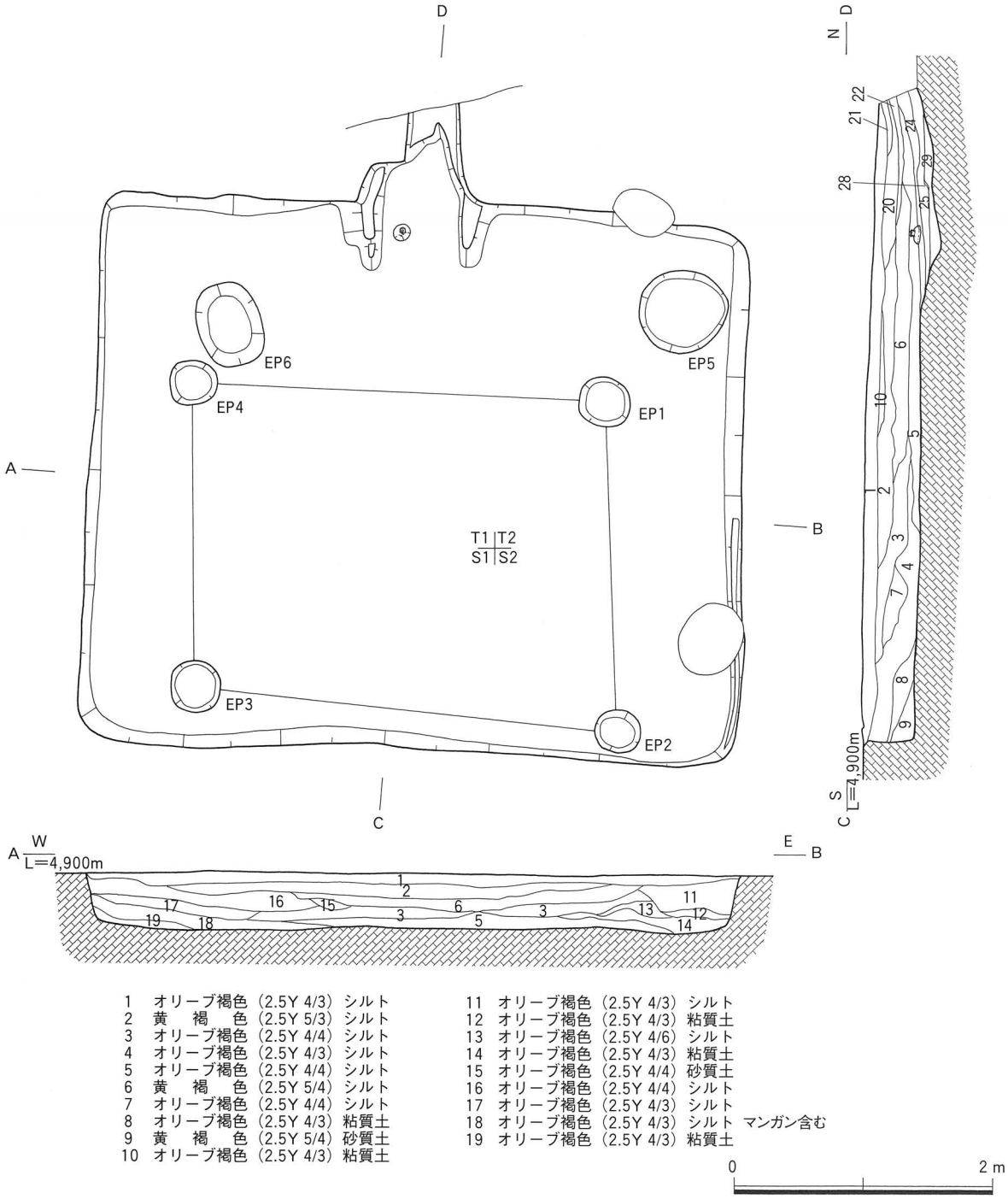
土層　11層に分層される。

柱穴　６基検出されており、その内主柱穴は４基と考えられる。

竈　後世の土坑によって主要な部分は失われており、煙道部の一部のみが検出された。

遺物出土状況　床面の中央部を中心として検出されている。

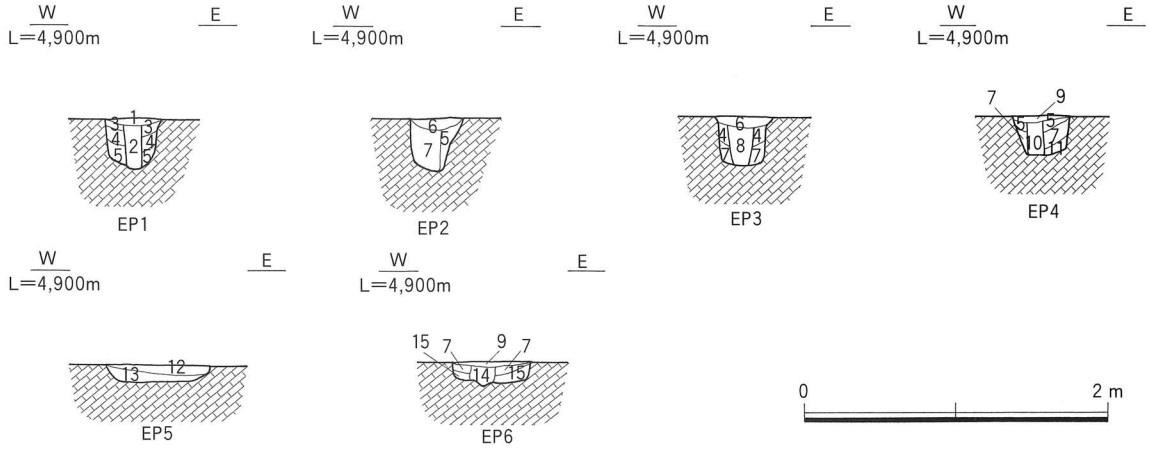
出土遺物　１は須恵器の高杯である。２は須恵器の壺である。３は須恵器の提瓶である。４は鉄鏃である。



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
9　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
10　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
13　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
15　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
16　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
17　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
18　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト　マンガン含む
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土

0　2 m

第508図　SB3043 平断面図



1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
10　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
13　褐　　色（10YR 4/4）粘質土

第509図　SB3043・EP 断面図

時期　出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第4四半期・TK43並行期）と考えられる。

49号竪穴住居跡（SB3049）（第551～558図）

検出場所　1999年度調査5区　Loc.G1・γⅢD3・4・E3・4グリッド

形態・規模　平面形態はほぼ方形を呈し、長軸5.28m、短軸5.13m、表面積は約27.1m²を測る。残存する深度は0.40mである。

土層　26層に分層される。床面の中央部を中心として張り床とみられる土層の堆積がみとめられた。

周壁溝　壁沿い四方向から検出されている。

柱穴　柱穴は4基検出されている。

竈　東壁のほぼ中央から1基検出された。支脚に須恵器の高杯を倒置して使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部内からは焼土の拡がりが確認されている。下部構造は楕円形の土坑が掘削されており、長軸1.03m、短軸0.93m、深度は0.26mを測る。

遺物出土状況　竈周辺および煙道部から検出されている。

出土遺物　1は須恵器の高杯である。2・3は土師器の甕である。4は土師器の甑である。5は砂岩の砥石である。6は砂岩の敲石である。7・8は鉄鎌である。

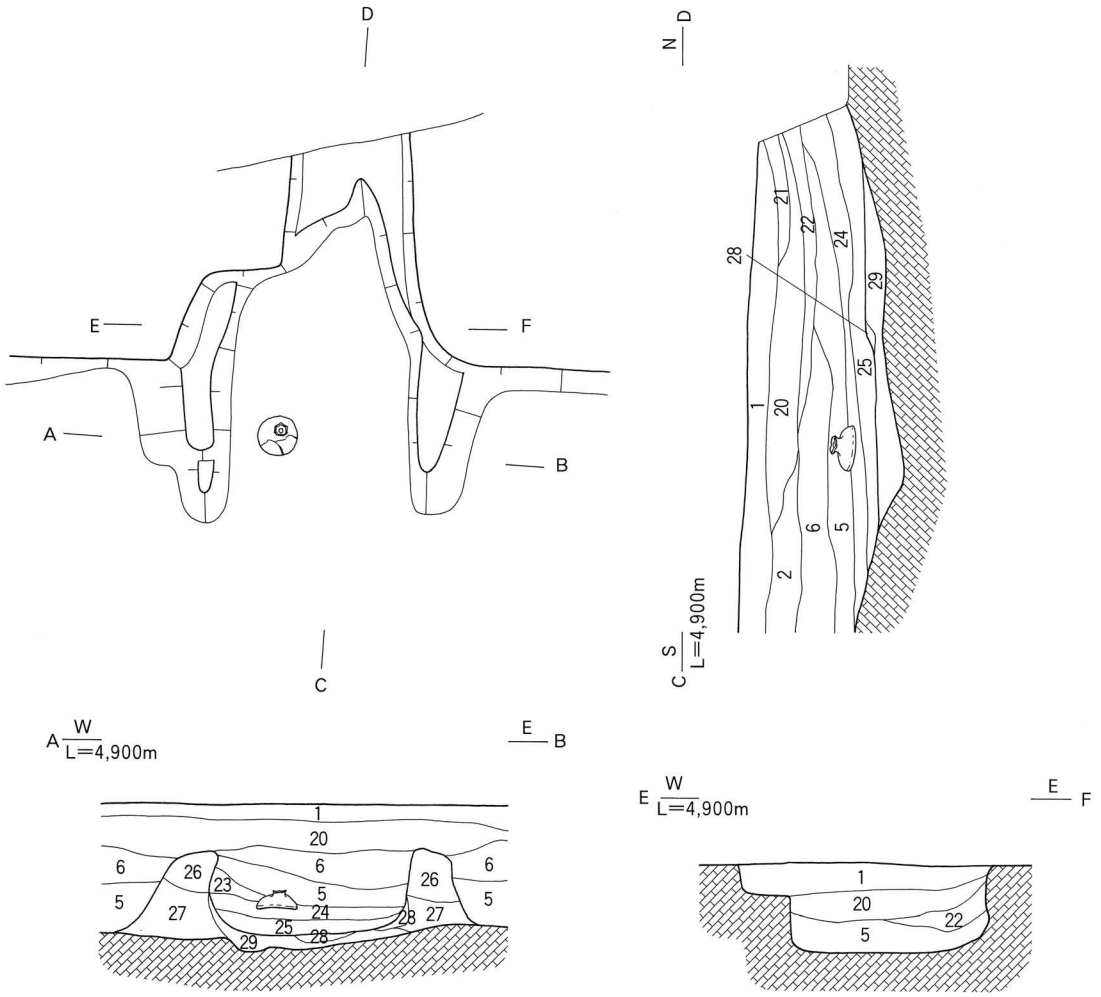
時期　出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

50号竪穴住居跡（SB3050）（第559～565図）

検出場所　2003年度調査3－1区　Loc.G1・γⅡC19・20・D19・20グリッド

形態・規模　平面形態はほぼ方形で、長軸4.61m、短軸4.45m、表面積は20.5m²を測る。残存する深度は0.46mである。

土層　22層に分層される。



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
20　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト 焼土含む
21　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
22　黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘質土
23　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
24　暗 赤 褐 色（5YR 3/4）シルト 焼土含む
25　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
26　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
27　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
28　褐　　色（10YR 4/4）シルト
29　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土

0　1 m

第510図　SB3043・EH1 平断面図

柱穴　柱穴は４基検出されている。

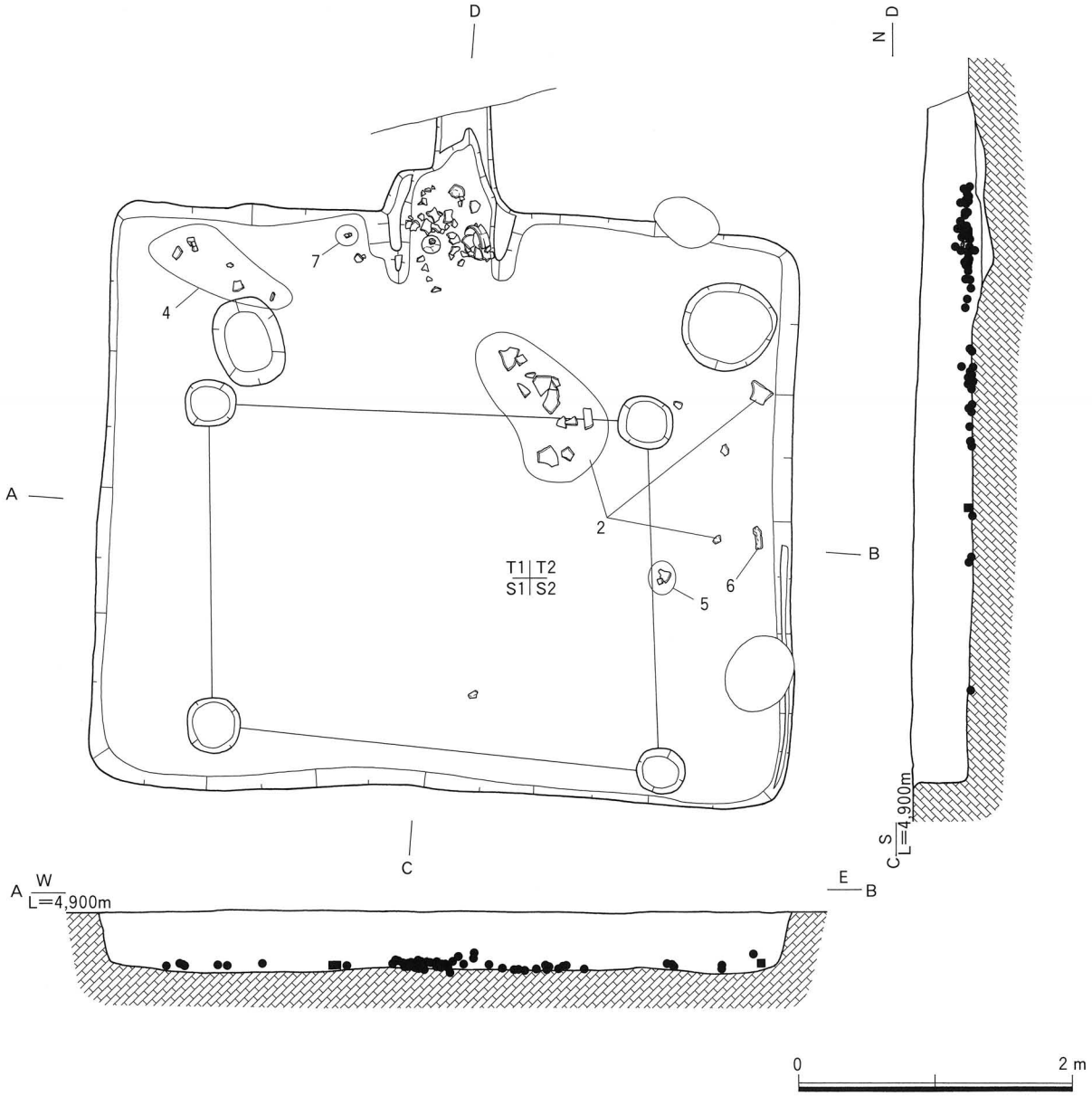
土坑　EP３に一部重複して１基検出された。平面形状は長方形で長軸1.55m、短軸0.80m、深度は0.10mを測る。

竈　北壁のほぼ中央から１基検出された。支脚に土師器の甕を使用しているとみられる。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内および周辺部を中心として検出された。

出土遺物　１・２は須恵器の杯身である。３～12は土師器の甕である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。



第511図　SB3043 遺物出土状況図

51号竪穴住居跡（SB3051）（第566～574図）

検出場所　2003年度調査３－２区　Loc.G１・γⅡD15・16・E15・16グリッド

形態・規模　平面形態は長方形を呈し、長軸5.98m、短軸5.48m、表面積は約32.8m²を測る。残存する深度は0.53mである。

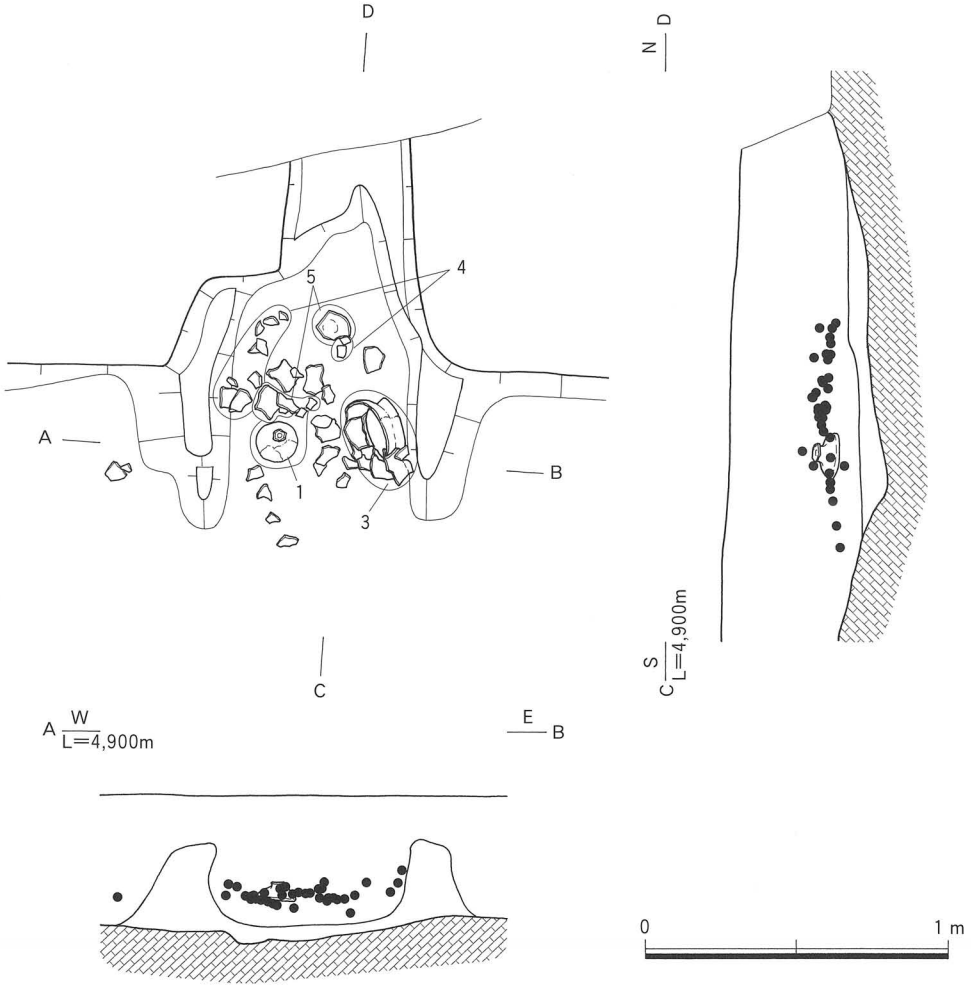
土層　44層に分層される。

柱穴　柱穴は４基検出されている。

竈　北壁のやや西寄りから１基検出された。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部から焼土の拡がりがみとめられる。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈およびその周辺部と床面の南東隅から集中して検出された。

出土遺物　１～３は須恵器の杯蓋である。４～６は須恵器の杯身である。７は須恵器の高杯である。８・９は須恵器の壺である。10～13は土師器の甕である。14・15は土師器の甑である。16は鞴の羽口である。



第512図　SB3043・EH1 遺物出土状況図

17・18は土錘である。19は砂質片岩の剥片で受熱している。20は砂質片岩の揉錐用の押さえ具である。21は鉄鏃である。22は棒状の鉄器である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。

52号竪穴住居跡（SB3052）（第575～577図）

検出場所　2003年度調査３－２区　Loc.G１・γⅡD13・14・E13・14・F13グリッド

形態・規模　西側が調査区外に延びているため、平面形状や規模は不明である。残存する深度は0.38mである。

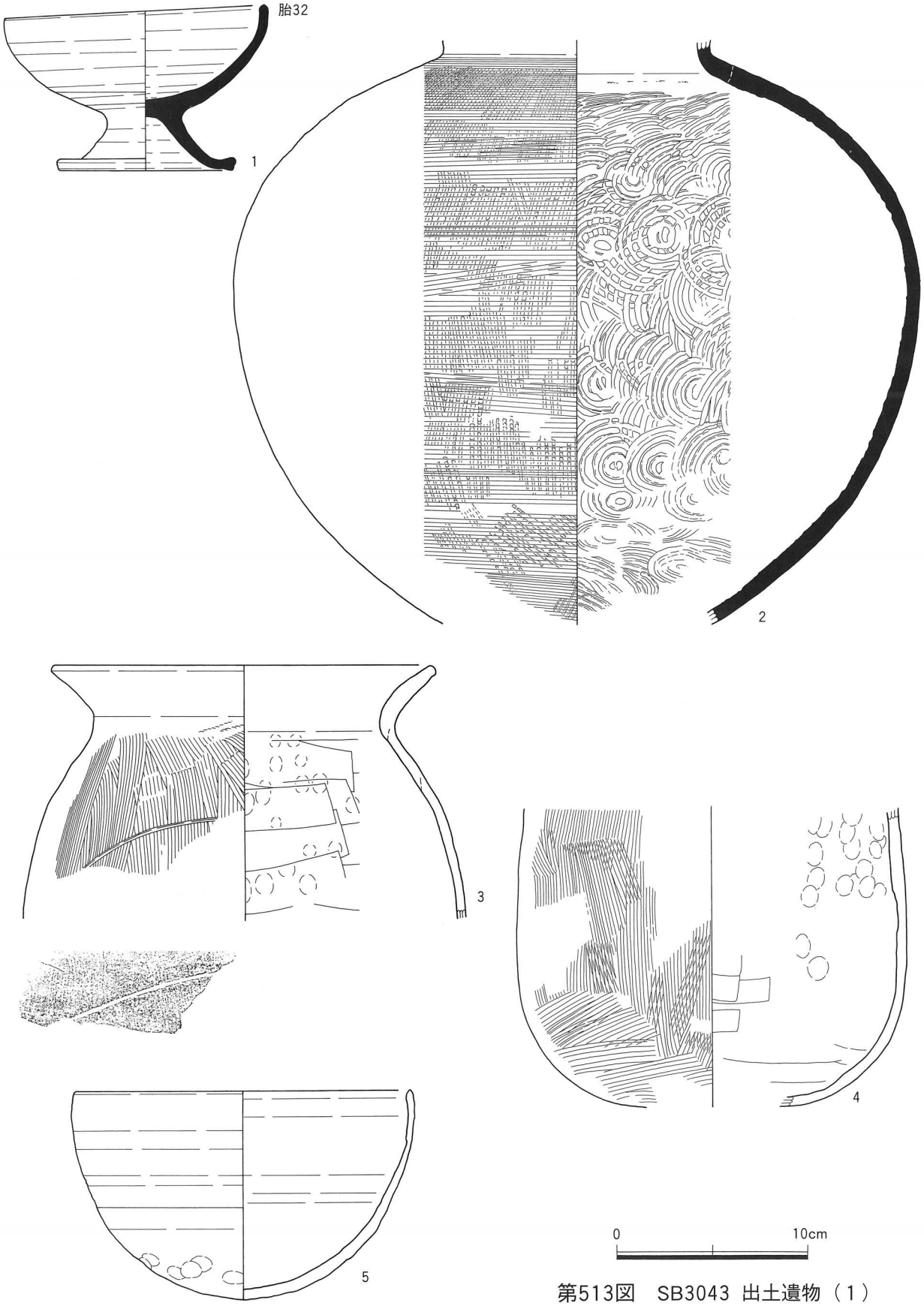
土層　９層に分層される。

柱穴　検出されていない。

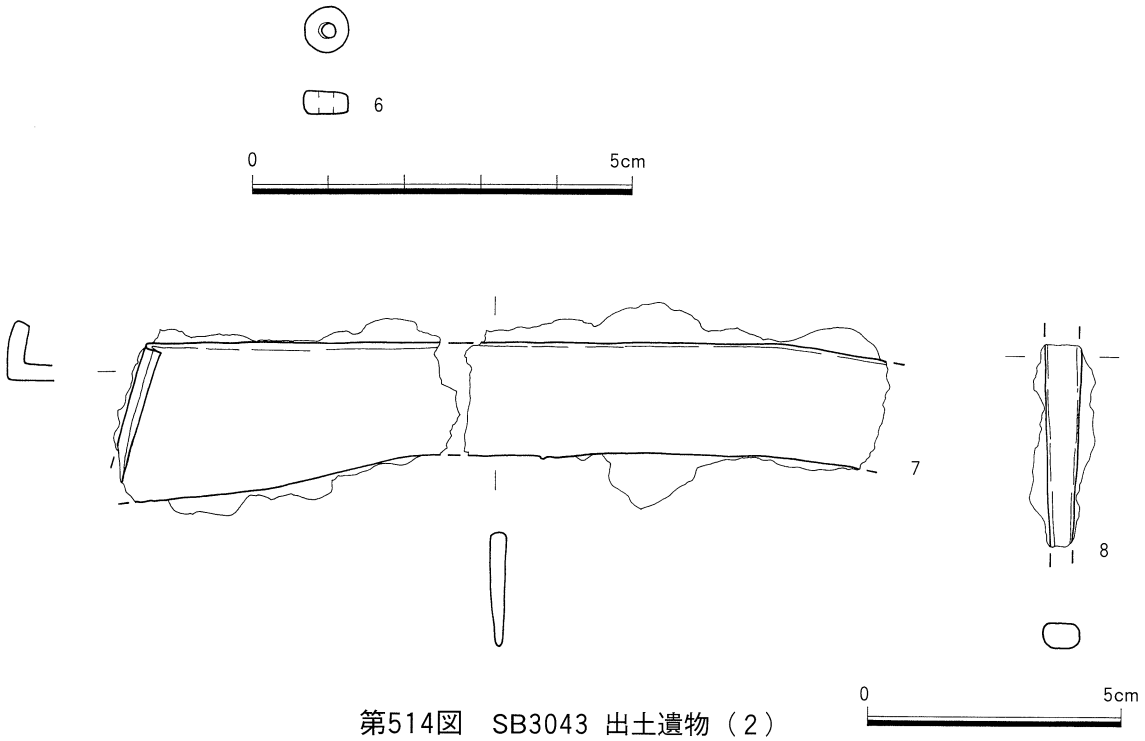
竈　図化されていないが調査区西壁の除去時に、住居の北壁から竈が検出されている。

遺物出土状況　南東隅より検出面の上面付近を中心として検出されている。また竈内からも土師器の甕が１個体出土した。

出土遺物　１・２は須恵器の杯身である。３・４は土師器の甕である。５は砂岩の敲石である。



第513図　SB3043 出土遺物（1）



第514図　SB3043 出土遺物（2）

時期　出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）以降と考えられる。

53号竪穴住居跡（SB39053）（第578・579図）

検出場所　2003年度調査3－2区　Loc.G1・γⅡF15グリッド

形態・規模　北側が調査区外に延びているため、平面形状や規模は不明である。残存する深度は0.44mである。

土層　分層状況は図化されていない。

柱穴　検出されていない。

竈　検出されていない。

遺物出土状況　床面よりやや上から検出された。

出土遺物　1は須恵器の杯身である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）以降と考えられる。

54号竪穴住居跡（SB3054）（第580～586図）

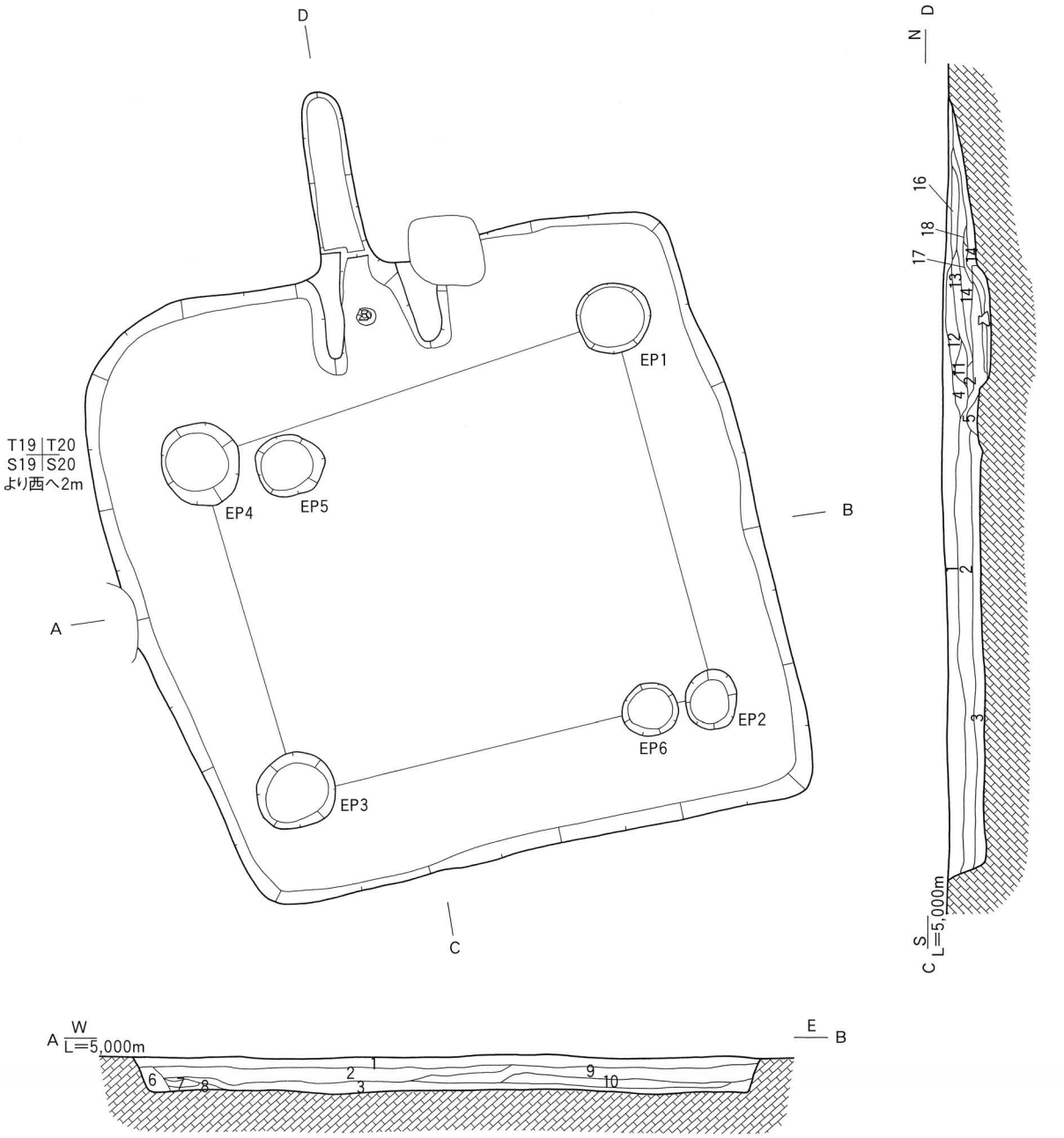
検出場所　1998年度調査9区　Loc.G1・γⅢH8・9・I8・9グリッド

形態・規模　平面形態は長方形を呈し、長軸5.05m、短軸3.77m、表面積は約19.0㎡を測る。残存する深度は0.48mである。

土層　32層に分層される。

柱穴　7基検出されており、そのうちEP1～4が主柱穴と考えられる。

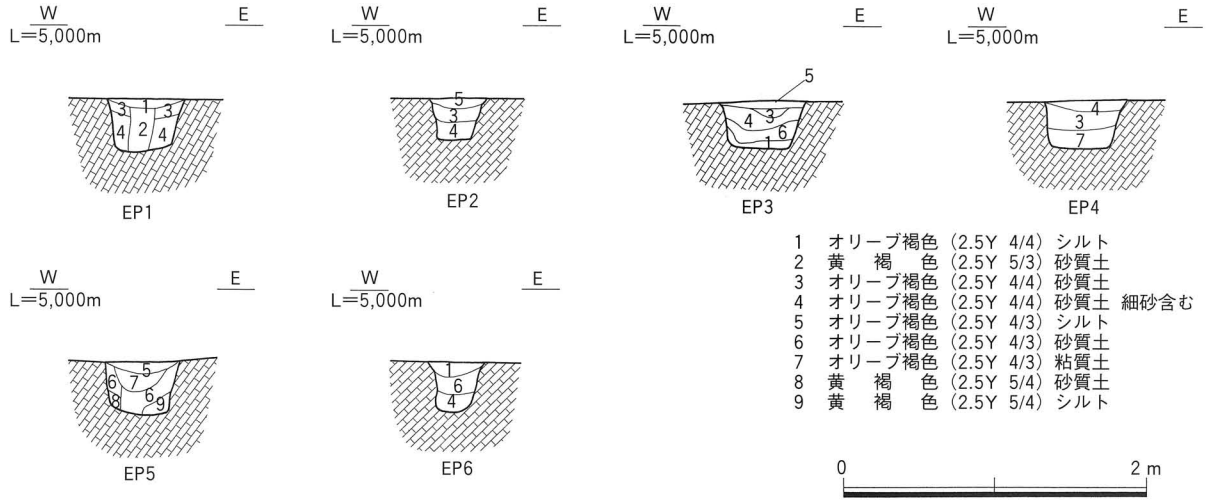
周壁溝　壁沿いの4方向より検出されている。



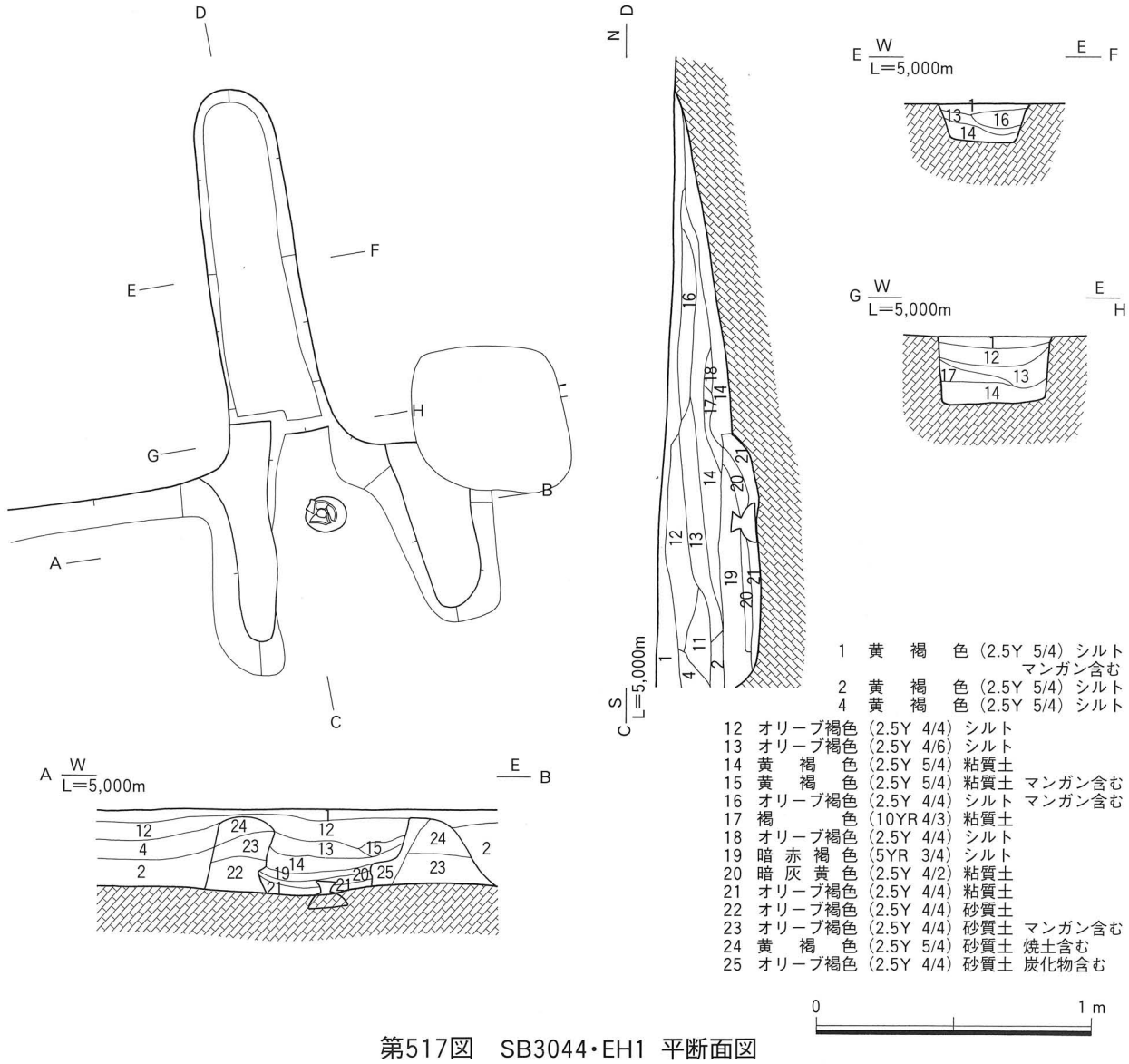
1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト マンガン含む
2　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
5　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
6　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト マンガン含む
7　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
8　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
9　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト マンガン含む
10　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト 焼土わずかに含む

0　2 m

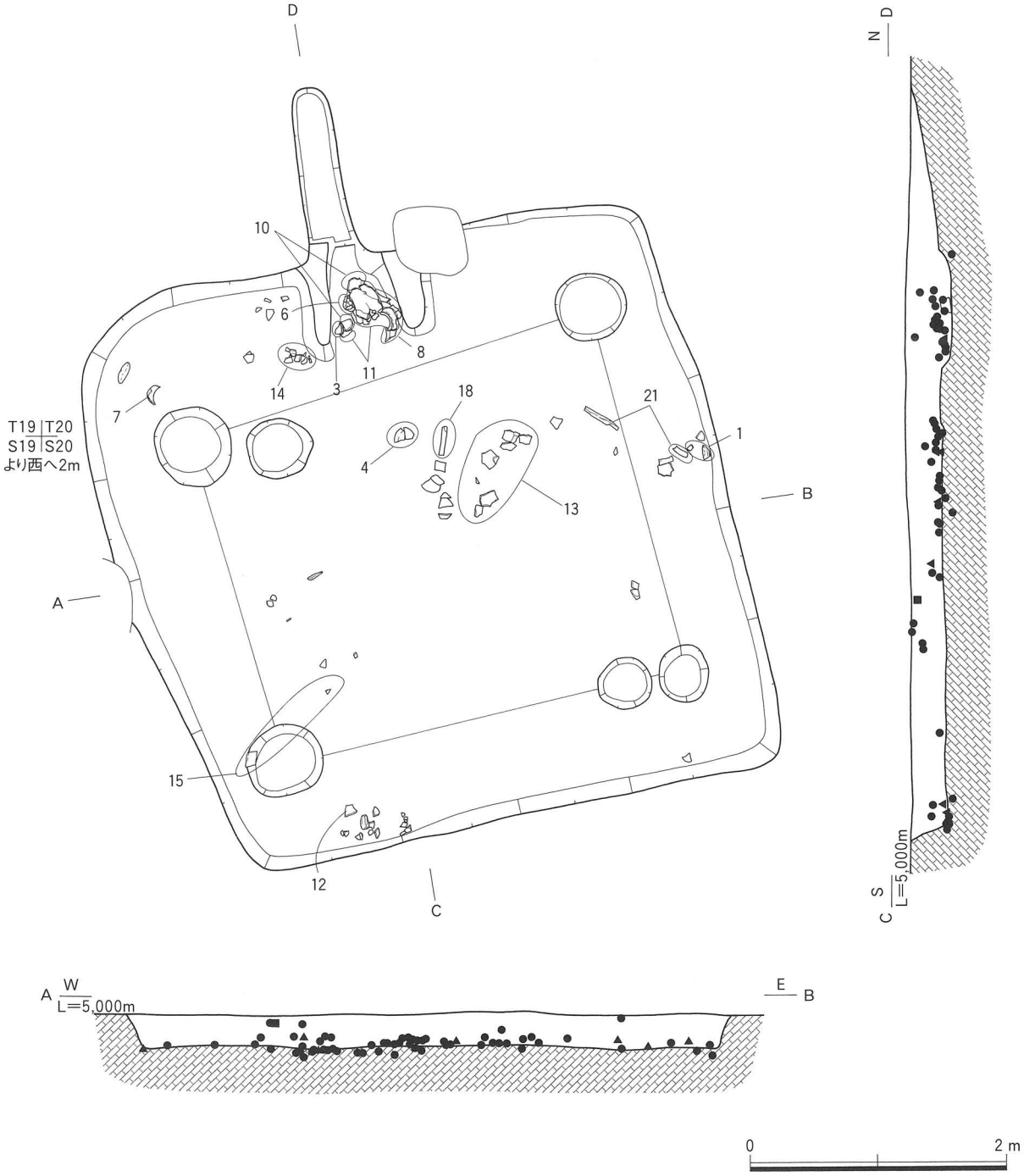
第515図　SB3044 平断面図



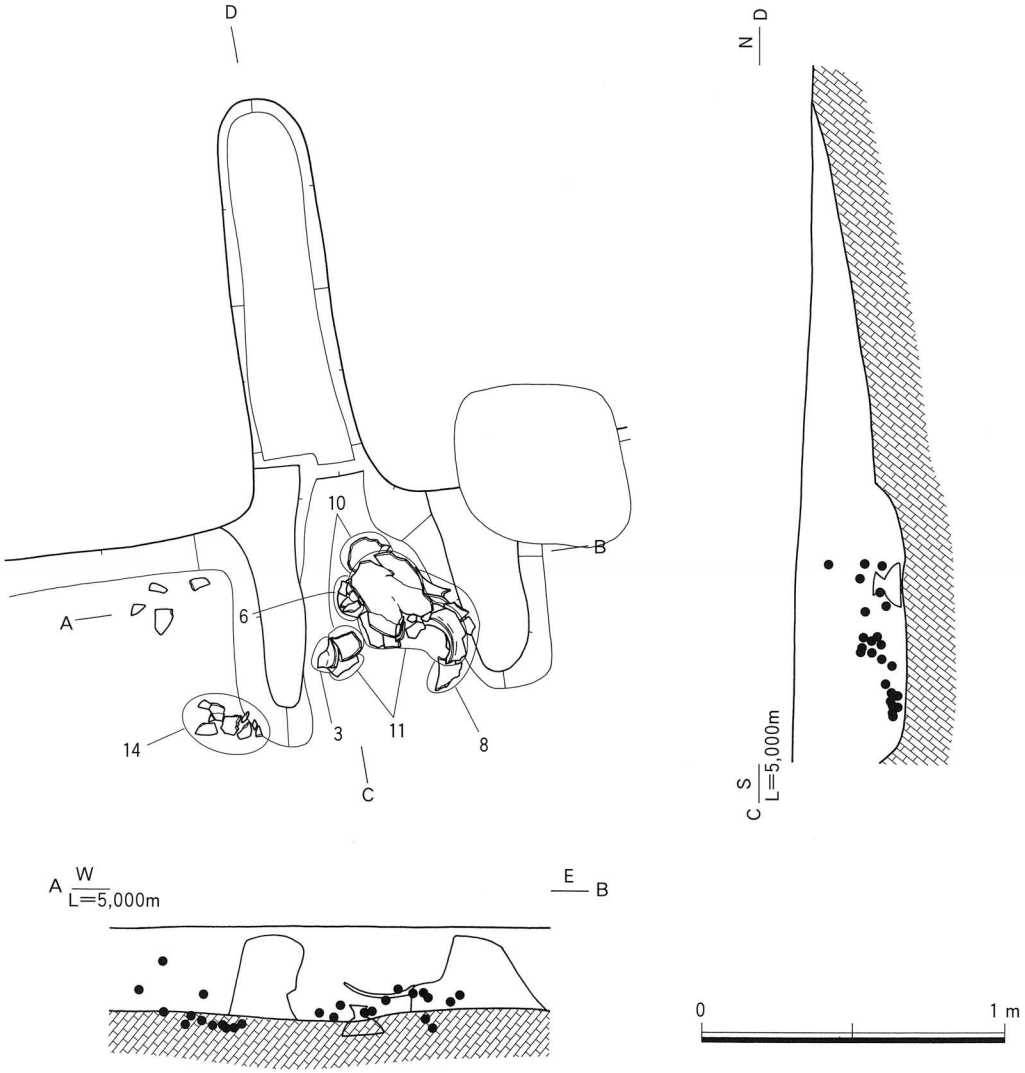
第516図　SB3044・EP 断面図



第517図　SB3044・EH1 平断面図



第518図　SB3044 遺物出土状況図



第519図　SB3044・EH1 遺物出土状況図

竈　北壁のほぼ中央から１基検出されている。支脚に土師器の甕を倒置して使用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、支脚の手前部分では焼土の拡がりが、焚き口付近と床面の中央部からは炭化物や灰層がそれぞれ検出されている。下部構造は楕円形の土坑が掘削されており、長軸1.08m、短軸0.70m、深度0.24mを測る。

遺物出土状況　竈内および床面の北半部から集中して検出されている。

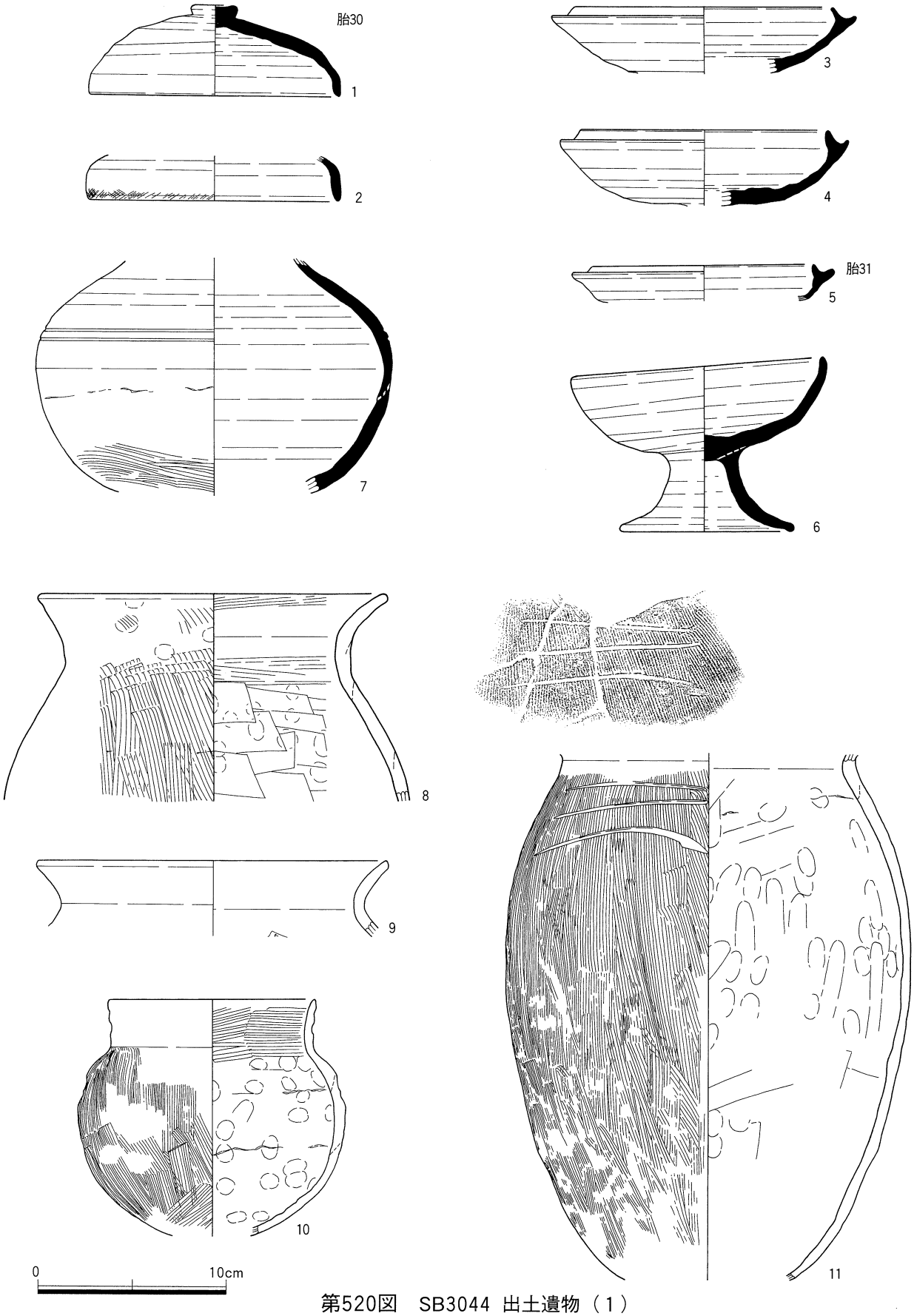
出土遺物　１・２は土師器の甕である。３は土師器の甑である。４は砂岩の敲石である。

時期　出土した遺物や竈の形態などから判断して古墳時代後期と考えられる。

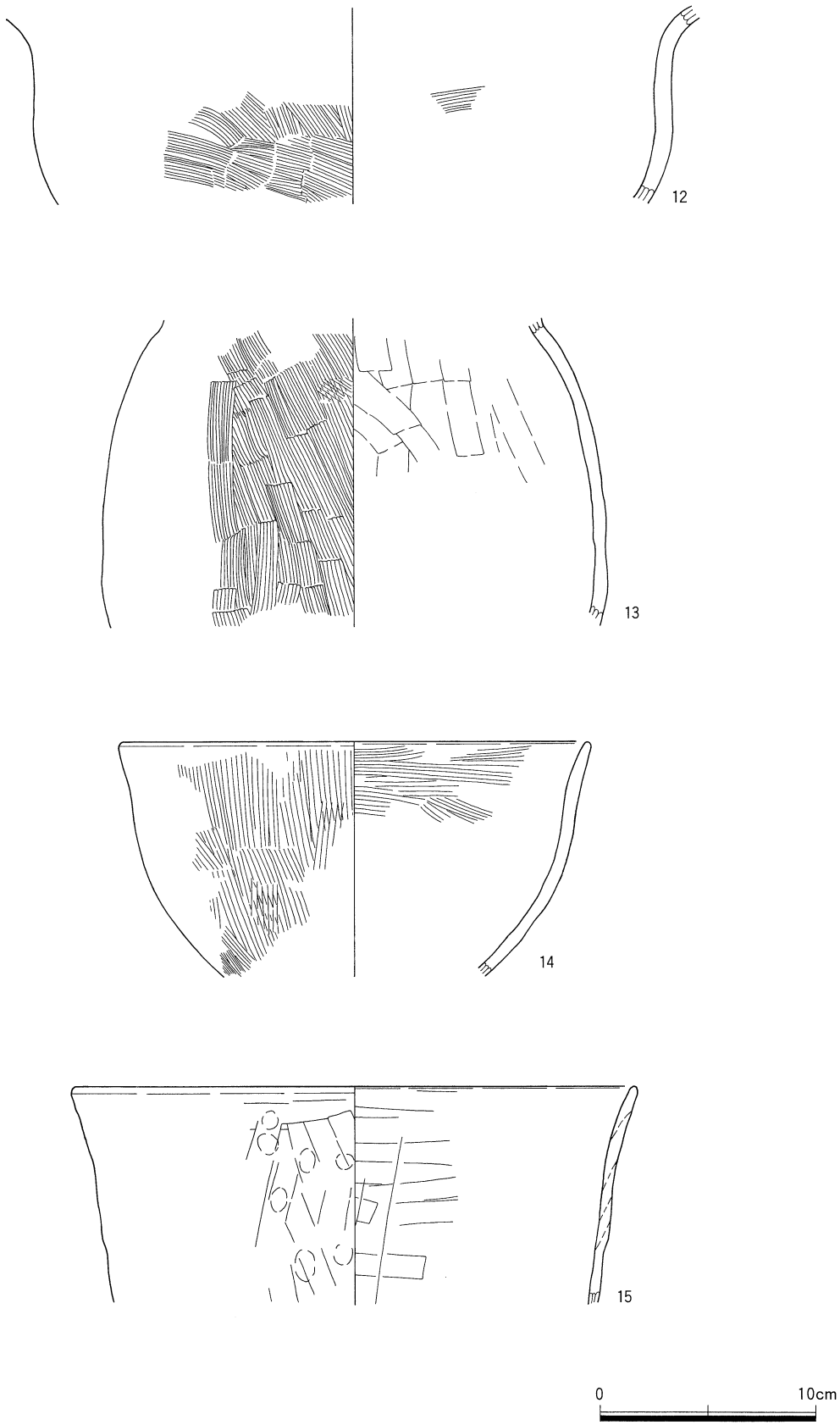
55号竪穴住居跡（SB3055）（第587～591図）

検出場所　2003年度調査４－２区　Loc.G１・γⅡM19・20・N19・20グリッド

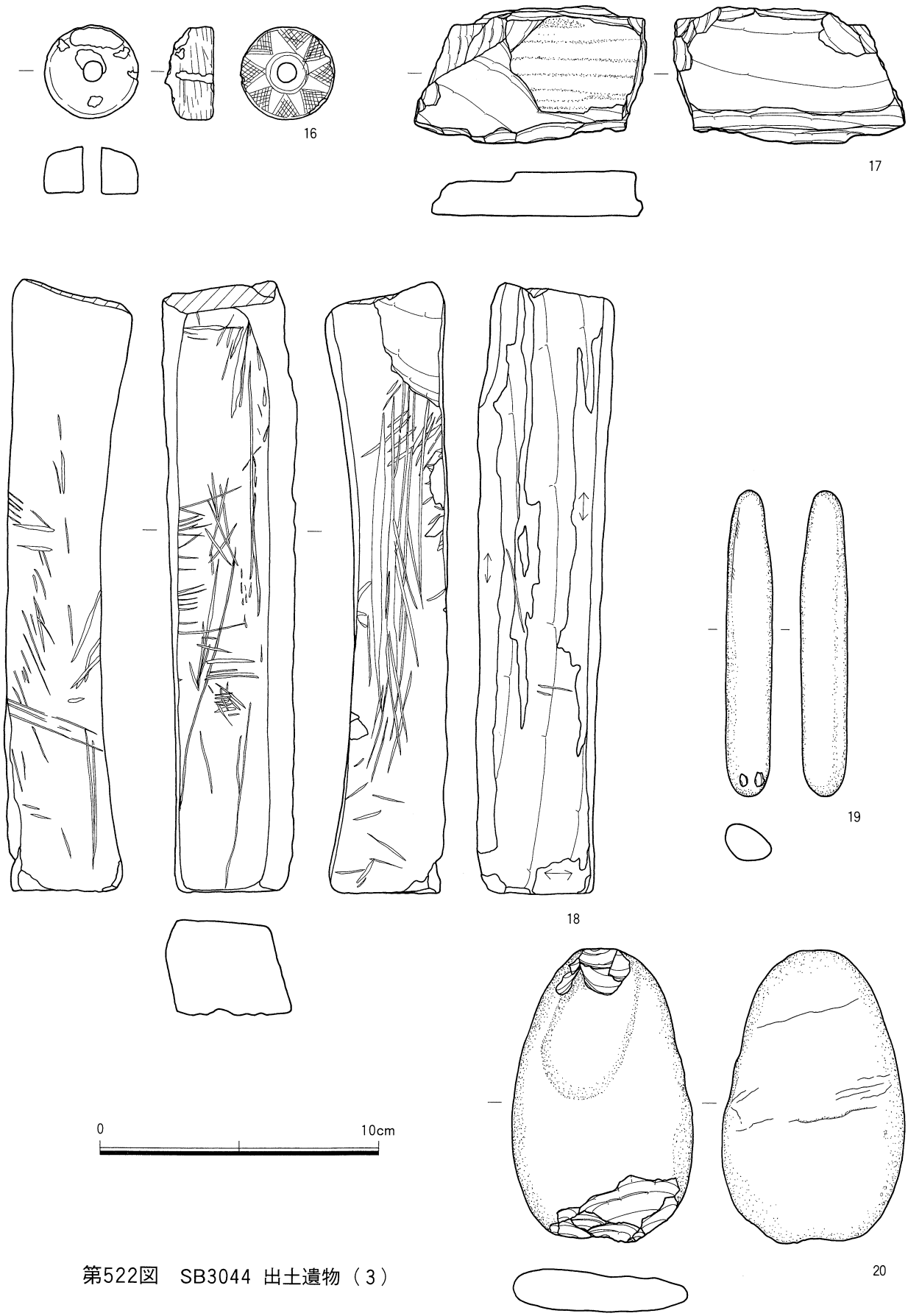
形態・規模　平面形態は長方形を呈し、長軸4.88m、短軸3.55m、表面積は約17.3m²を測る。残存する深度は0.24mである。



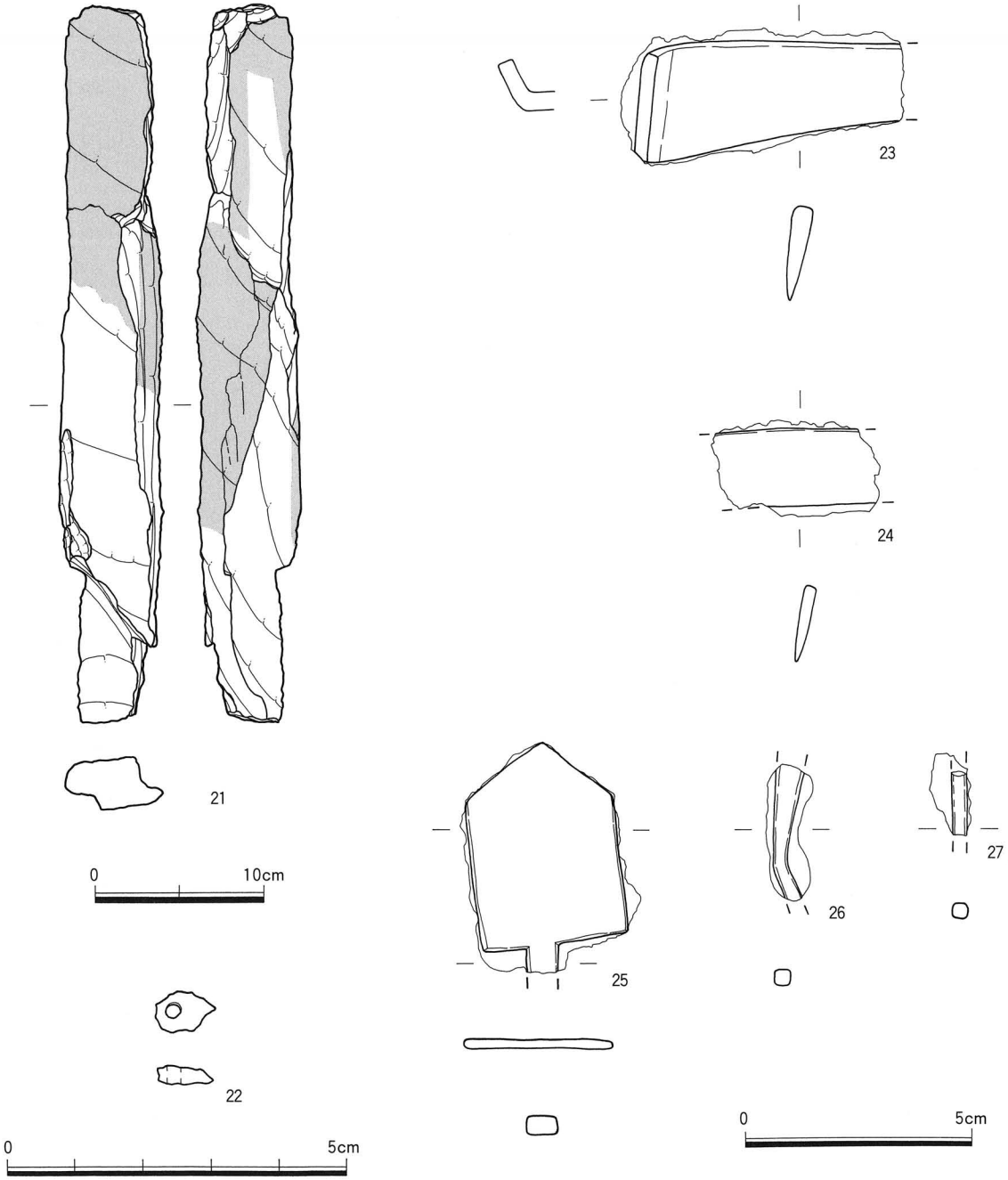
第520図　SB3044 出土遺物（1）



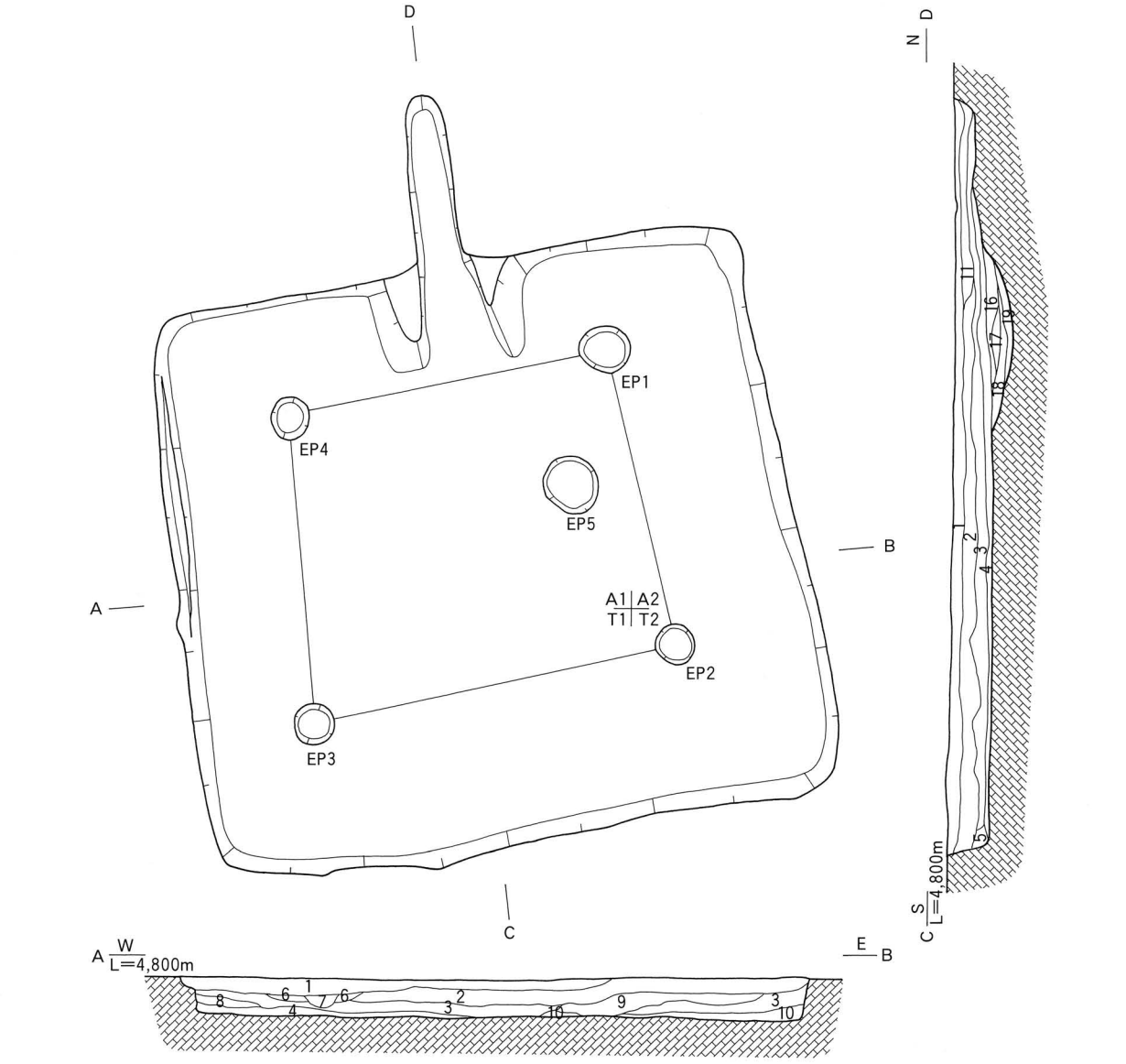
第521図　SB3044 出土遺物（2）



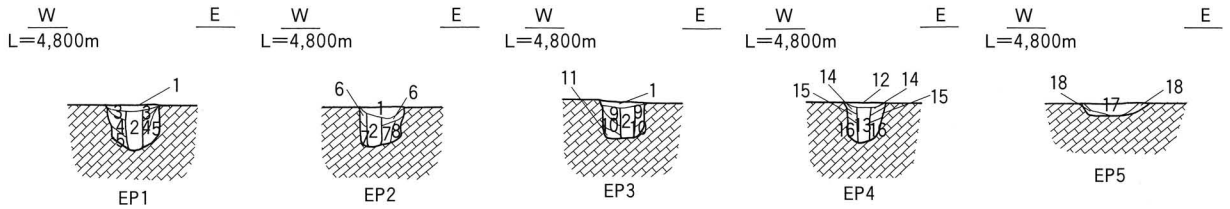
第522図　SB3044 出土遺物（3）



第523図　SB3044 出土遺物（4）



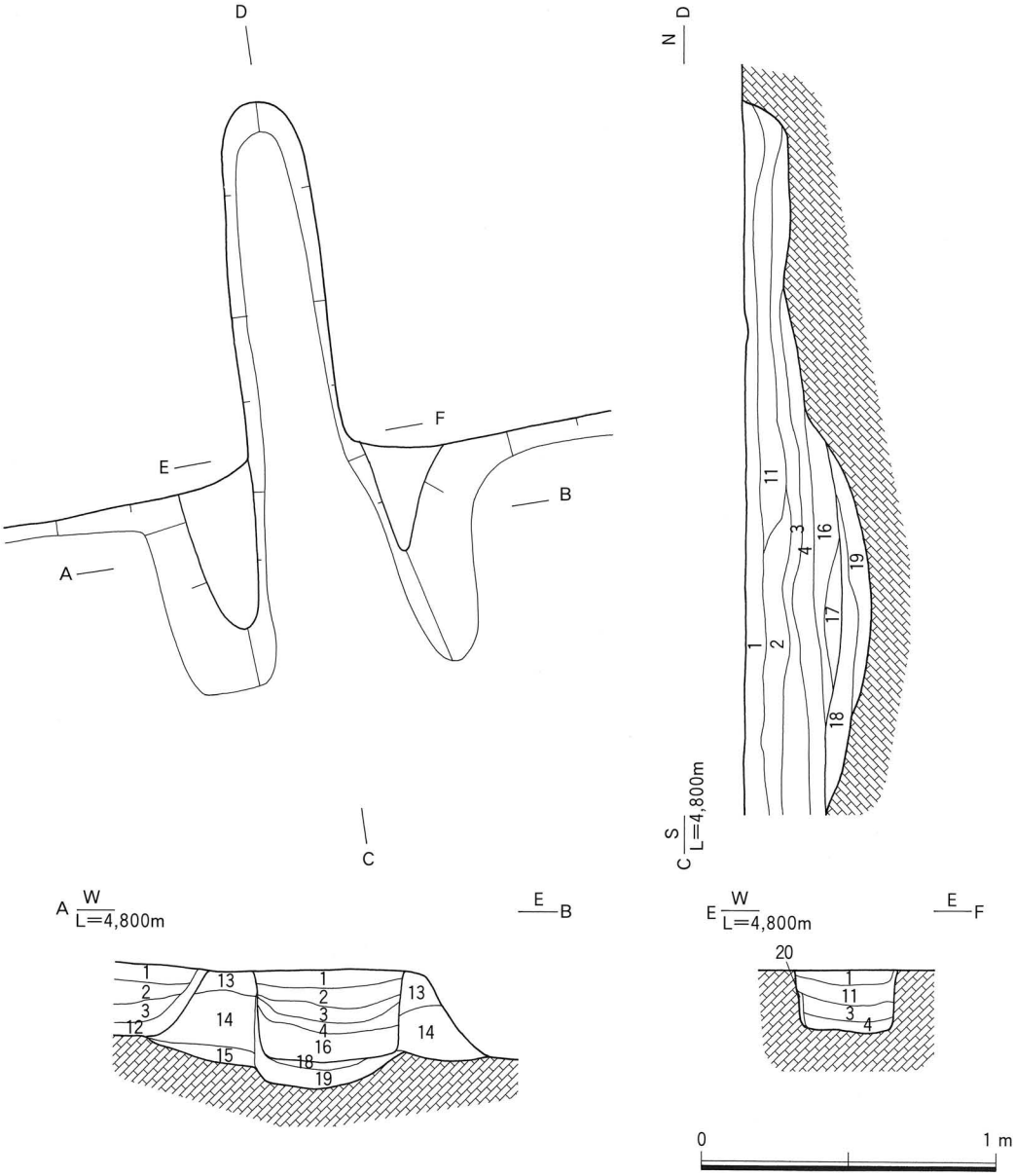
1 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
2 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガンを含む
3 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4 黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
6 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
8 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
9 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガンを含む
10 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト



1 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
2 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガンを含む
3 黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
6 黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
8 黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘質土
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
10 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土 細砂を含む
11 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
12 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
13 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
14 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト マンガンを含む
15 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
16 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
17 暗 灰 黄 色（2.5Y 4/2）シルト 焼土・炭化物を含む
18 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト

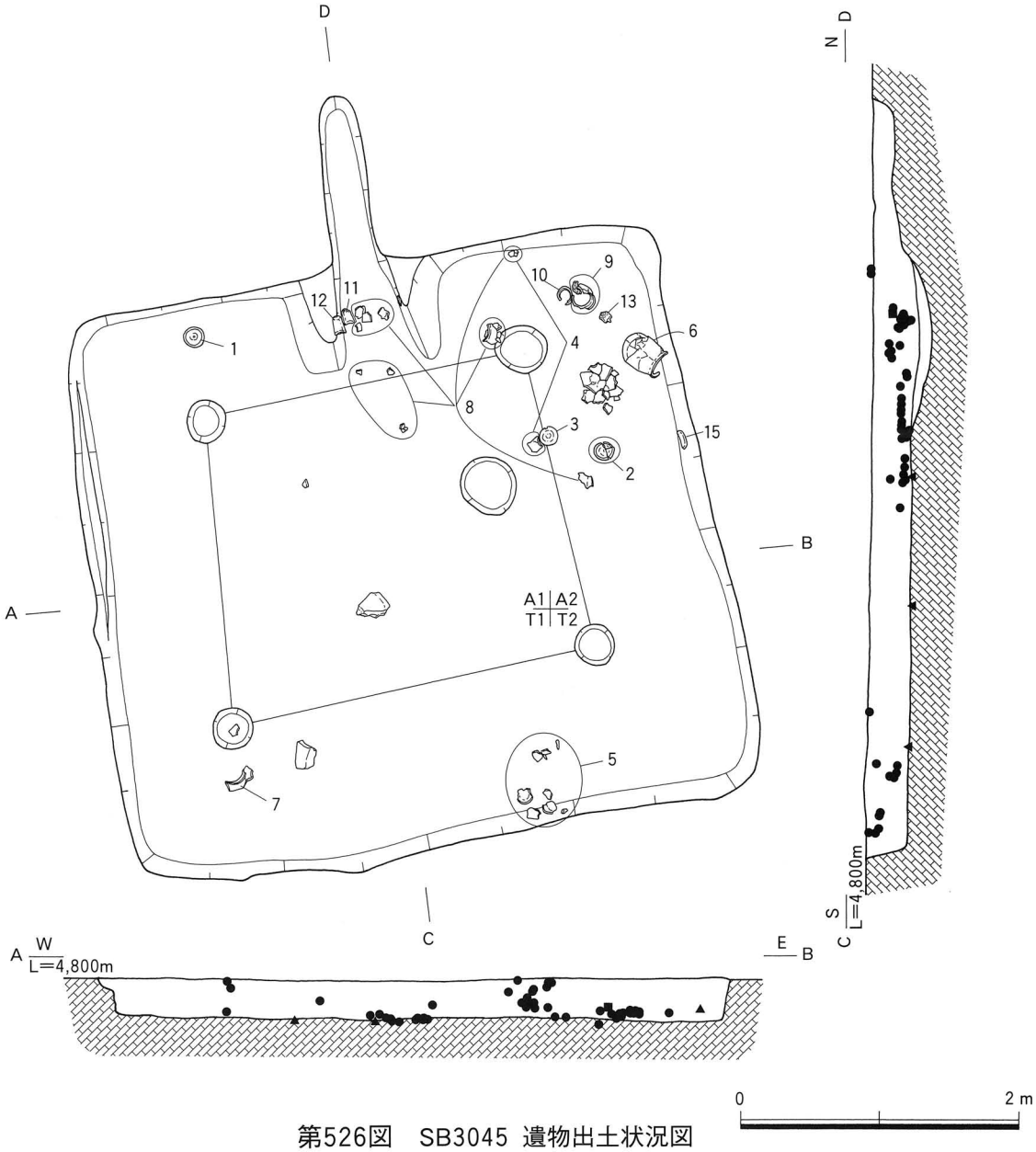
0　2 m

第524図　SB3045 平断面図



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガンを含む
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
11　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
13　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
15　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土　焼土を含む
16　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
17　暗　褐　色（10YR 3/4）粘質土　焼土を含む
18　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土　炭化物を層状に含む
20　焼土層

第525図　SB3045・EH1 平断面図



第526図　SB3045 遺物出土状況図

土層　38層に分層される。

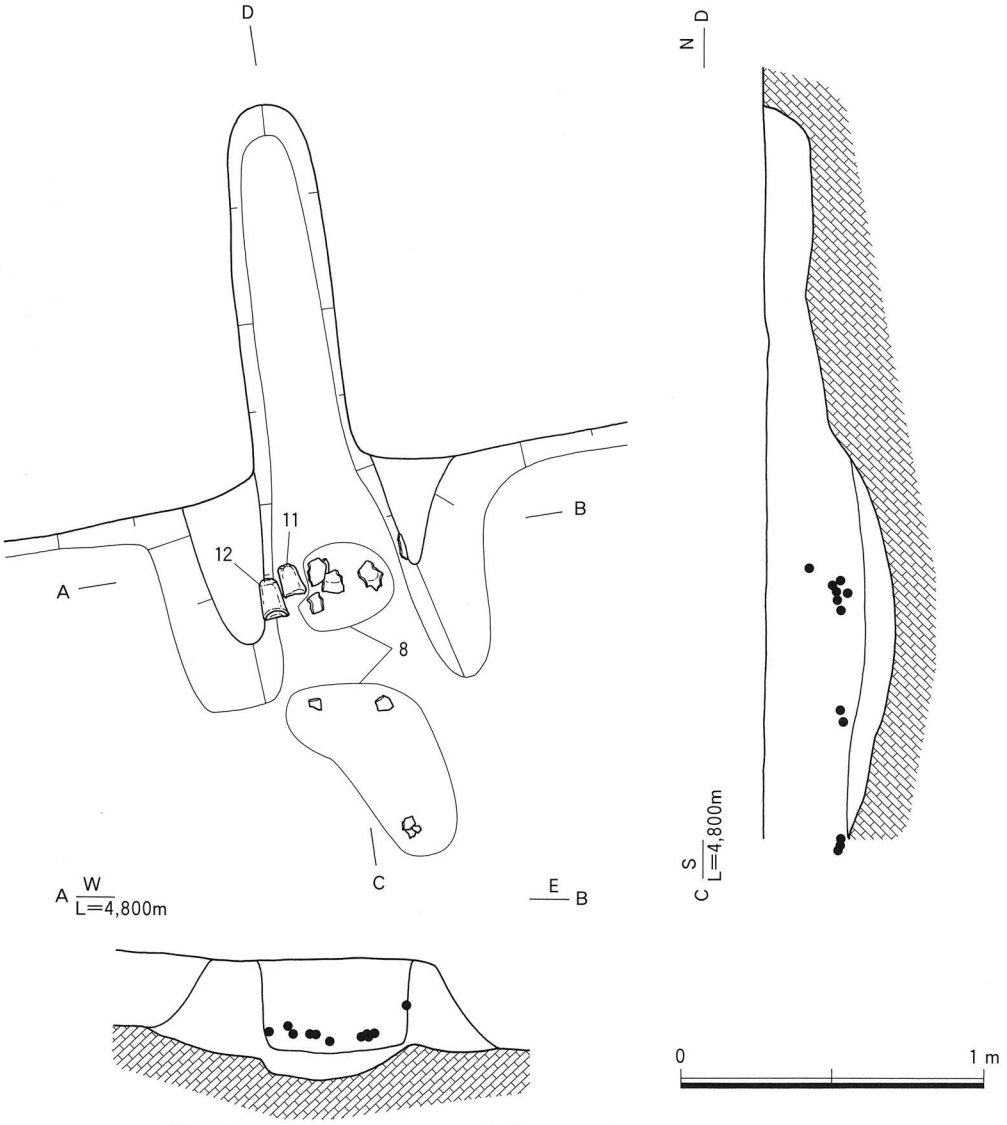
柱穴　6基検出されており、そのうちEP1・2・6が主柱穴の可能性が高い。

竈　北壁のやや東寄りから1基検出されている。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部では焼土の拡がりが、焚き口付近では炭化物や灰層がそれぞれ検出されている。下部構造は楕円形の土坑が掘削されているが図化されていない。長軸1.28m、短軸0.78m、深度0.27mを測る。

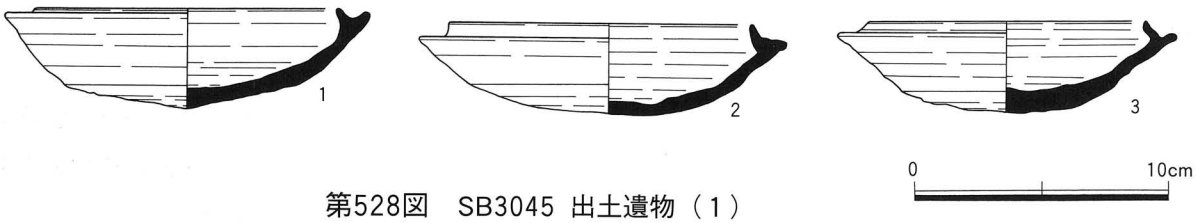
遺物出土状況　竈内および床面の北東隅と南壁寄りから検出されている。

出土遺物　1・2は須恵器の高杯である。3～5は土師器の甕である。6は砂質片岩の剥片で、受熱しており竈の部材と考えられる。

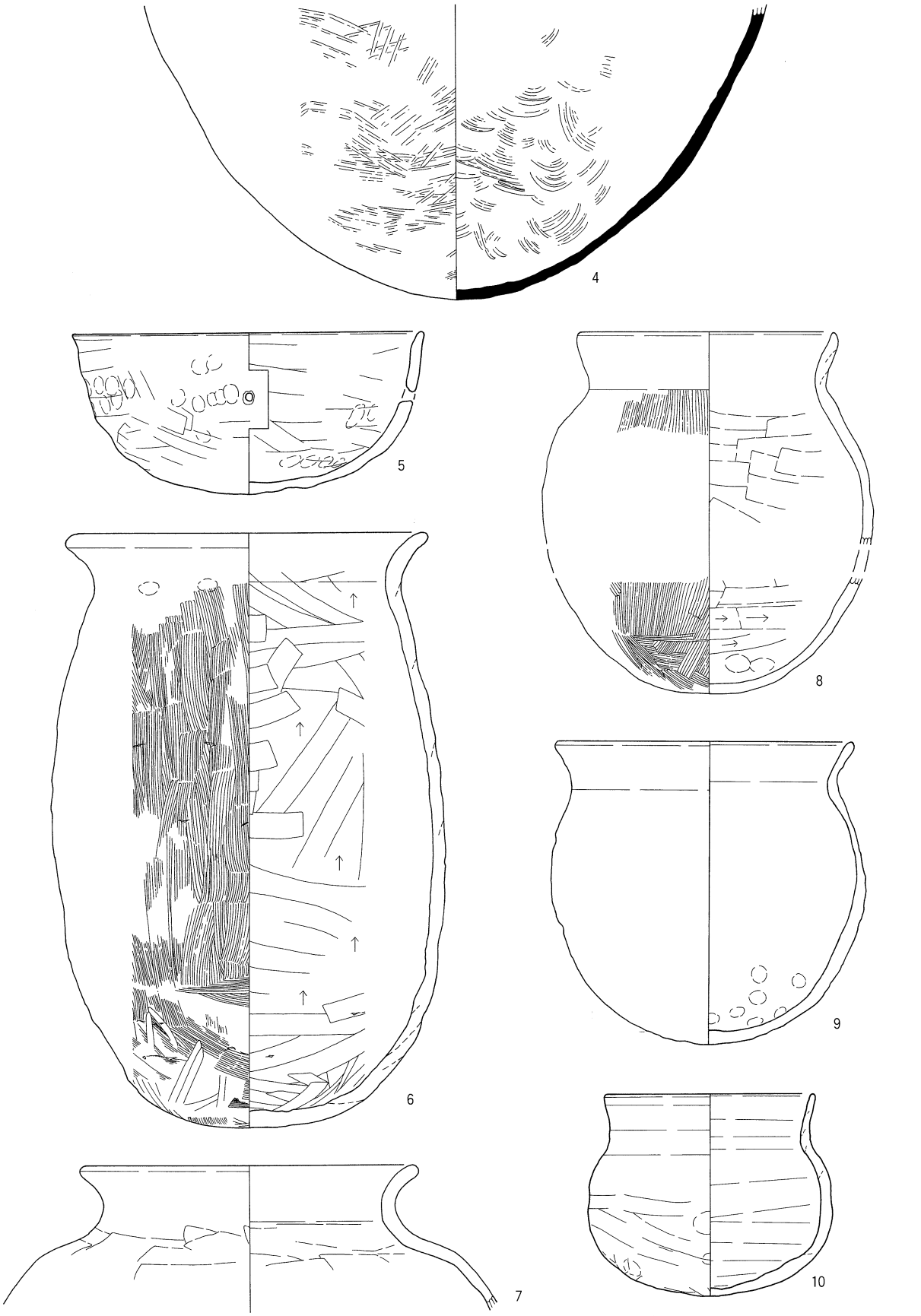
時期　出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第4四半期・TK43並行期）以降と考えられる。



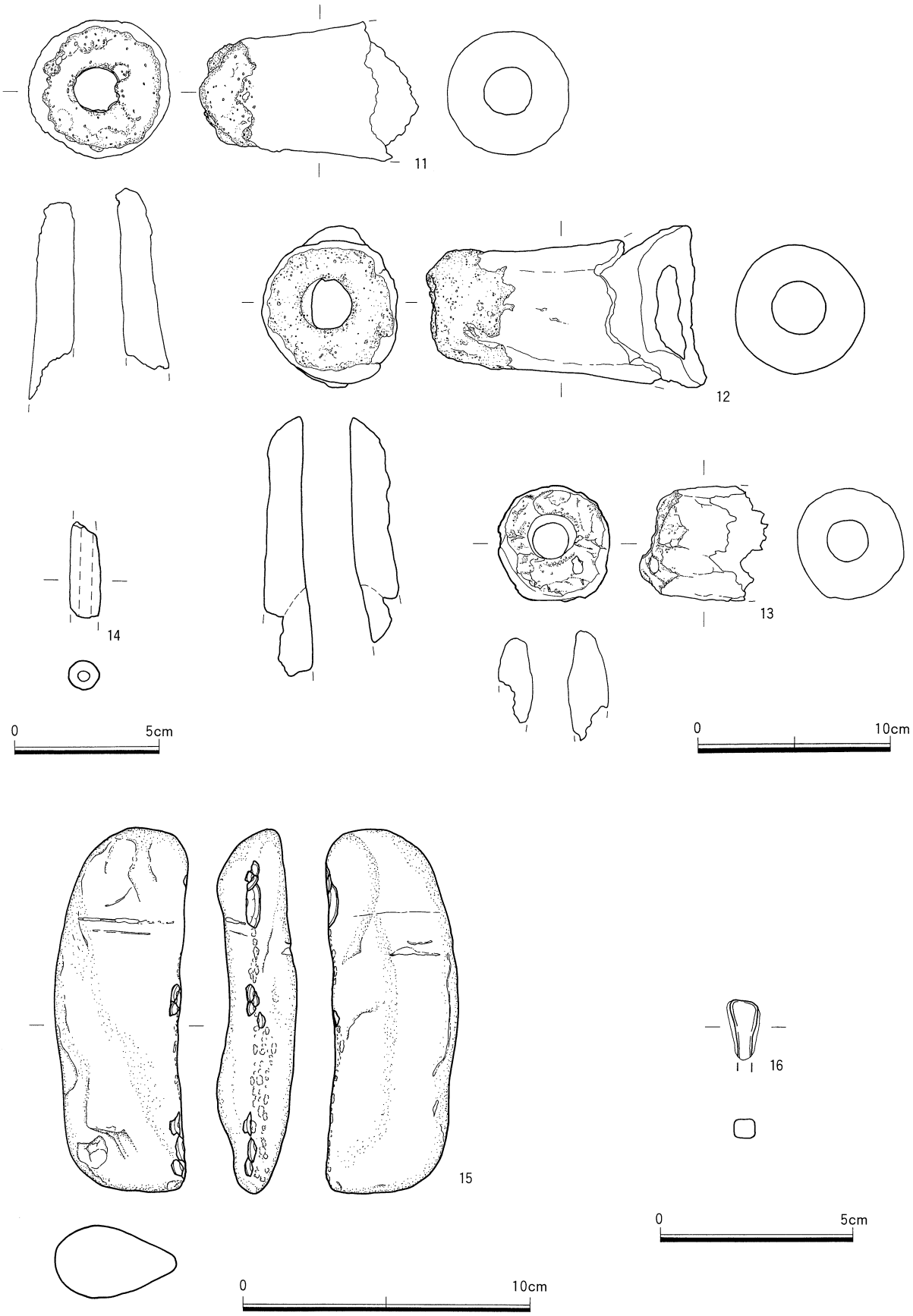
第527図　SB3045・EH1 遺物出土状況図



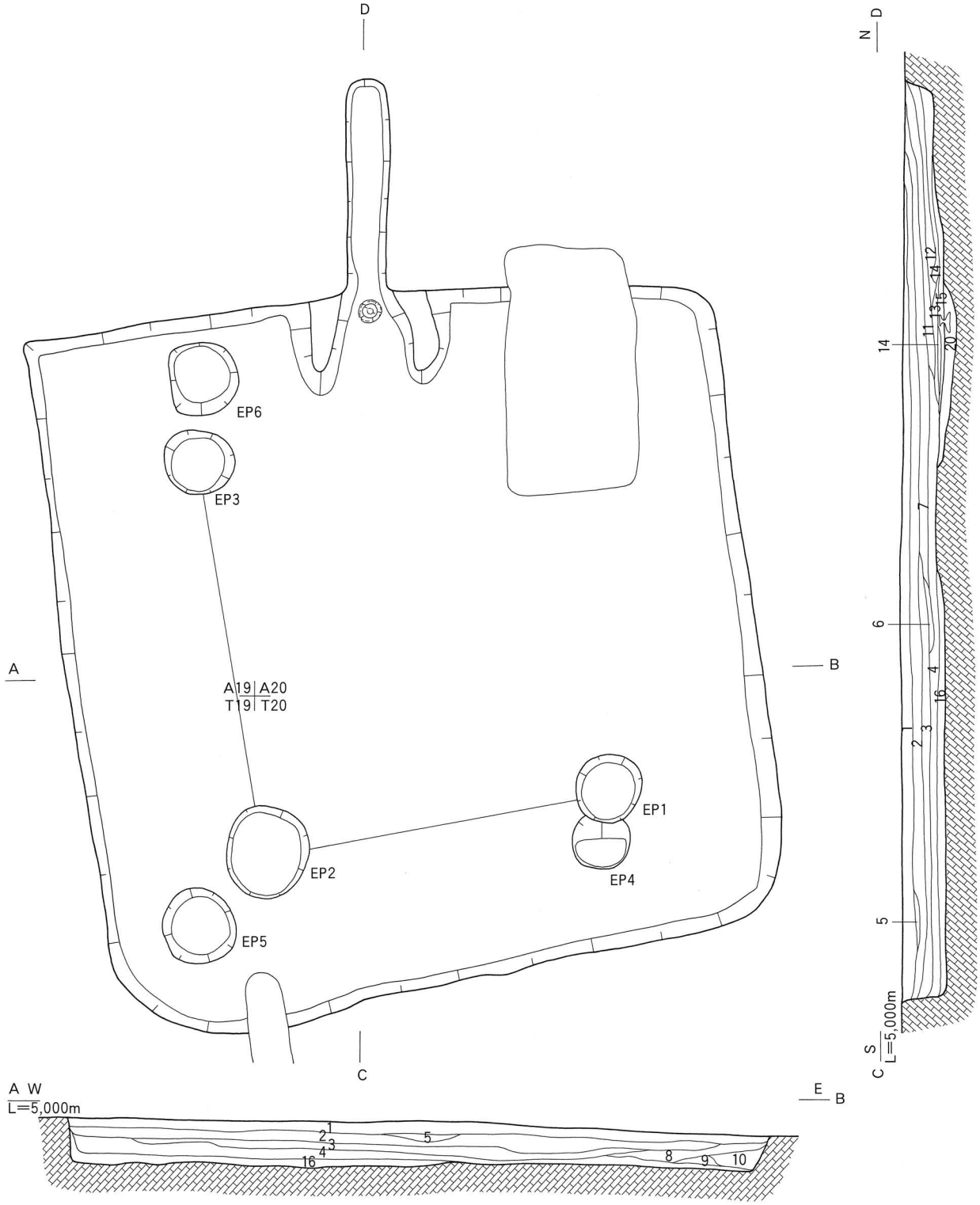
第528図　SB3045 出土遺物（1）



第529図　SB3045 出土遺物（2）



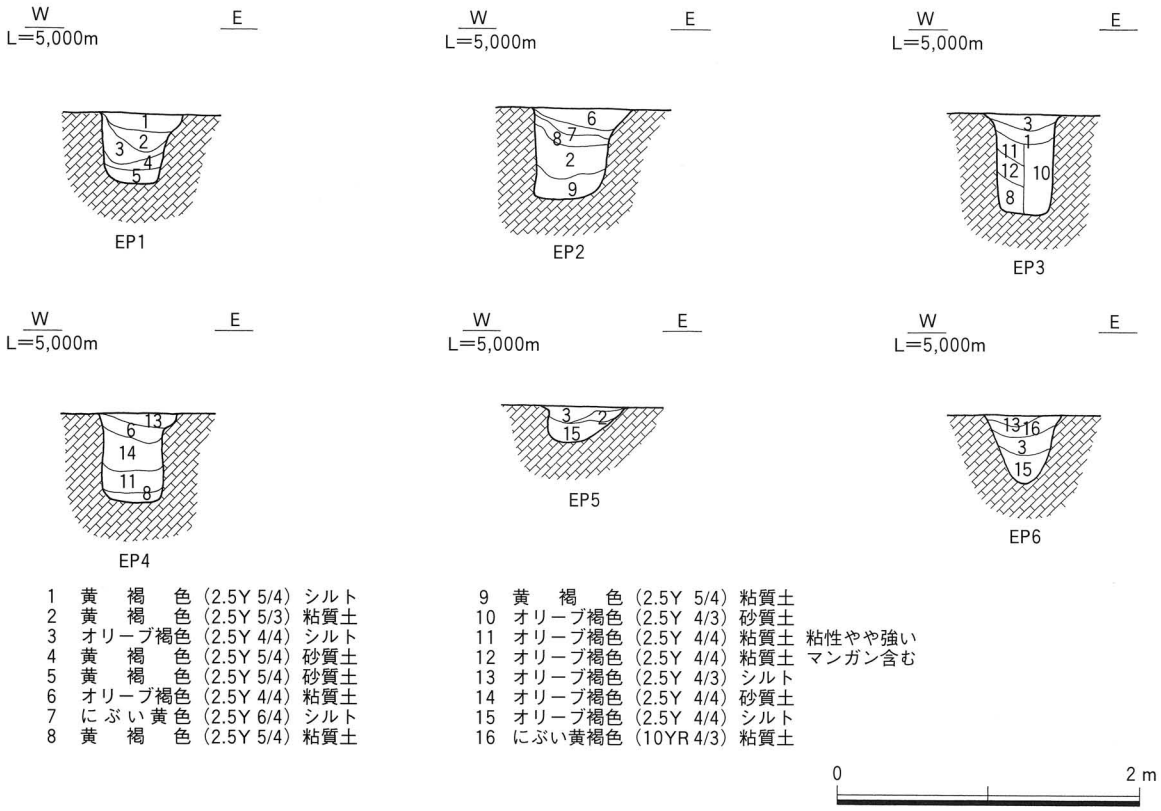
第530図　SB3045 出土遺物（3）



1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガン含む
2　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガン含む
4　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　灰　黄　色（2.5Y 6/2）砂質土
7　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
8　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガン含む
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
10　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
16　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土

0　2 m

第531図　SB3046 平断面図



第532図　SB3046・EP 断面図

56号竪穴住居跡（SB3056）（第592～598図）

検出場所　2003年度調査４－２区　Loc.G１・γⅡS16・17・T16・17グリッド

形態・規模　平面形態は方形または長方形を呈するとみられるが、西側が調査区外に延びている。長軸5.30m、短軸3.46m（残存値）、表面積は約18.3m²（残存値）を測り、残存する深度は0.56mである。

土層　49層に分層される。

柱穴　主柱穴は４本柱とみられるが、東側の２基のみ検出されている。

周壁溝　西側を除く３方向から検出されている。

竈　北壁に１基検出された。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部から焚き口にかけて焼土および炭化物の拡がりが確認された。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内および南壁沿いを中心に検出された。

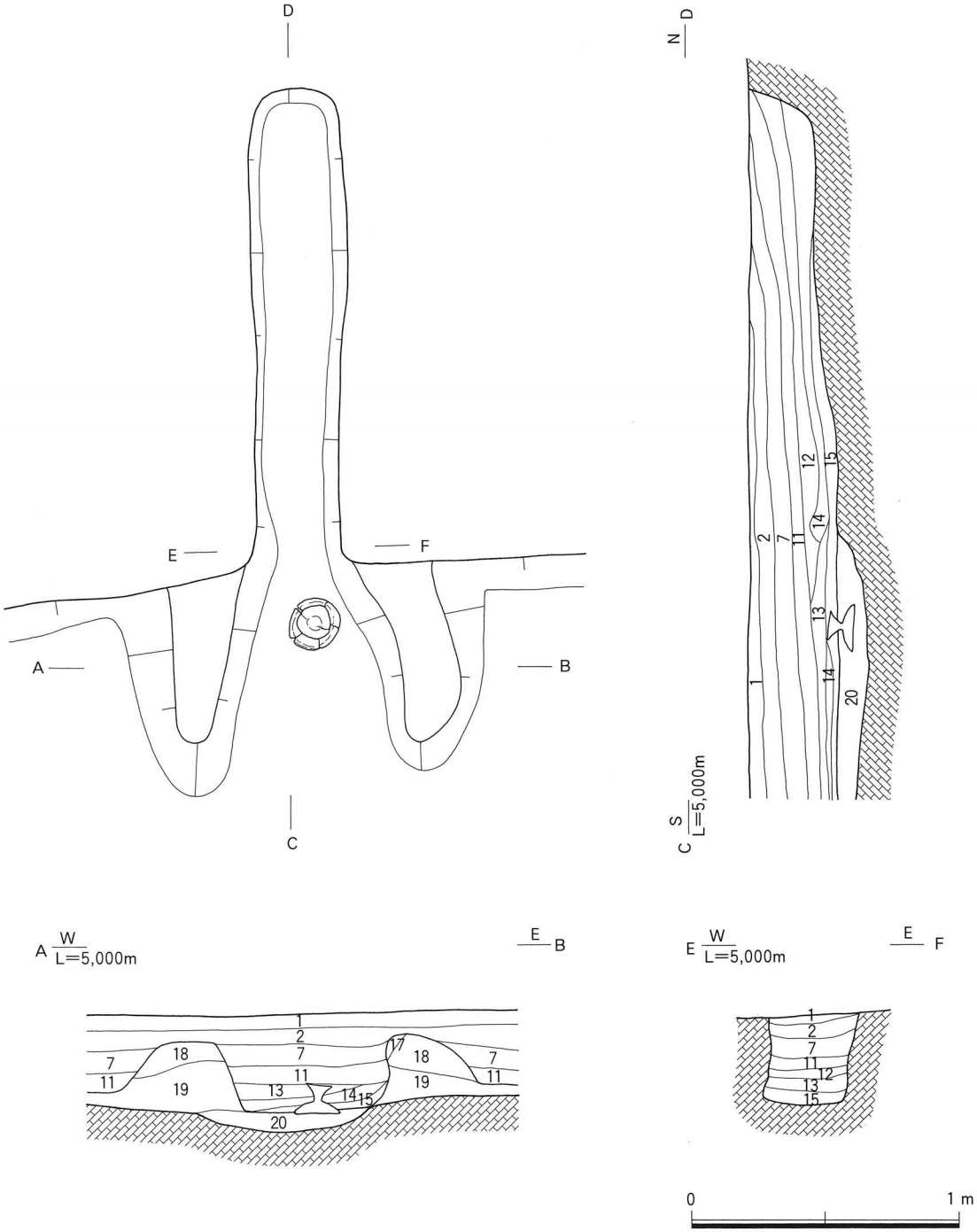
出土遺物　１は須恵器の杯蓋である。外面天頂部にヘラ記号を持つ。２は須恵器の杯身である。３・４は須恵器の高杯である。５～８は須恵器の甕である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第１四半期・TK209並行期）と考えられる。

57号竪穴住居跡（SB3057）（第599～604図）

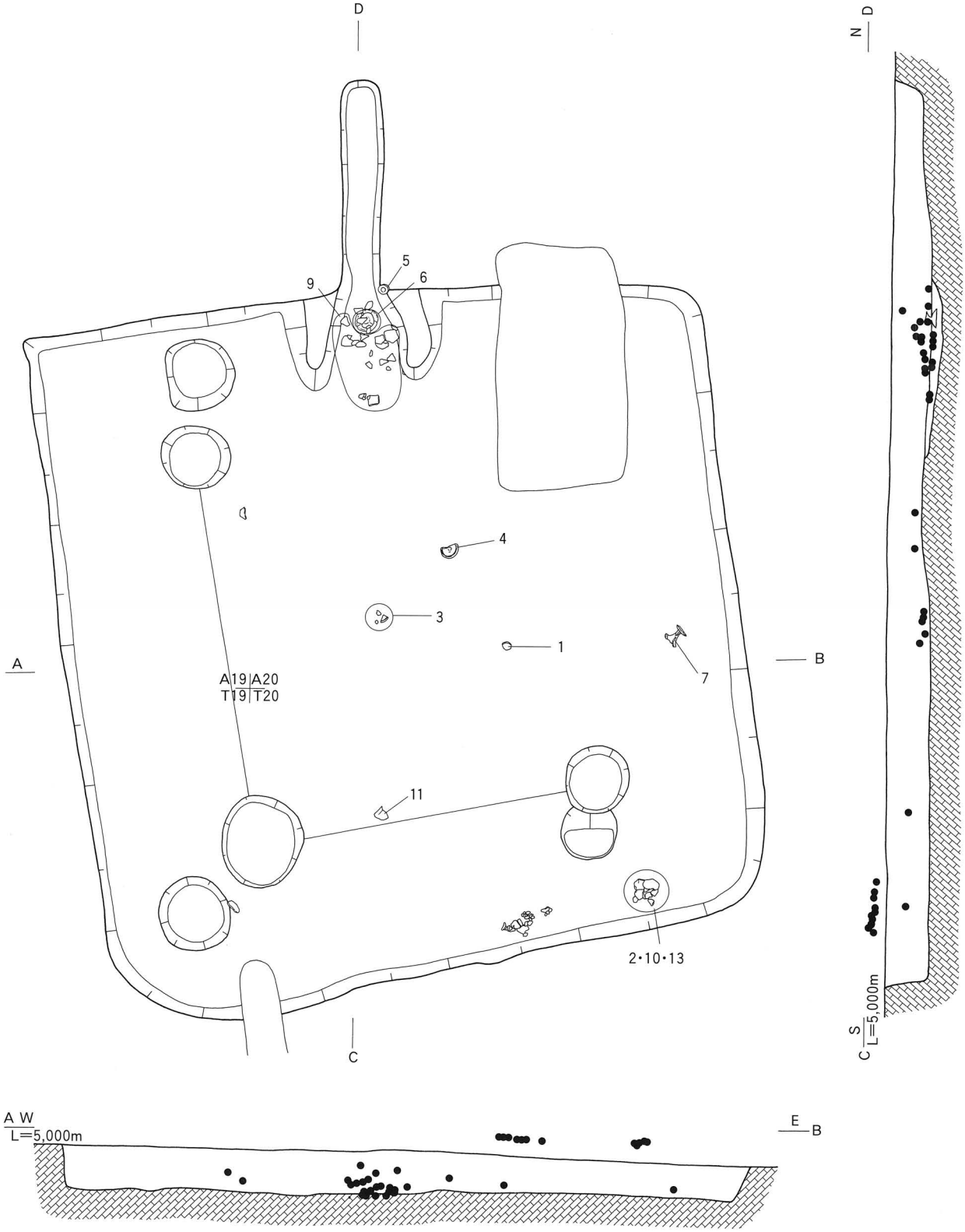
検出場所　2003年度調査４－２区　Loc.G１・δⅡB17・C17グリッド

形態・規模　平面形態は長方形を呈し、長軸4.48m、短軸3.77m、表面積は約16.9m²を測る。残存する深度は0.41mである。



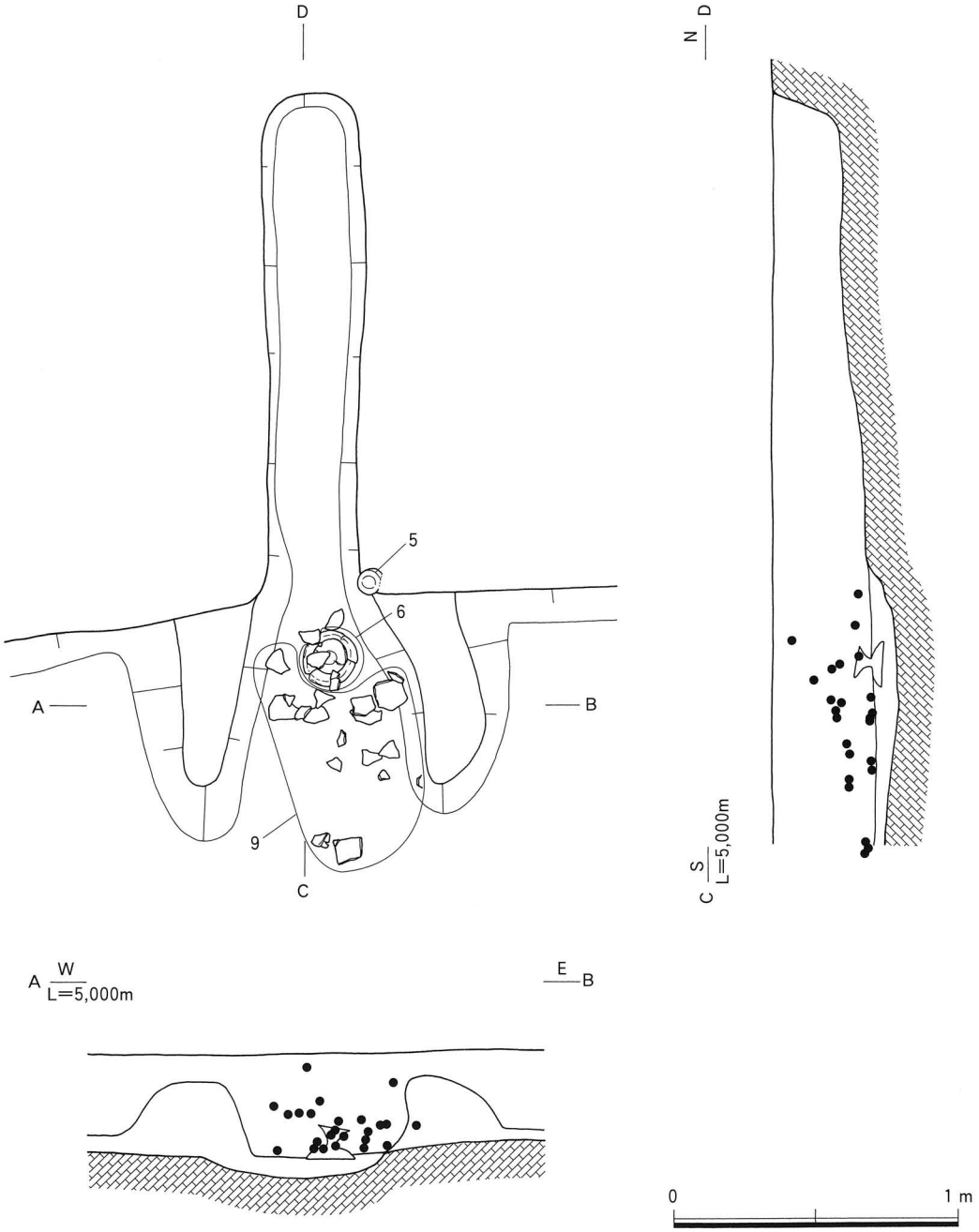
1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガン含む
2　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　炭化物わずかに含む
7　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
13　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
14　暗 赤 褐 色（5YR 3/4）粘質土　焼土含む
15　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土　炭化物含む
17　褐　　色（7.5YR4/4）砂質土
18　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
20　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土

第533図　SB3046・EH1 平断面図

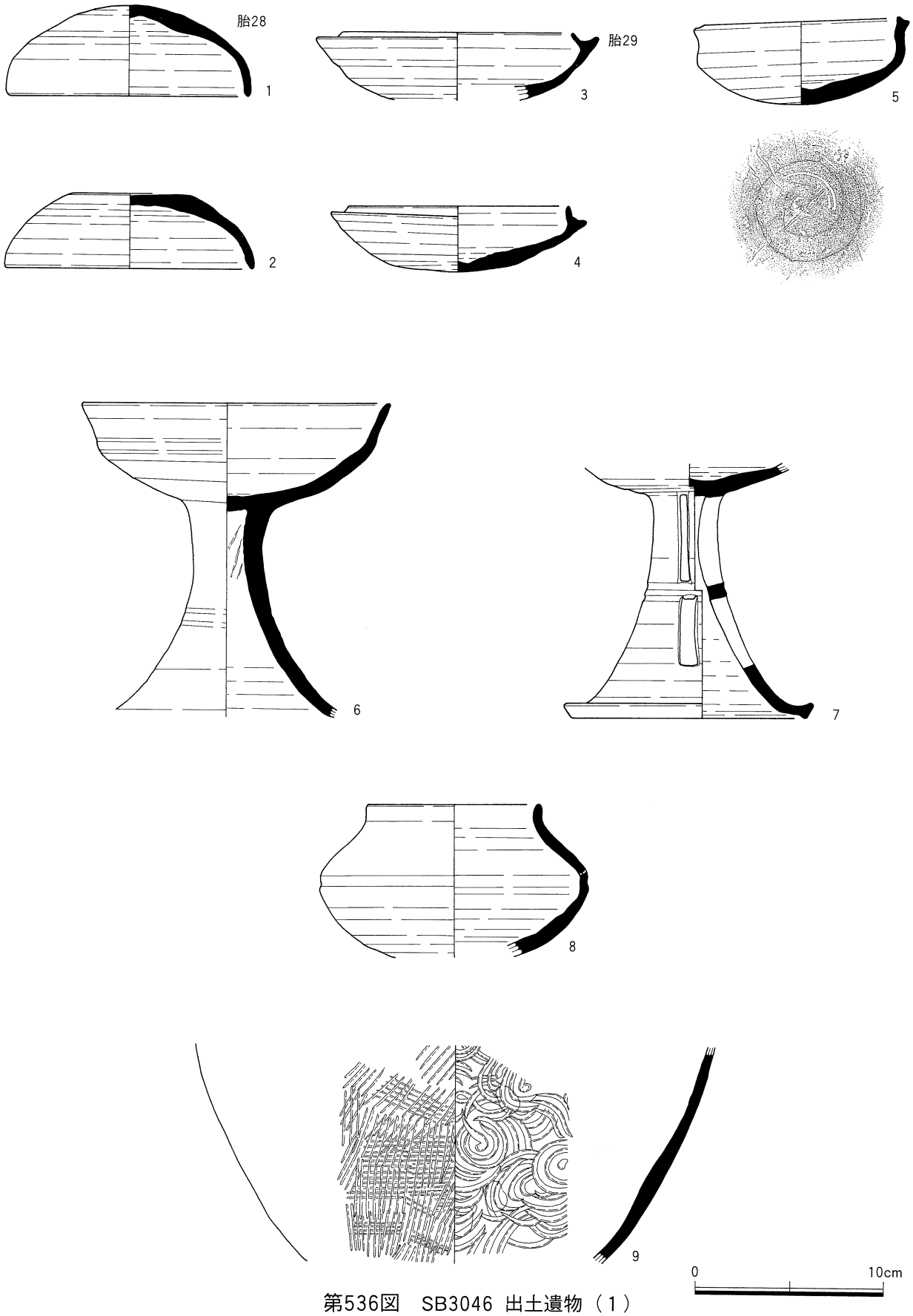


第534図　SB3046 遺物出土状況図

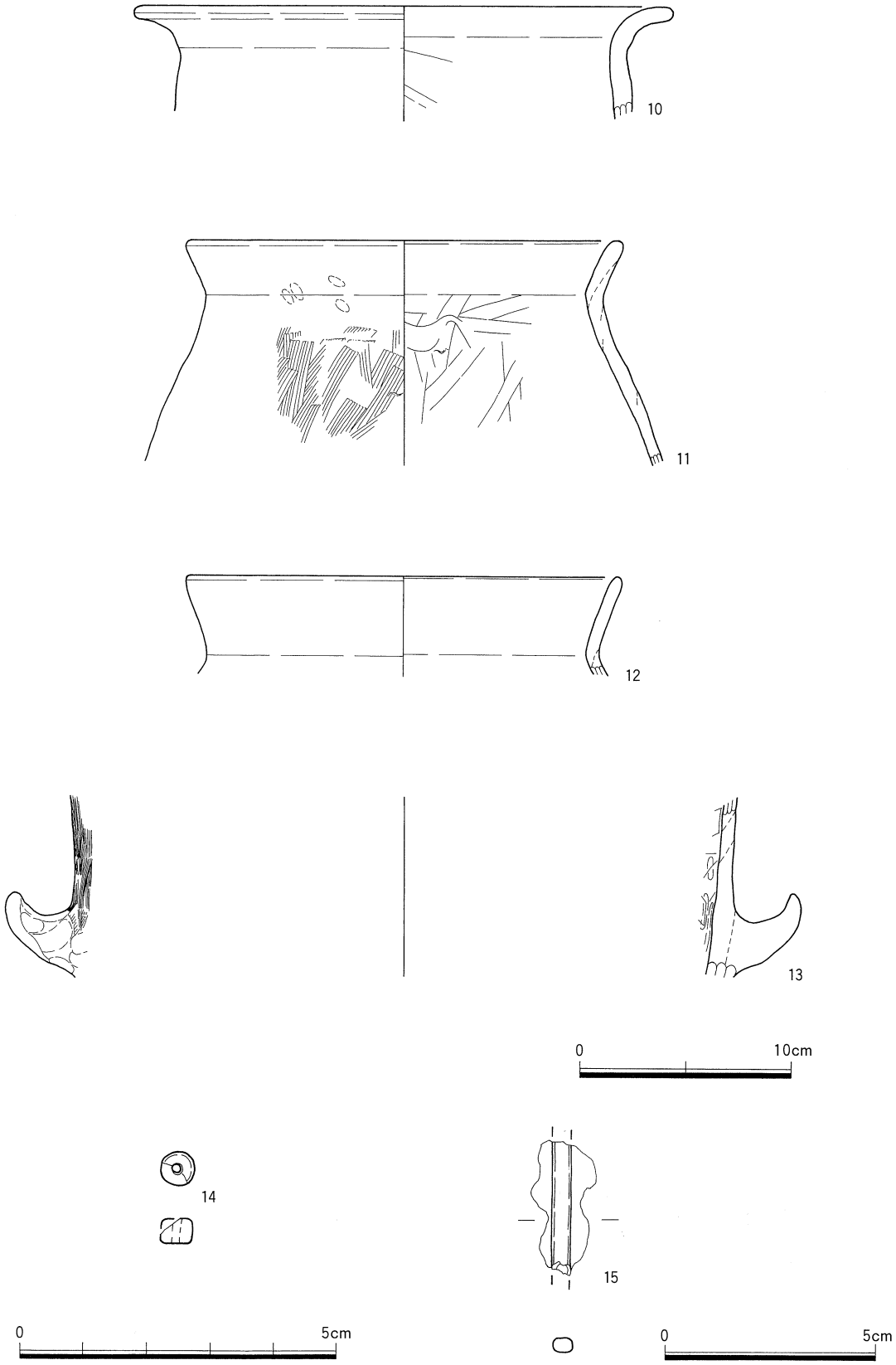
0　2 m



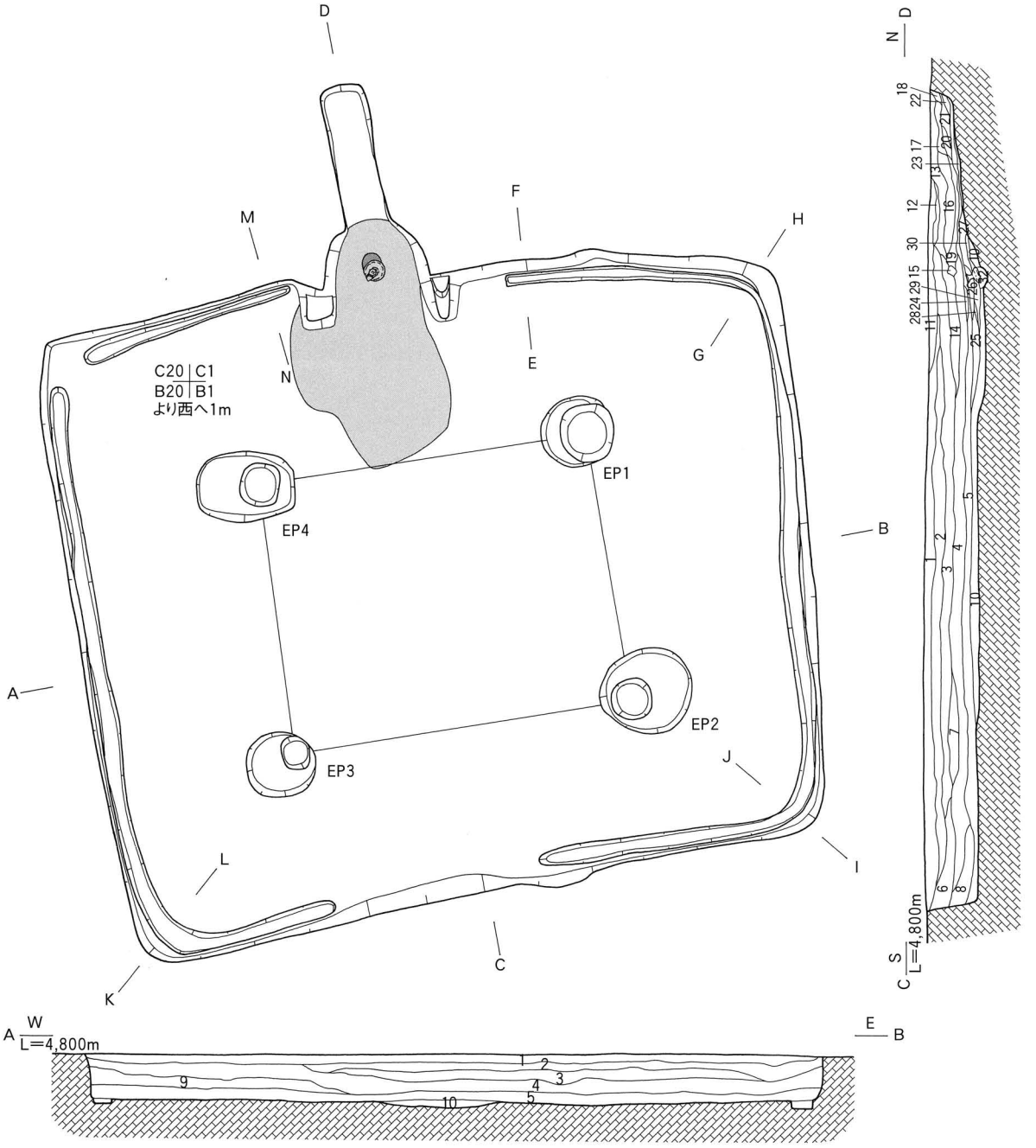
第535図　SB3046・EH1 遺物出土状況図



第536図　SB3046 出土遺物（1）



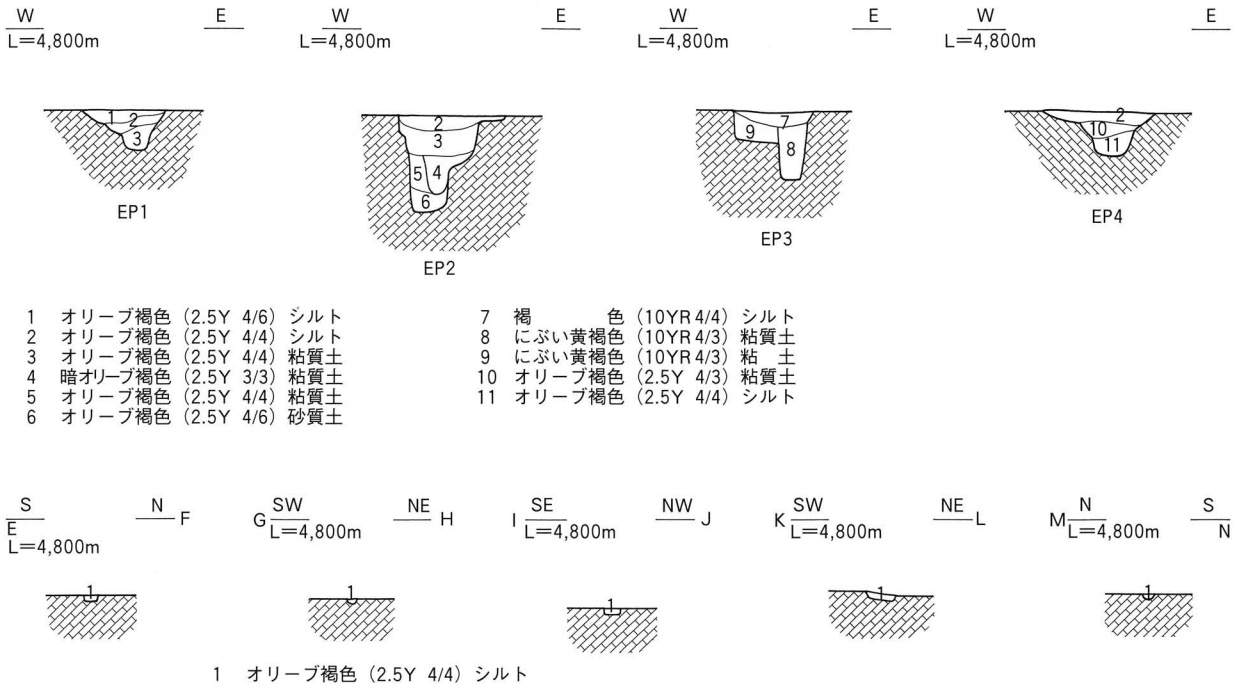
第537図　SB3046 出土遺物（2）



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　マンガン含む
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　鉄分含む
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　マンガン・鉄分含む
5　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガン含む
10　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト

0　2 m

第538図　SB3047 平断面図



第539図　SB3047・EP・ED 断面図

土層　59層に分層される。

柱穴　柱穴は４基検出されている。

竈　北壁のほぼ中央に１基検出された。支脚に須恵器の高杯を倒置して利用している。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、燃焼部から焚き口にかけて炭化物の拡がりがみとめられた。

遺物出土状況　竈内を中心として検出されている。また床面の西壁沿いを中心に炭化物の拡がりがみとめられた。

出土遺物　１～３は須恵器の杯蓋である。４～７は須恵器の杯身である。７は外面底部にヘラ記号を持つ。８は須恵器の高杯である。９は須恵器の甕である。10・11は土師器の甕である。12・13は土錘である。14は石英粗面岩の砥石である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。

58号竪穴住居跡（SB3058）（第605～609図）

検出場所　2001年度調査区５区・2003年度調査４－２区　Loc.G１・δⅡS13・T12・13・εⅡA13グリッド

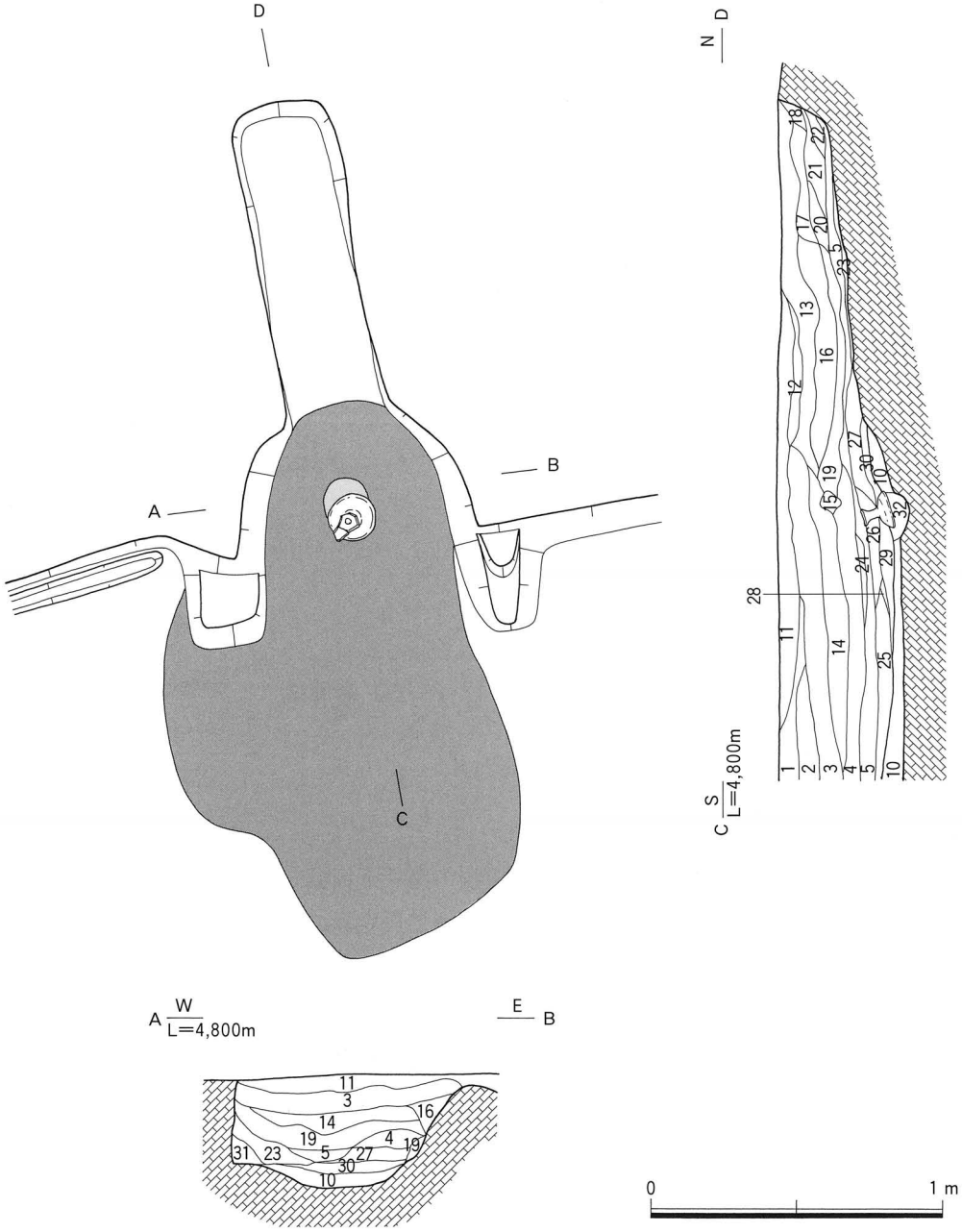
形態・規模　平面形態はほぼ方形を呈し、長軸5.18m、短軸4.90m、表面積は25.4m²を測る。残存する深度は0.23mである。

土層　39層に分層される。

柱穴　柱穴は４基検出されているが、主柱穴は東側の２本のみ検出されている。

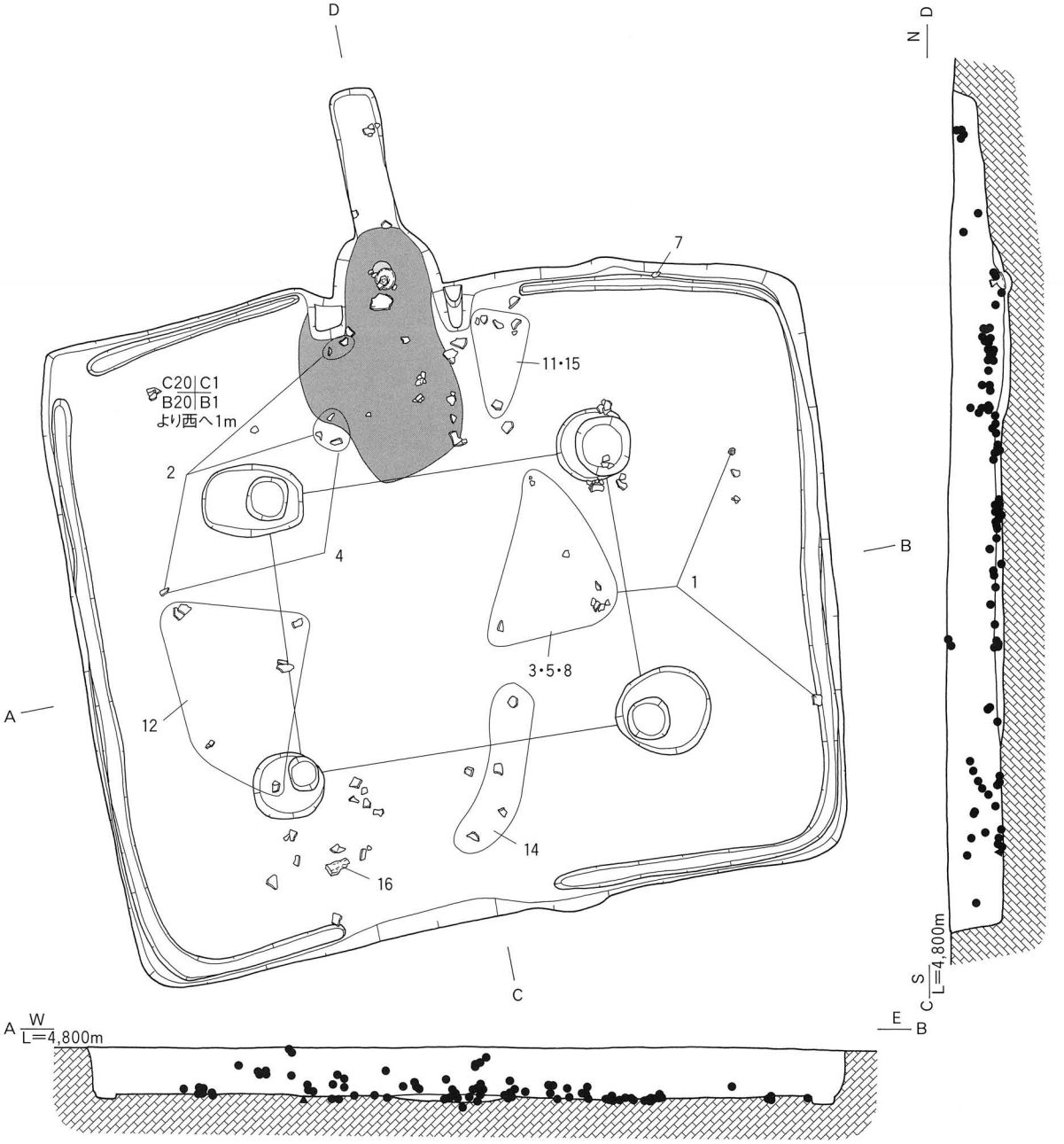
周壁溝　東側と南側の２方向から検出された。

竈　北壁のほぼ中央から１基検出されている。袖部、燃焼部および煙道部が検出されており、焚き口付



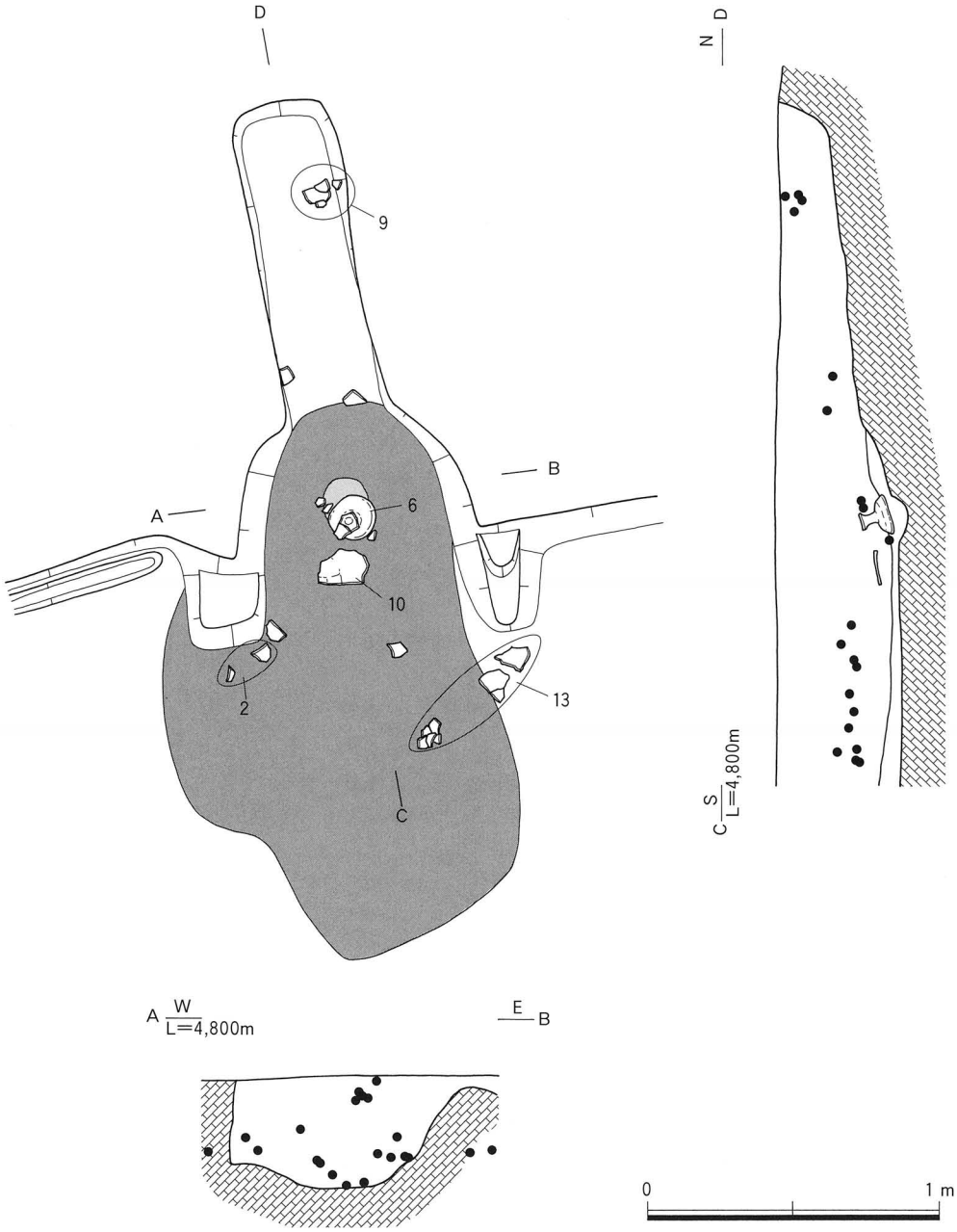
1　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　マンガン含む
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　鉄分含む
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト　マンガン・鉄分含む
5　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
10　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
12　褐　　色（10YR 4/6）砂質土
13　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
15　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
16　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガン含む
17　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
18　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
20　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
21　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　焼土含む
22　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
23　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
24　黄　褐　色（2.5Y 5/6）シルト　焼土含む
25　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
26　褐　　色（7.5YR4/4）シルト（焼土）
27　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
28　灰　黄　色（2.5Y 6/2）粘　土（灰）
29　褐　　色（7.5YR4/4）シルト
30　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　炭化物・焼土含む
31　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
32　褐　　色（7.5YR4/4）シルト（焼土）

第540図　SB3047・EH1 平断面図

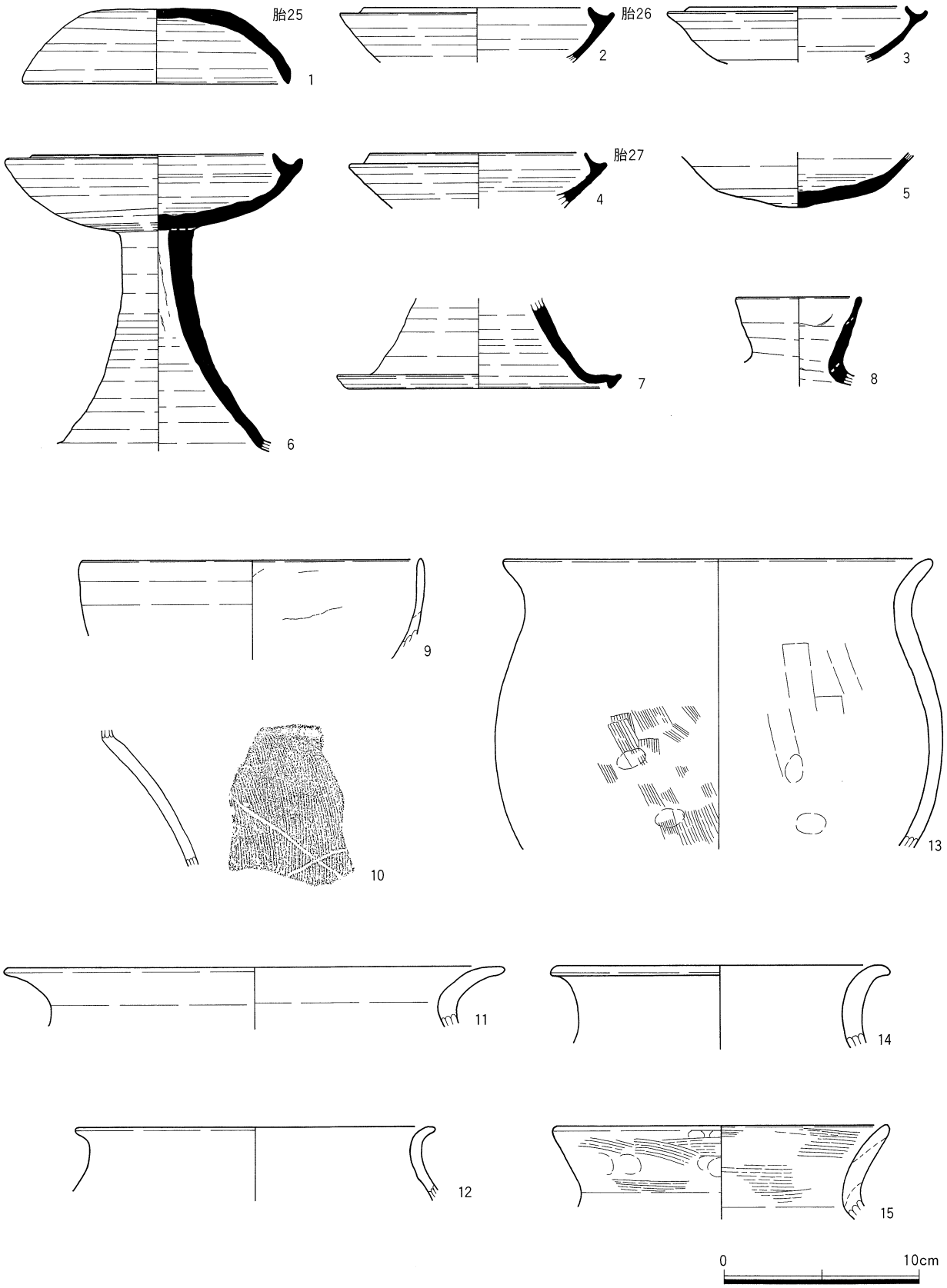


第541図　SB3047 遺物出土状況図

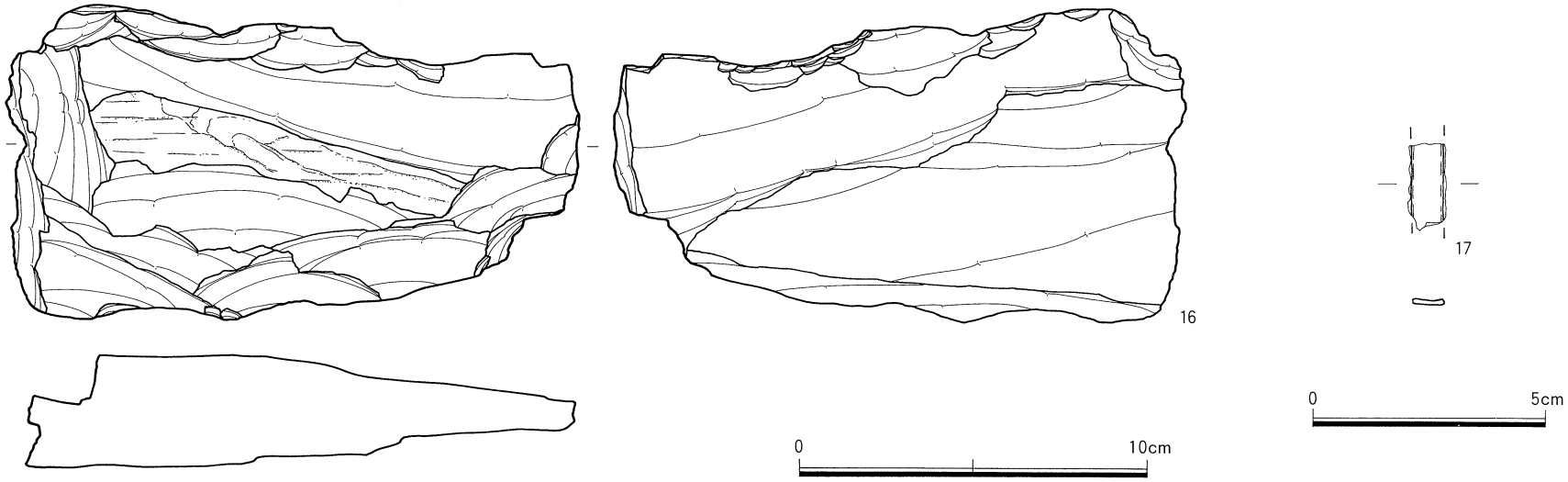
0　2 m



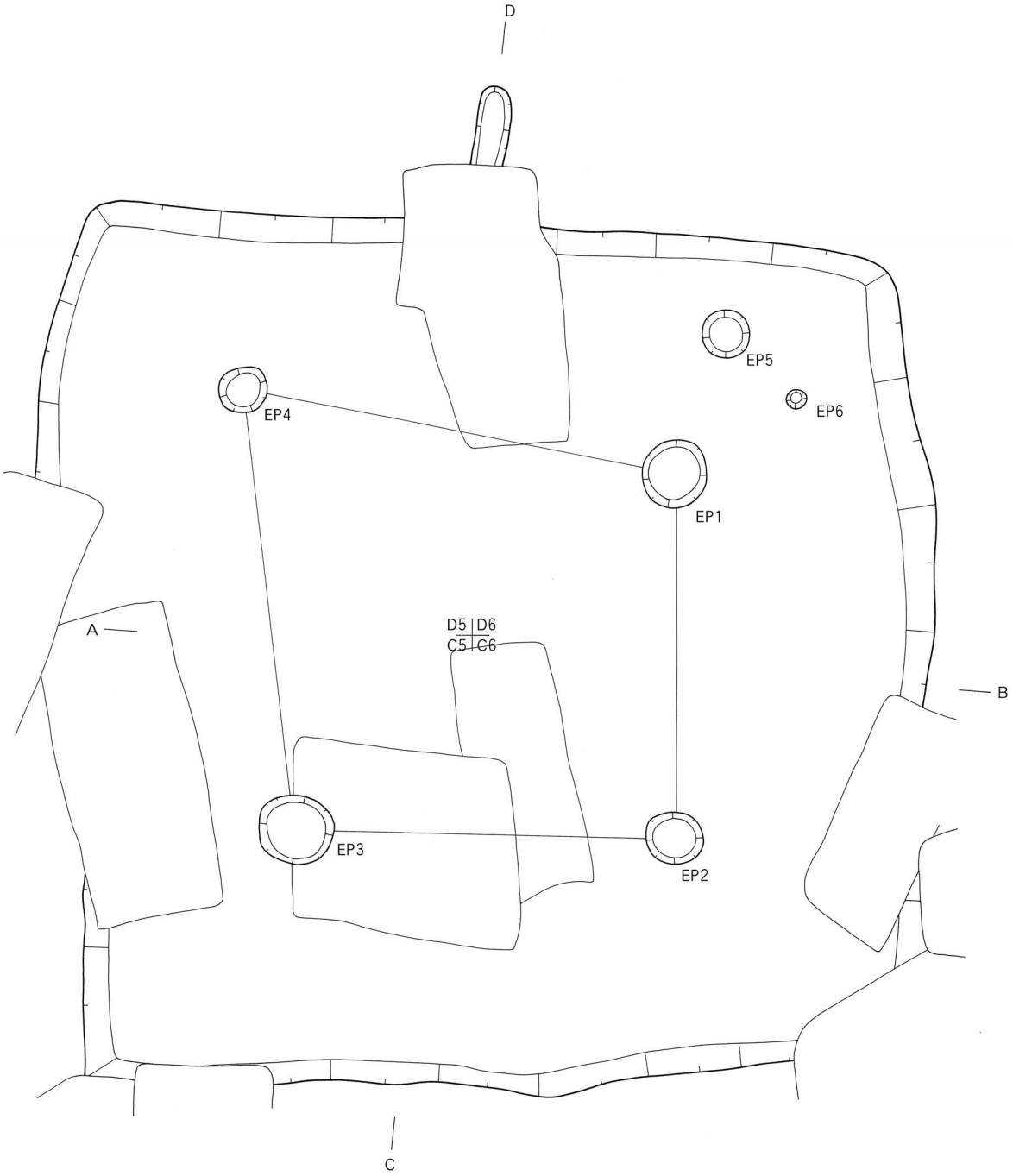
第542図　SB3047・EH1 遺物出土状況図

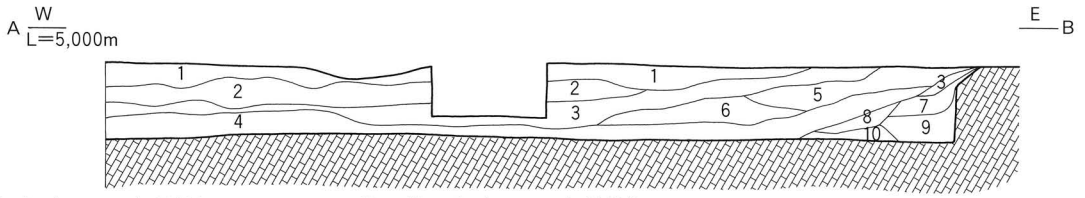


第543図　SB3047 出土遺物（1）



第544図　SB3047 出土遺物（2）

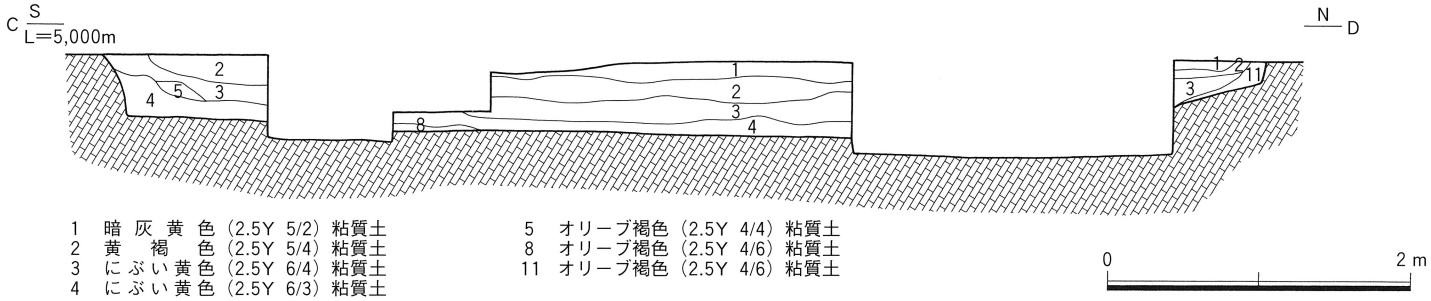




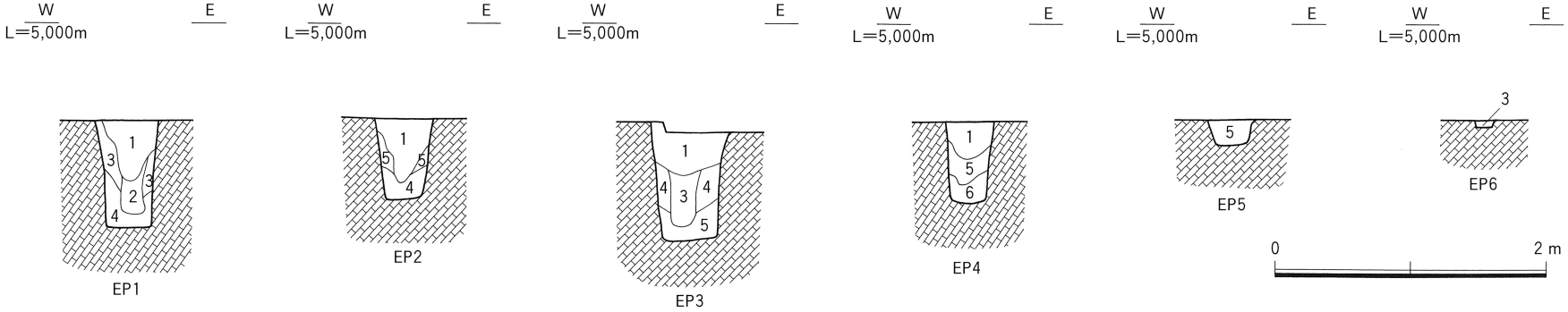
1　暗灰黄色（2.5Y 5/2）粘質土
2　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
3　にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
4　にぶい黄色（2.5Y 6/3）粘質土
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
6　黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘質土
7　褐　　色（10YR 4/6）粘性砂質土
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
9　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
10　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘性砂質土

第545図　SB3048 平断面図（1）

0　2 m

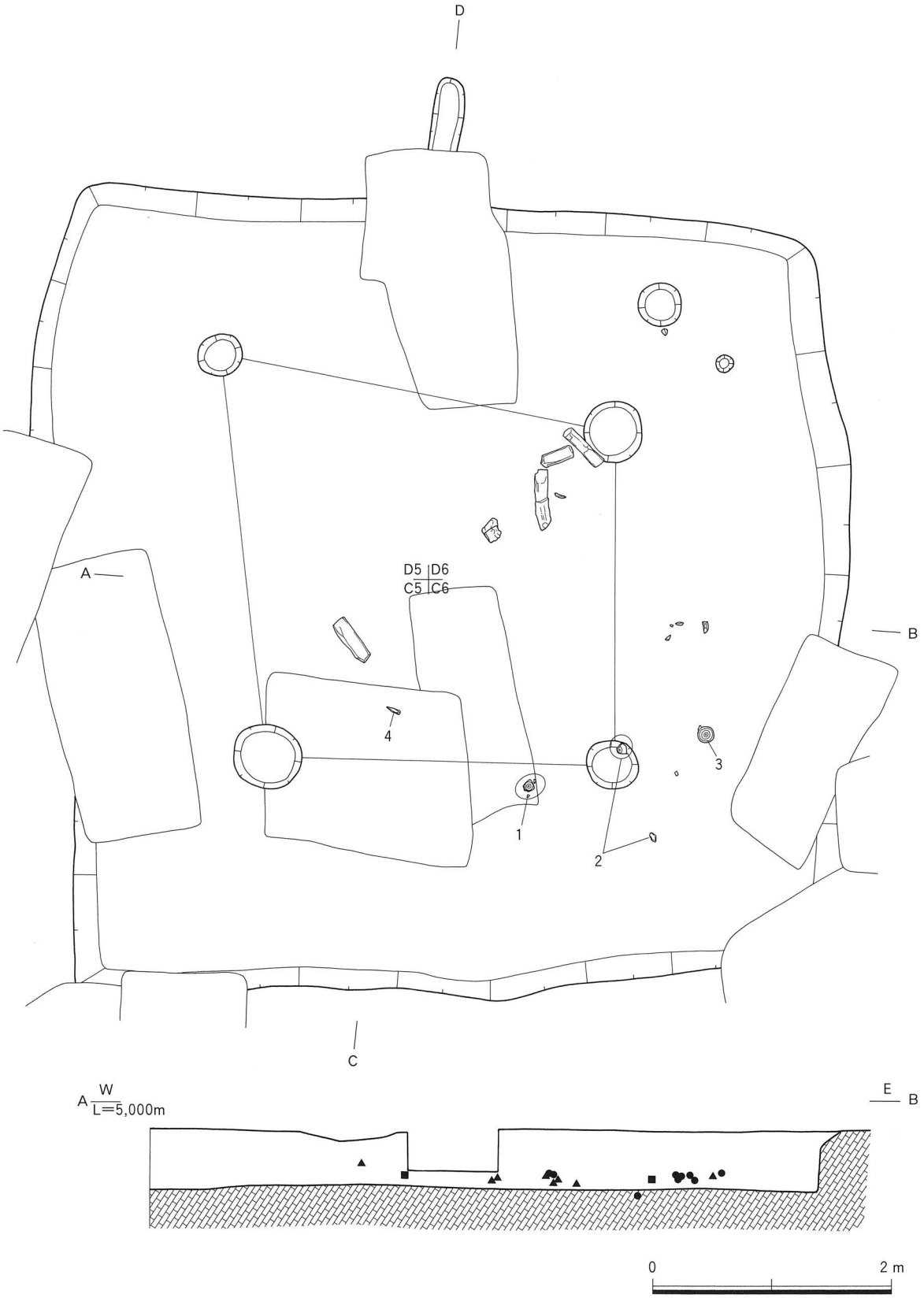


第546図　SB3048 平断面図（2）

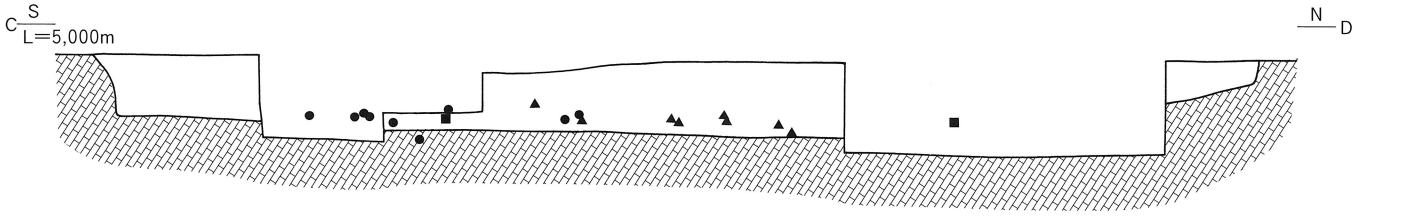


1 黄褐色（2.5Y 5/6）粘質土
2 灰黄色（2.5Y 6/2）粘質土
3 にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
4 黄褐色（2.5Y 5/4）粘質土
5 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
6 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土

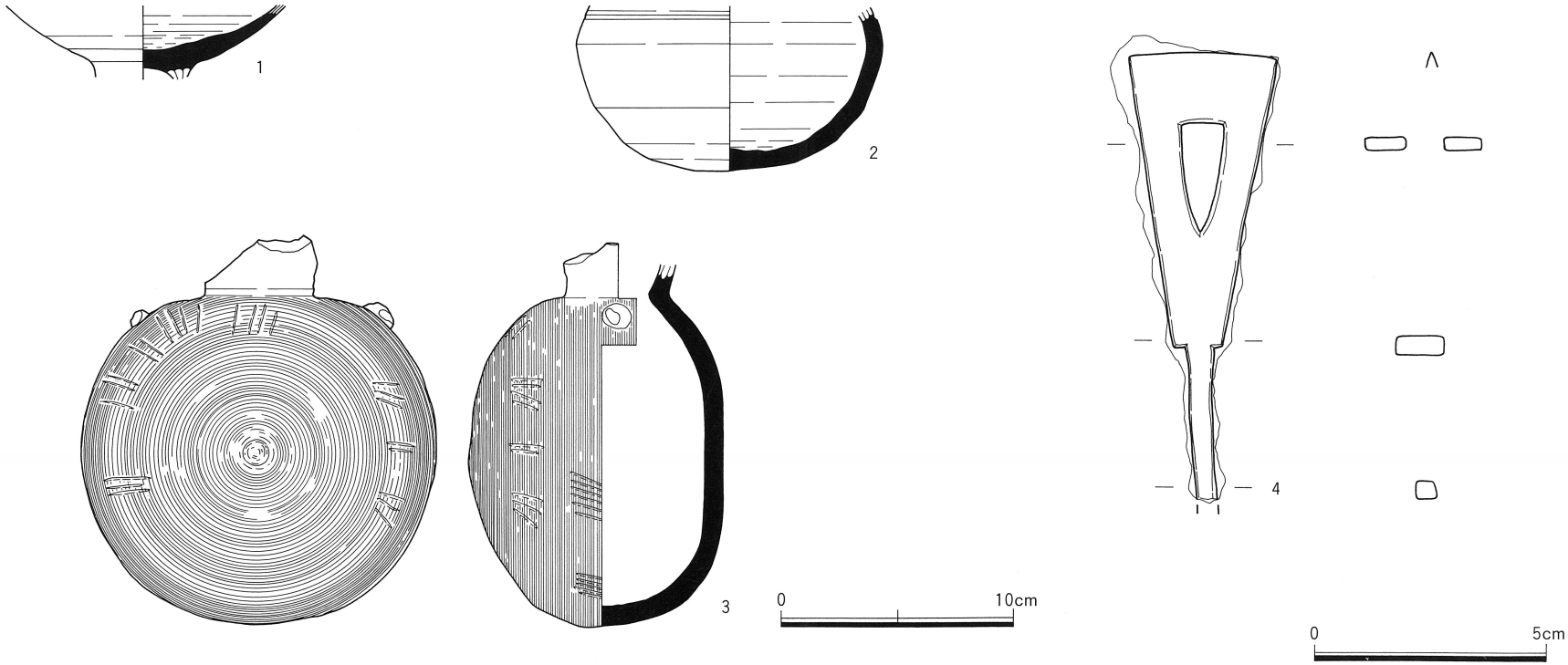
第547図　SB3048・EP 断面図



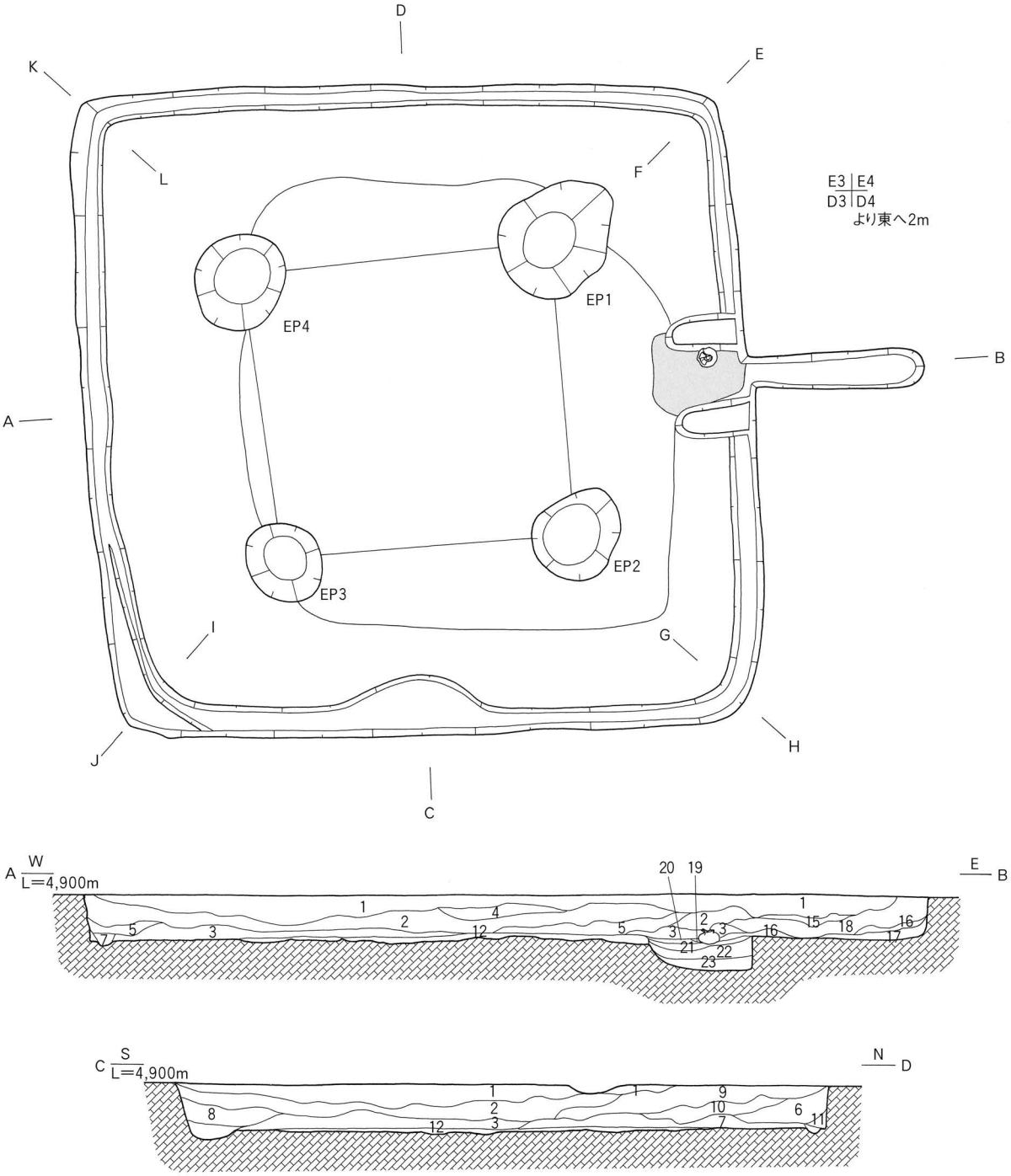
第548図　SB3048 遺物出土状況図（1）



第549図　SB3048 遺物出土状況図（2）



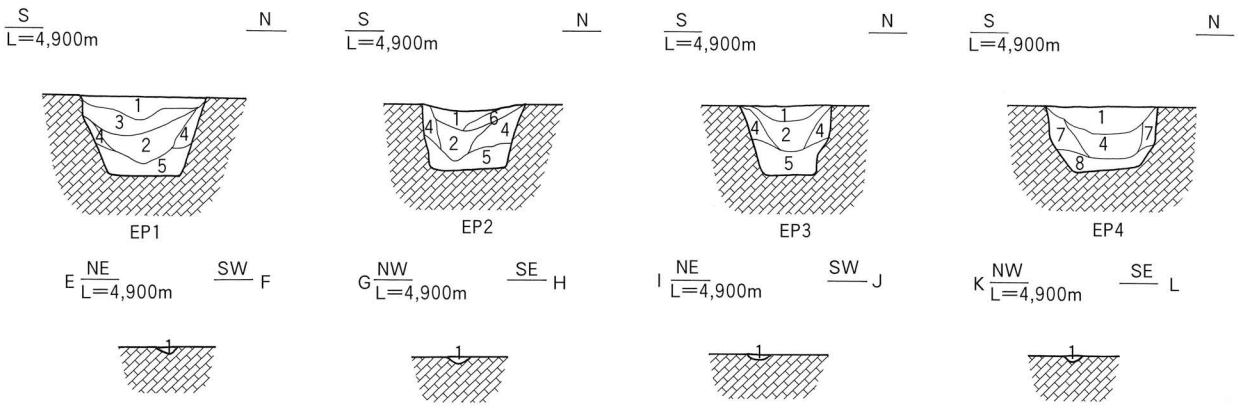
第550図　SB3048 出土遺物



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
2　黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
3　にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
5　黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘質土
6　黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘質土
7　褐　　色（10YR 4/4）粘質土
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
9　にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
10　にぶい黄褐色（10YR 5/4）粘質土
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
12　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土

第551図　SB3049 平断面図

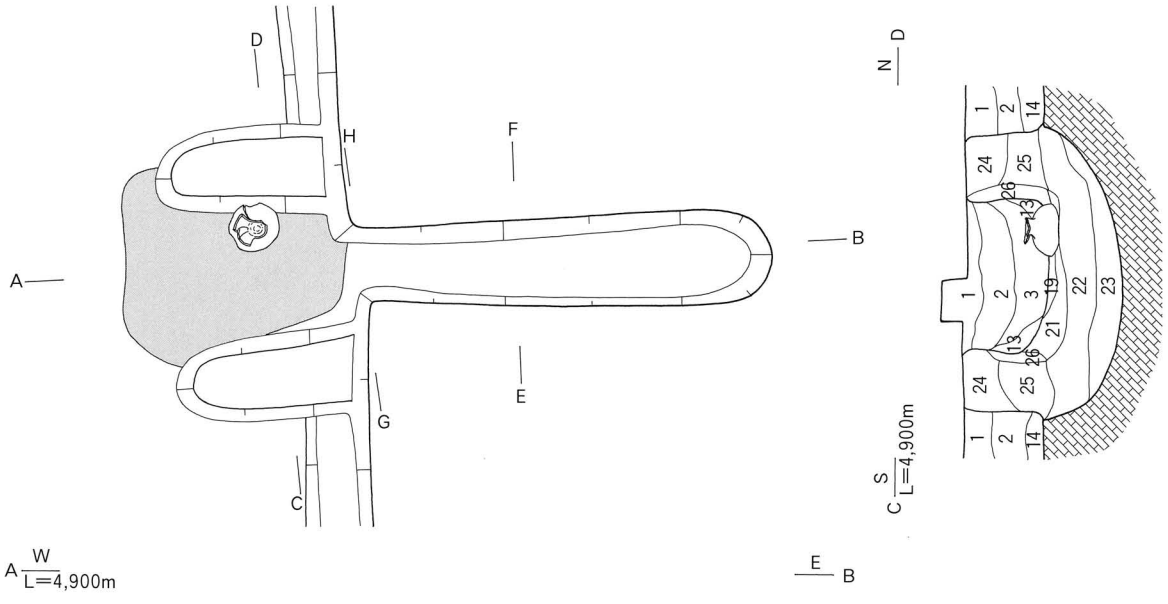
0　2 m

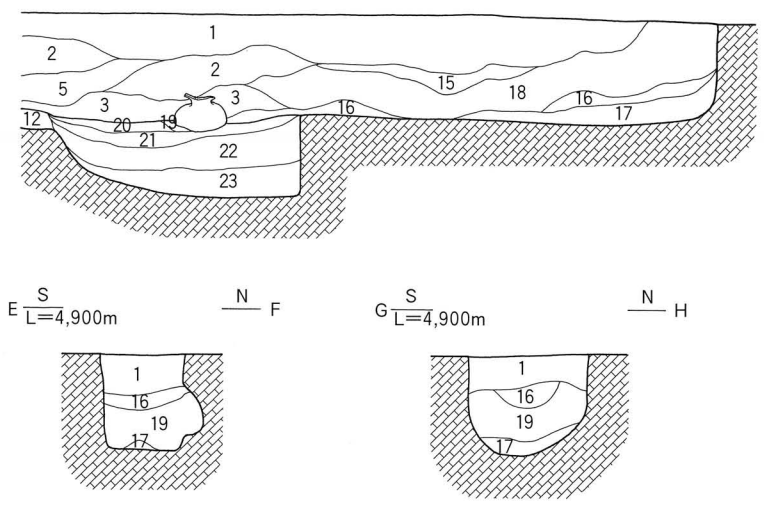


1 黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘質土
2 黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘質土
3 にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
4 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
5 にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘質土
6 にぶい黄色（2.5Y 6/3）粘質土
7 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
8 にぶい黄褐色（10YR 4/3）粘質土

0　2 m

第552図　SB3049・EP・ED 断面図

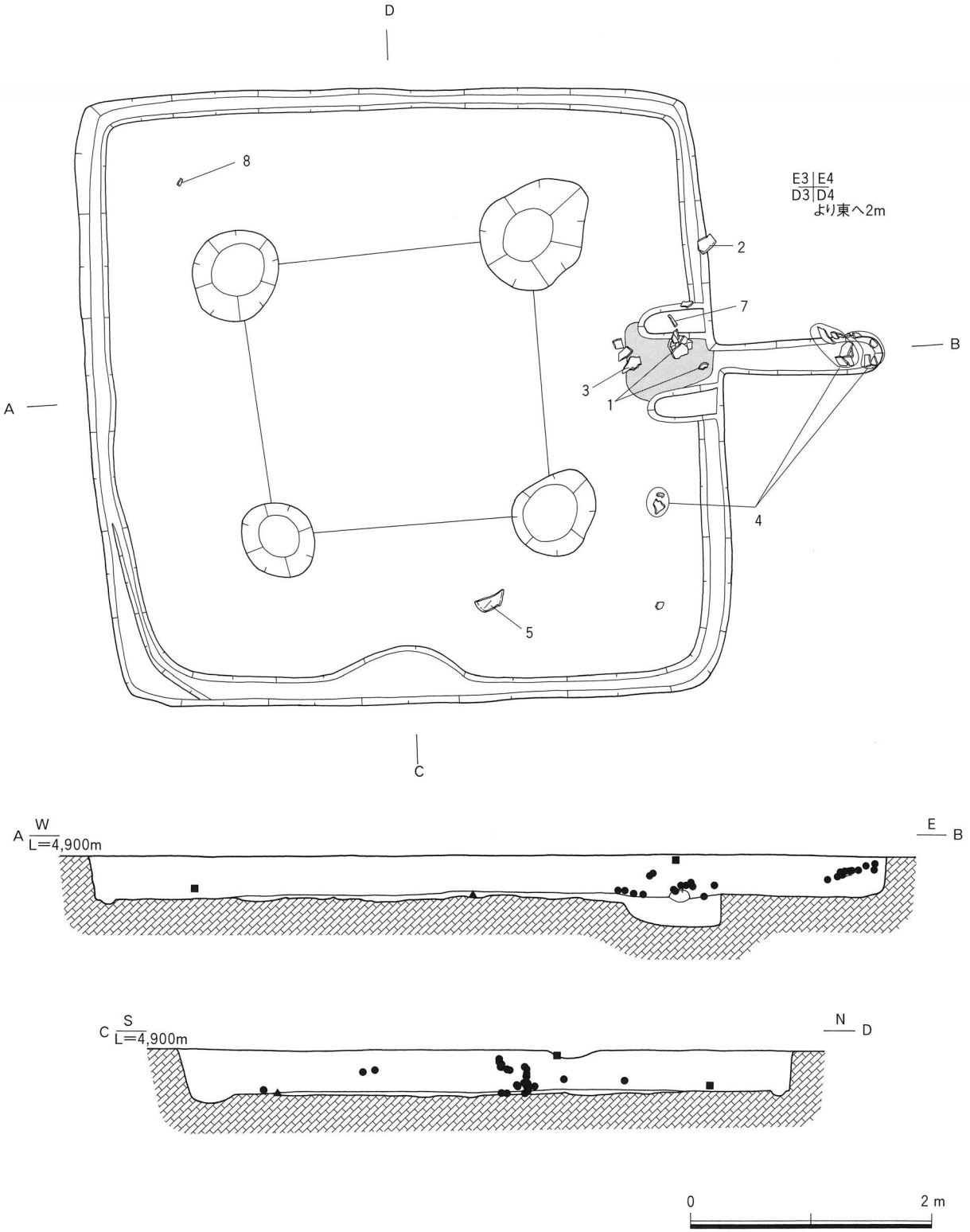




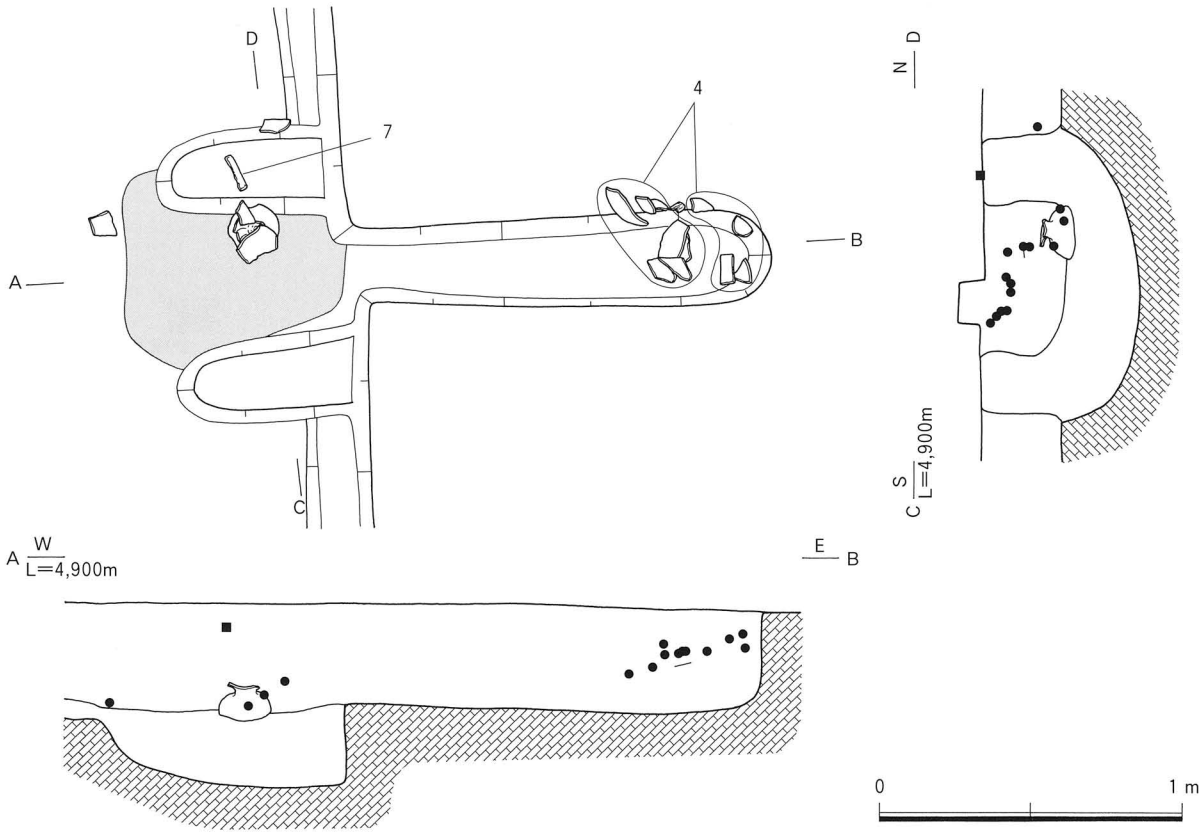
1 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘　質　土
2 黄　褐　色（2.5Y 5/4）粘　質　土
3 にぶい黄色（2.5Y 6/4）粘　質　土
5 黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘　質　土
12 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂　質　土
13 黄　褐　色（2.5Y 5/3）粘　質　土
14 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘　質　土
15 オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘　質　土
焼土を含む
16 褐　色（10YR 4/4）粘　質　土
17 黄　褐　色（2.5Y 5/6）粘　質　土
18 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘性砂質土
焼土・炭化物を多く含む
19 黄　褐　色（2.5Y 5/6）砂　質　土
炭化物を含む
20 明赤褐色（5YR 5/6）砂　質　土
（焼土）
21 明赤褐色（5YR 5/8）砂　質　土
22 オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘性砂質土
23 オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘性砂質土
24 にぶい黄色（2.5Y 6/4）砂　質　土
25 黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂　質　土
26 明赤褐色（5YR 5/6）砂　質　土

0　1 m

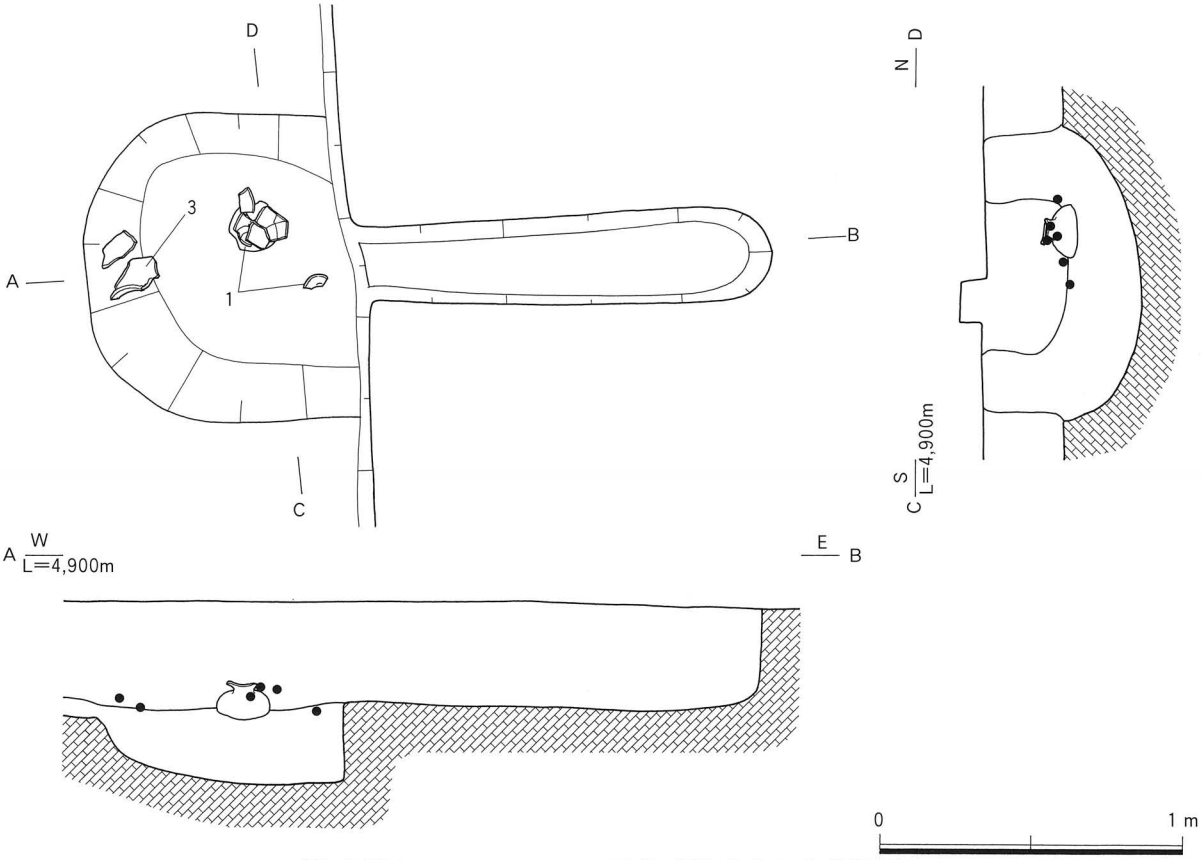
第553図　SB3049・EH1 平断面図



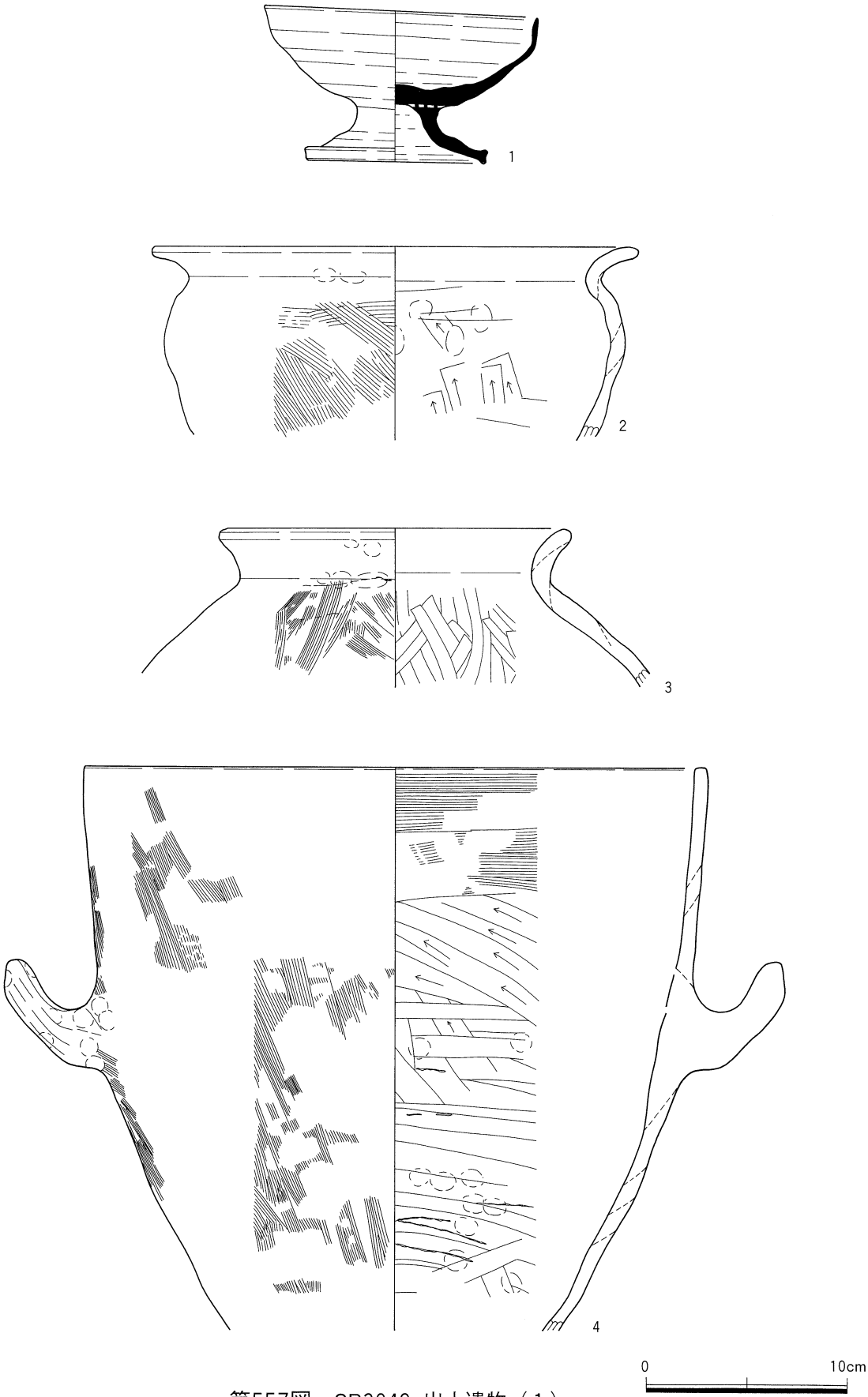
第554図　SB3049 遺物出土状況図



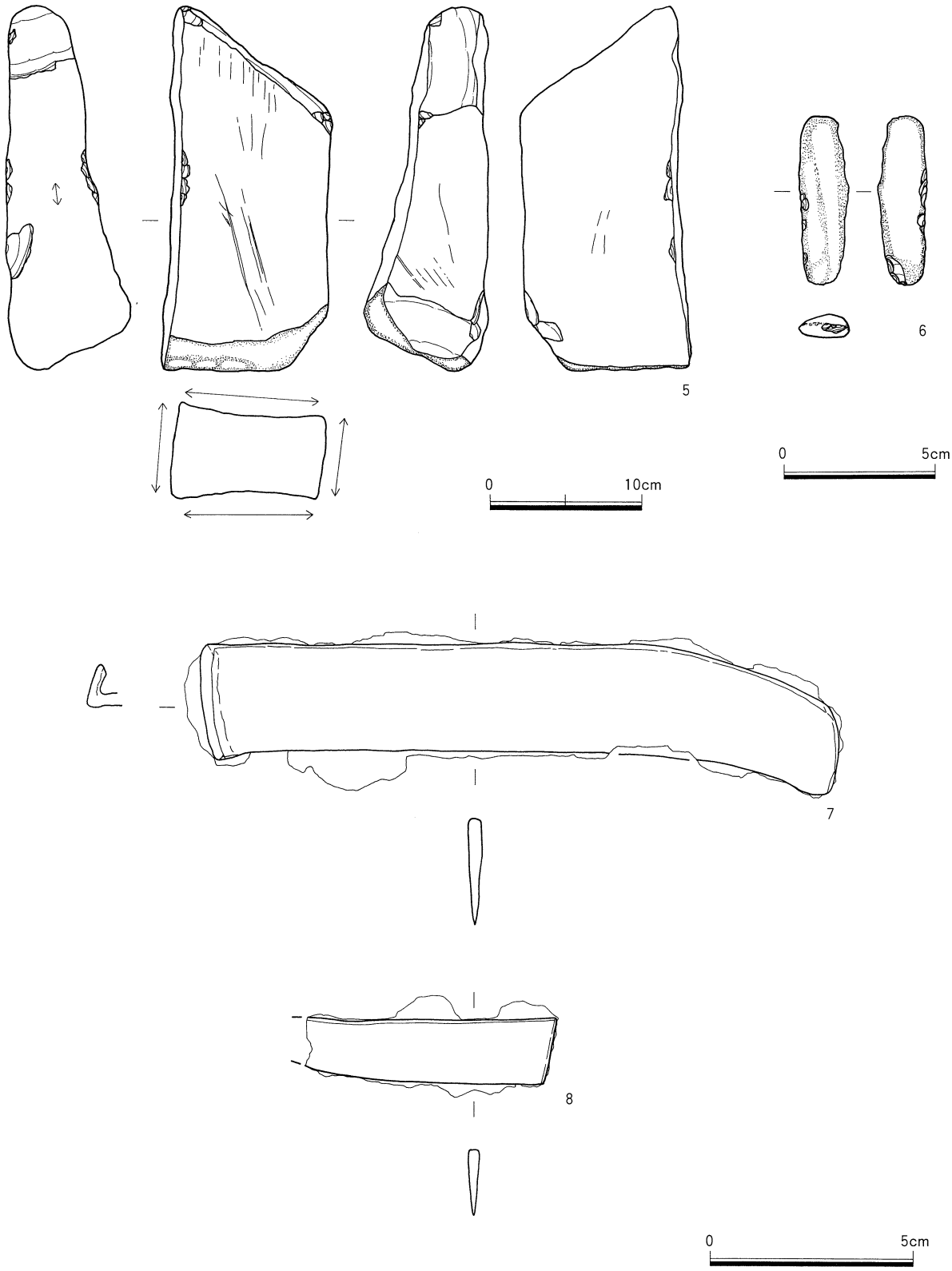
第555図　SB3049・EH1 遺物出土状況図



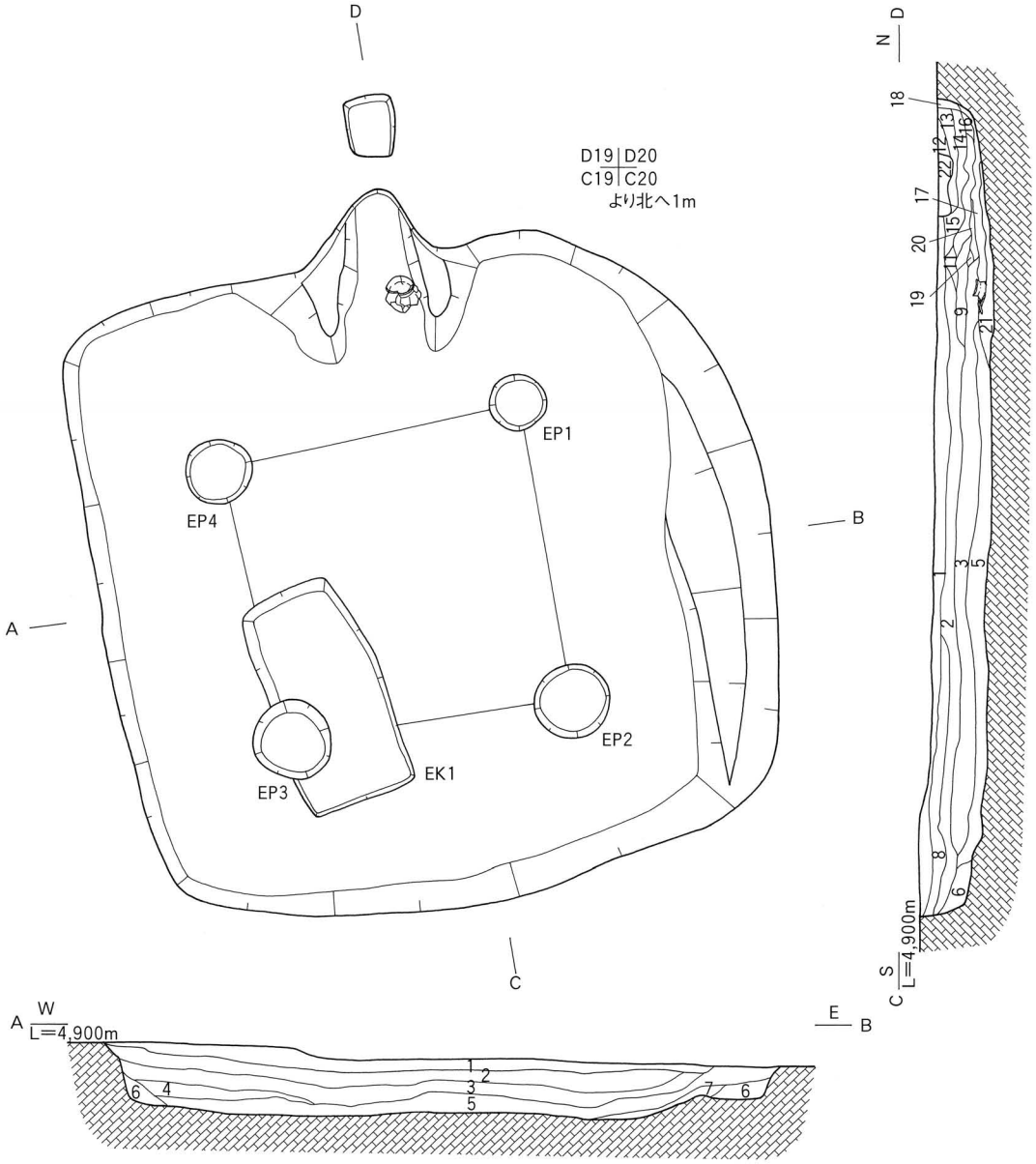
第556図　SB3049・EH1 下部構造遺物出土状況図



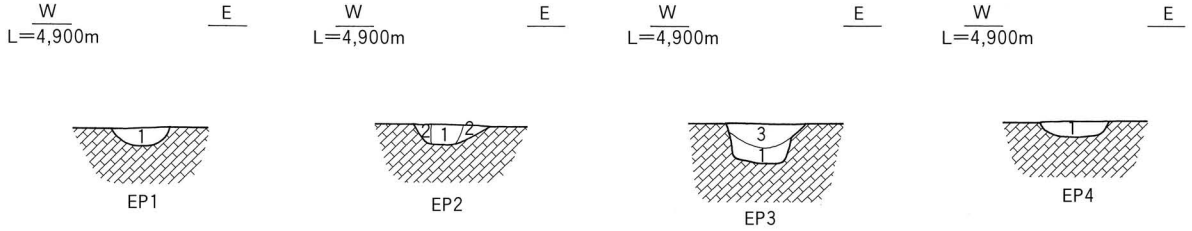
第557図　SB3049 出土遺物（1）



第558図　SB3049 出土遺物（2）



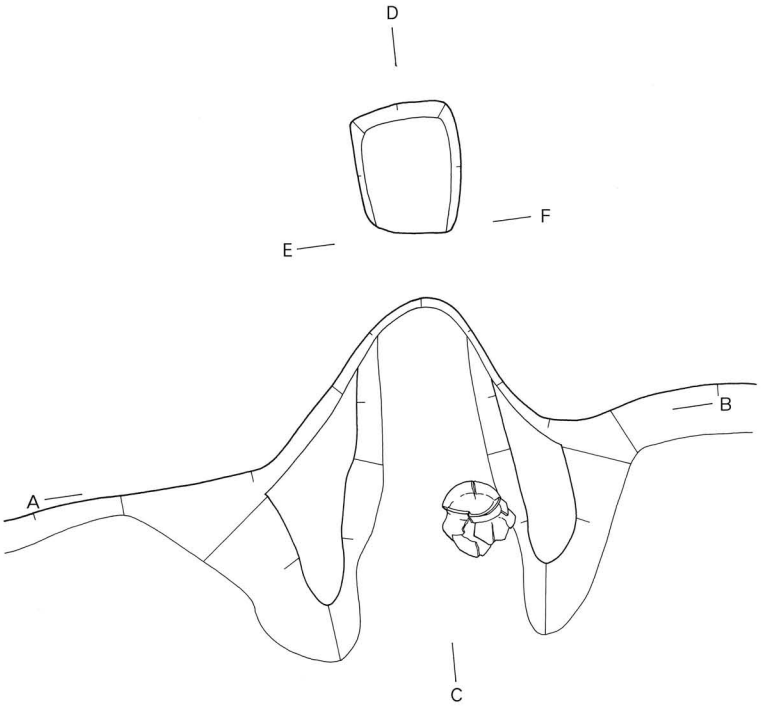
1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガン含む
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　焼土・炭化物含む
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
8　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト

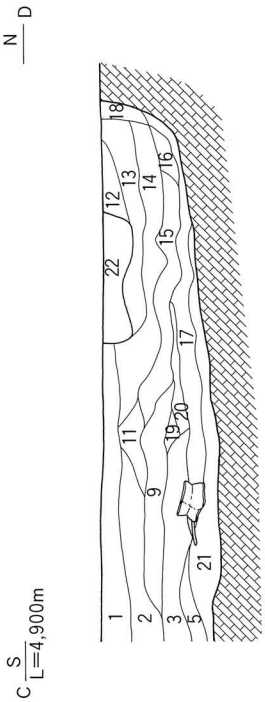


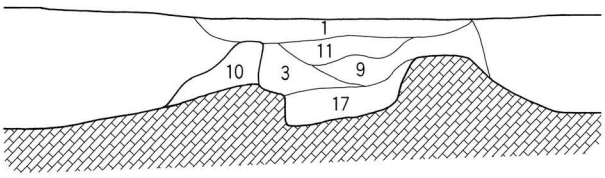
1　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
3　にぶい黄色（2.5Y 6/4）砂質土

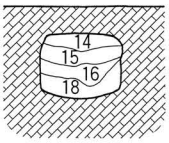
0　2 m

第559図　SB3050 平断面図





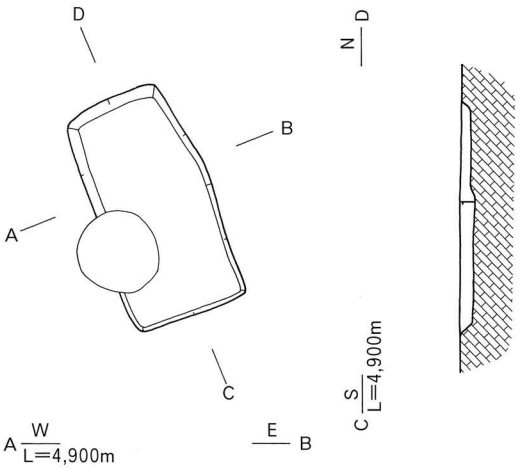


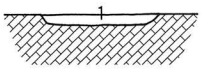


0 1 m

1	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	シルト	マンガン含む
2	オリーブ褐色	(2.5Y 4/4)	シルト	
3	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	シルト	
5	オリーブ褐色	(2.5Y 4/4)	シルト	焼土・炭化物含む
9	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	シルト	細砂含む
10	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	砂質土	
11	黄　褐　色	(2.5Y 5/6)	シルト	
12	オリーブ褐色	(2.5Y 4/6)	砂質土	
13	黄　褐　色	(2.5Y 5/6)	砂質土	
14	オリーブ褐色	(2.5Y 4/6)	シルト	
15	オリーブ褐色	(2.5Y 4/6)	シルト	粘性あり
16	黄　褐　色	(2.5Y 5/6)	シルト	
17	オリーブ褐色	(2.5Y 4/3)	粘質土	
18	黄　褐　色	(2.5Y 5/6)	砂質土	
19	オリーブ褐色	(2.5Y 4/4)	シルト	
20	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	シルト	炭化物・焼土含む
21	オリーブ褐色	(2.5Y 4/4)	粘質土	焼土含む
22	黄　褐　色	(2.5Y 5/4)	シルト	

第560図　SB3050・EH1　平断面図

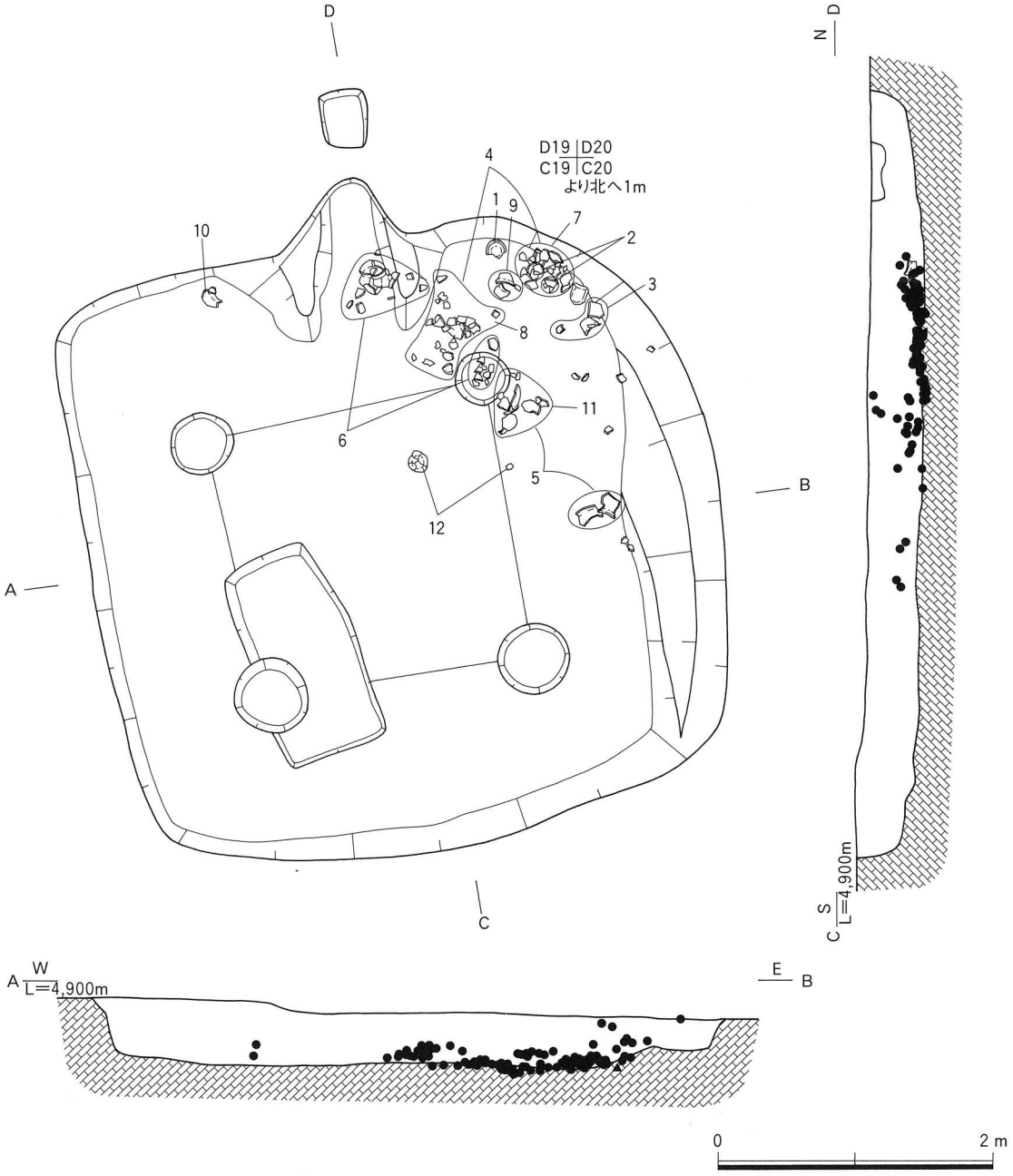




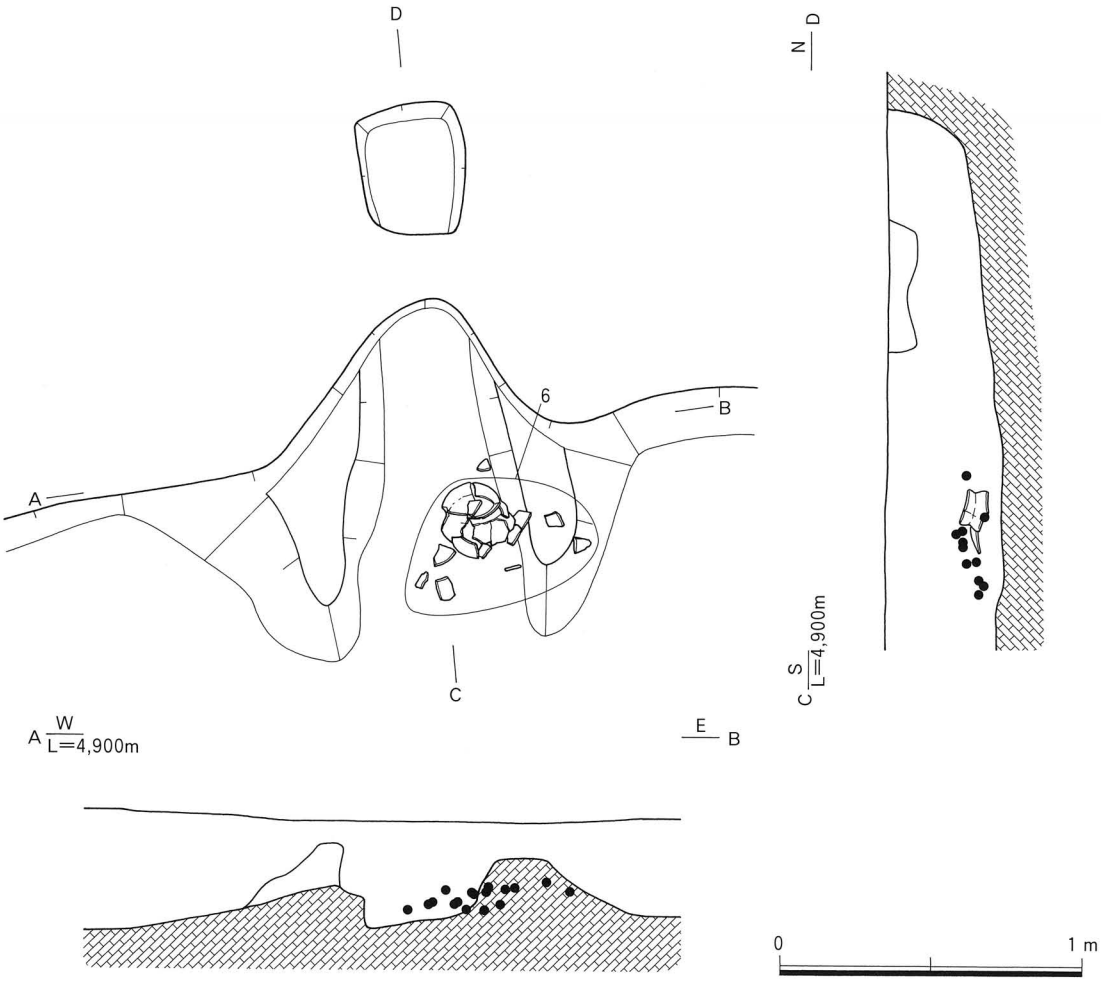
1　黄　褐　色 (2.5Y 3/3) 砂質土

0 2 m

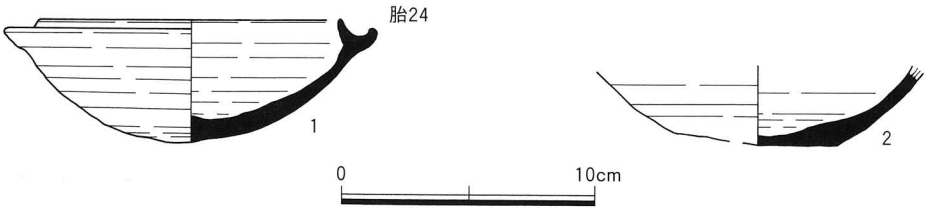
第561図　SB3050・EK1　平断面図



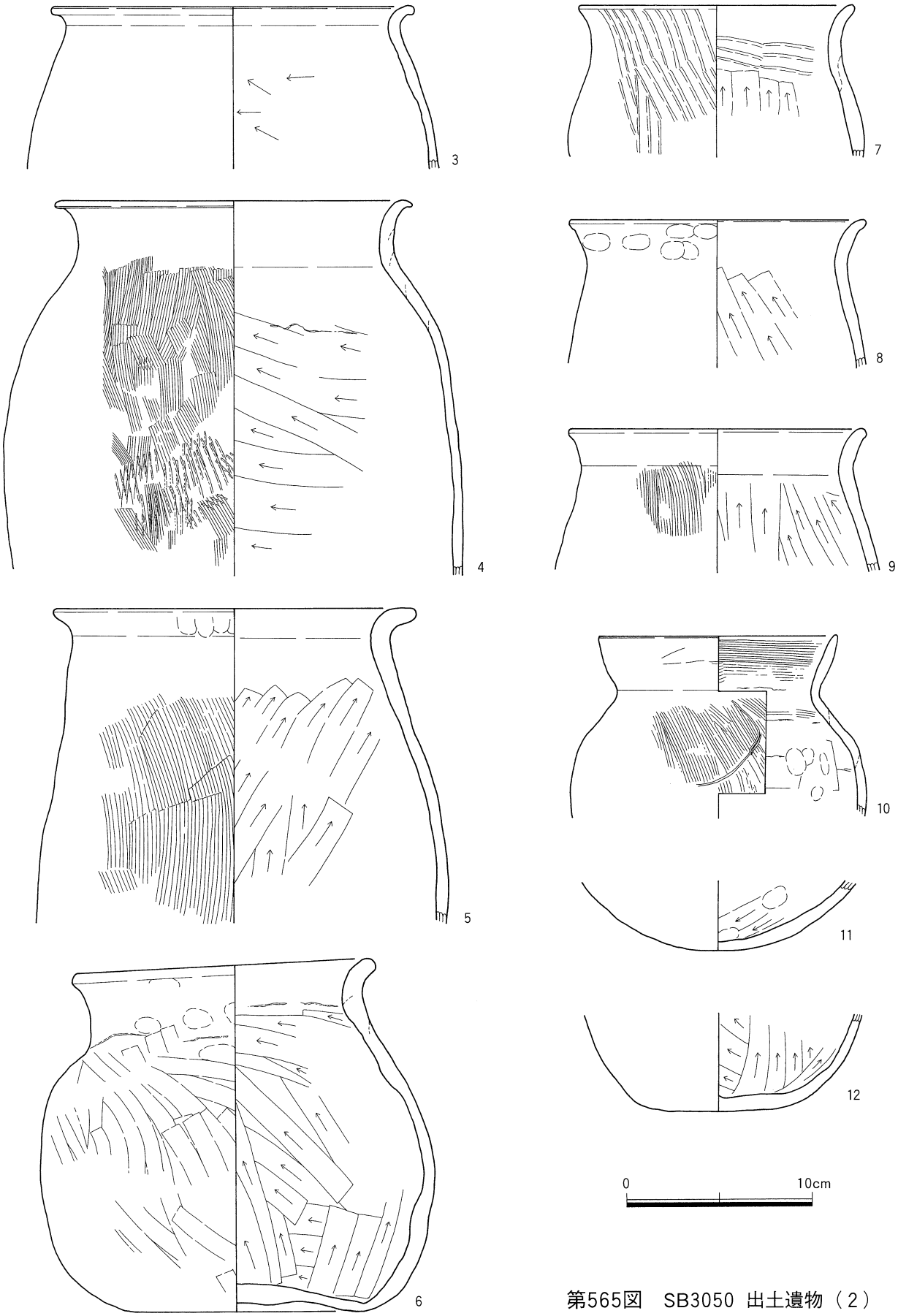
第562図　SB3050 遺物出土状況図



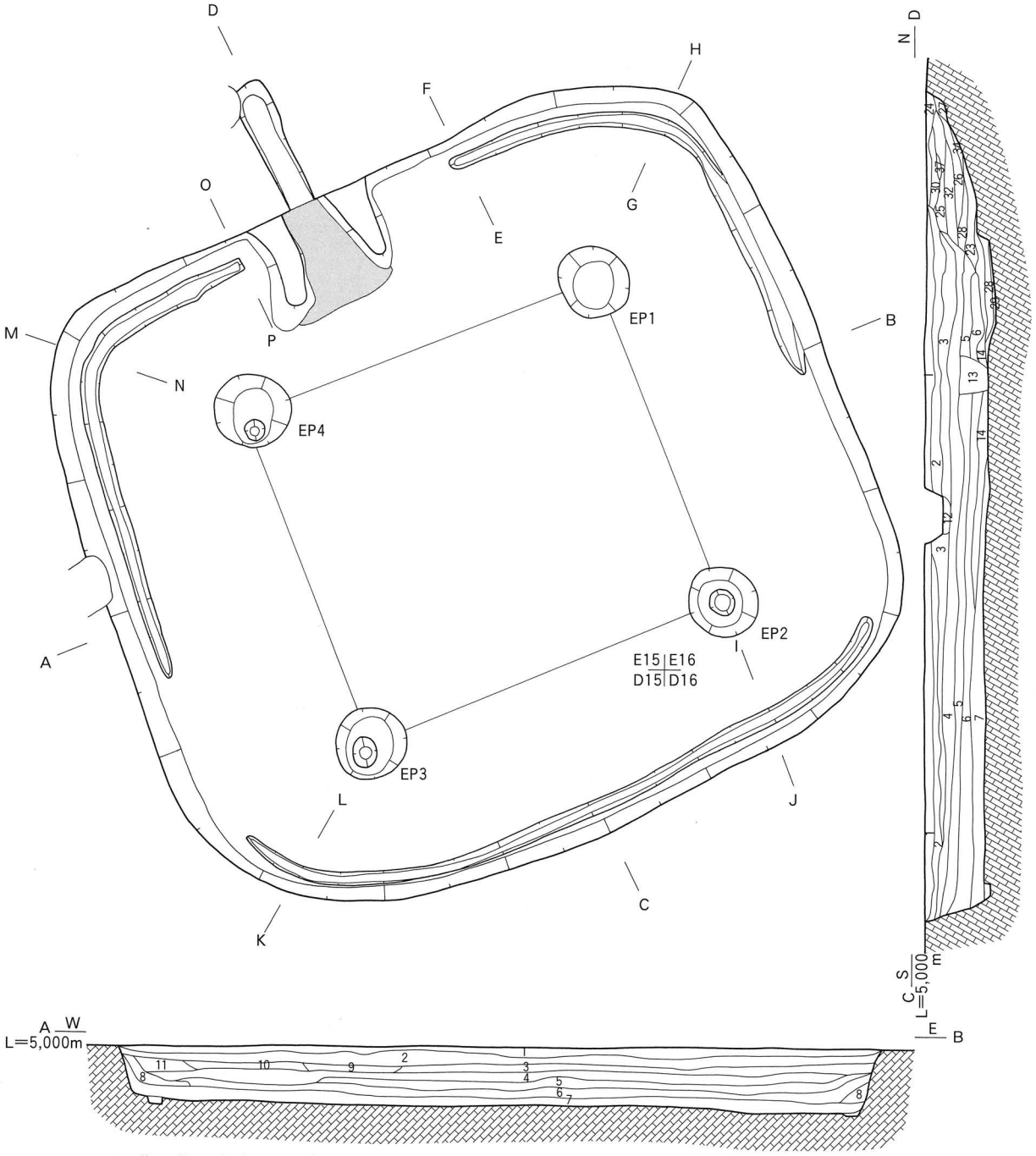
第563図　SB3050・EH1 遺物出土状況図



第564図　SB3050 出土遺物（1）



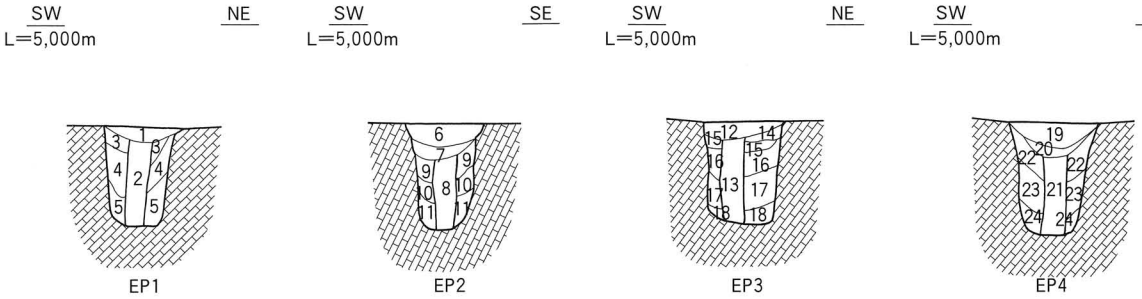
第565図　SB3050 出土遺物（2）



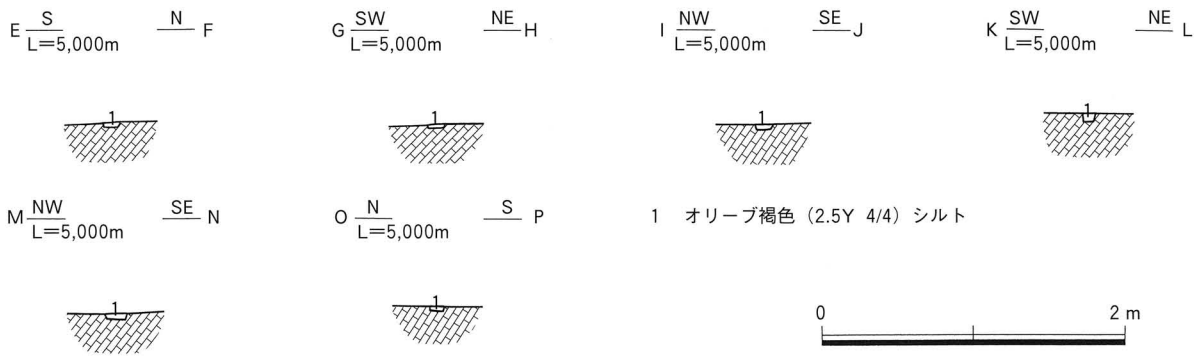
1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガンを含む
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
10　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
11　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
12　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
13　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト

0　2 m

第566図　SB3051 平断面図



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガンを含む
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　土器片を含む
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　焼土を含む
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガンを含む
6　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト　炭化物を含む
7　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
8　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト　マンガンを含む
9　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
10　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガンを含む
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
12　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト　マンガンを含む
13　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト　マンガンを含む
15　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
16　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト　マンガンを含む
17　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
18　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
20　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
21　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）シルト
22　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　粘性弱い
23　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
24　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土



第567図　SB3051・EP・ED 断面図

近から炭化物の拡がりがみとめられた。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内および南壁沿いを中心に検出された。

出土遺物　1は須恵器の杯身である。2は土師器の甕である。3は砂質片岩の敲石である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

59号竪穴住居跡（SB3059）（第610・611図）

検出場所　2003年度調査3－3区　Loc.G1・γⅡD11グリッド

形態・規模　南側および東側が調査区外に延びているため、平面形状や規模は不明である。残存する深度は0.20mを測る。

土層　2層に分層される。

柱穴　検出されていない。

竈　検出されていない。

遺物出土状況　図化できるものはない。

出土遺物　1は須恵器の杯身である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

60号竪穴住居跡（SB3060）（第612・613図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡD11グリッド

形態・規模　北側および東側が調査区外に延びているため、平面形状や規模は不明である。残存する深度は0.42mを測る。

土層　５層に分層される。

柱穴　検出されていない。

竈　検出されていない。

遺物出土状況　図化できるものはない。

出土遺物　１は須恵器の甕である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期以後と考えられる。

61・62号竪穴住居跡（SB3061・3062）（第614～622図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡE10・11・F10・11グリッド

形態・規模　62号住居の上に61号住居が構築されているとみられ、62号住居は竈の基底部を残すのみの検出である。61号住居は方形または長方形を呈するとみられ、長軸6.68m、短軸4.10m（残存値）、表面積は27.4㎡（残存値）を測る。残存する深度は0.38mである。

土層　７層に分層される。

柱穴　２軒で併せて９基検出されている。

竈　東壁に１基、62号住居の竈が検出されている。支脚に砂岩の自然石を利用している。袖部と燃焼部が検出された。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　62号住居の竈およびその周辺から検出されている。

出土遺物　１～３は須恵器の杯蓋である。４・５は須恵器の杯身である。６・７は土師器の甕である。８・９は砂質片岩の剥片である。10は砂岩の敲石である。11は銭貨で「寛永通寶」である。第622図１、２は土師器の甕である。３は砂岩の受熱礫で竈の支脚である。

時期　出土遺物から古墳時代後期（６世紀第２四半期・MT15並行期）と考えられる。

63号竪穴住居跡（SB3063）（第623～627図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡD９・10・11・E９・10・11グリッド

形態・規模　周囲の壁を他の住居に切られているが平面形態は長方形を呈し、長軸6.45m、短軸5.45m、表面積は約35.2㎡を測る。残存する深度は0.32mである。

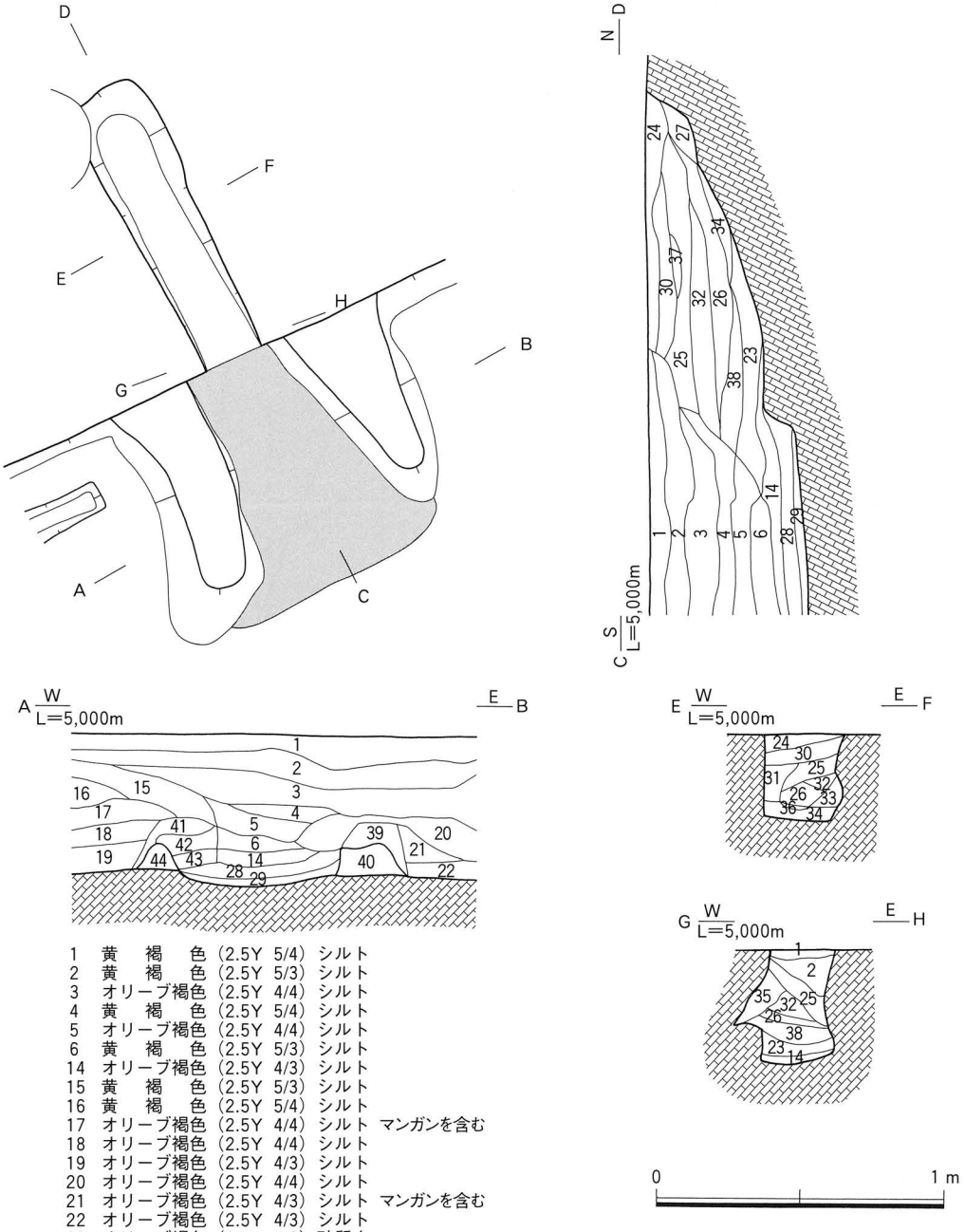
土層　10層に分層される。

柱穴　検出されていない。

竈　土師器の甕が据えられた状態で残されている他は上部の構造は残存していない。下部構造は土坑が掘削されているが図化されていない。西側に炭化物の拡がりがみとめられた。

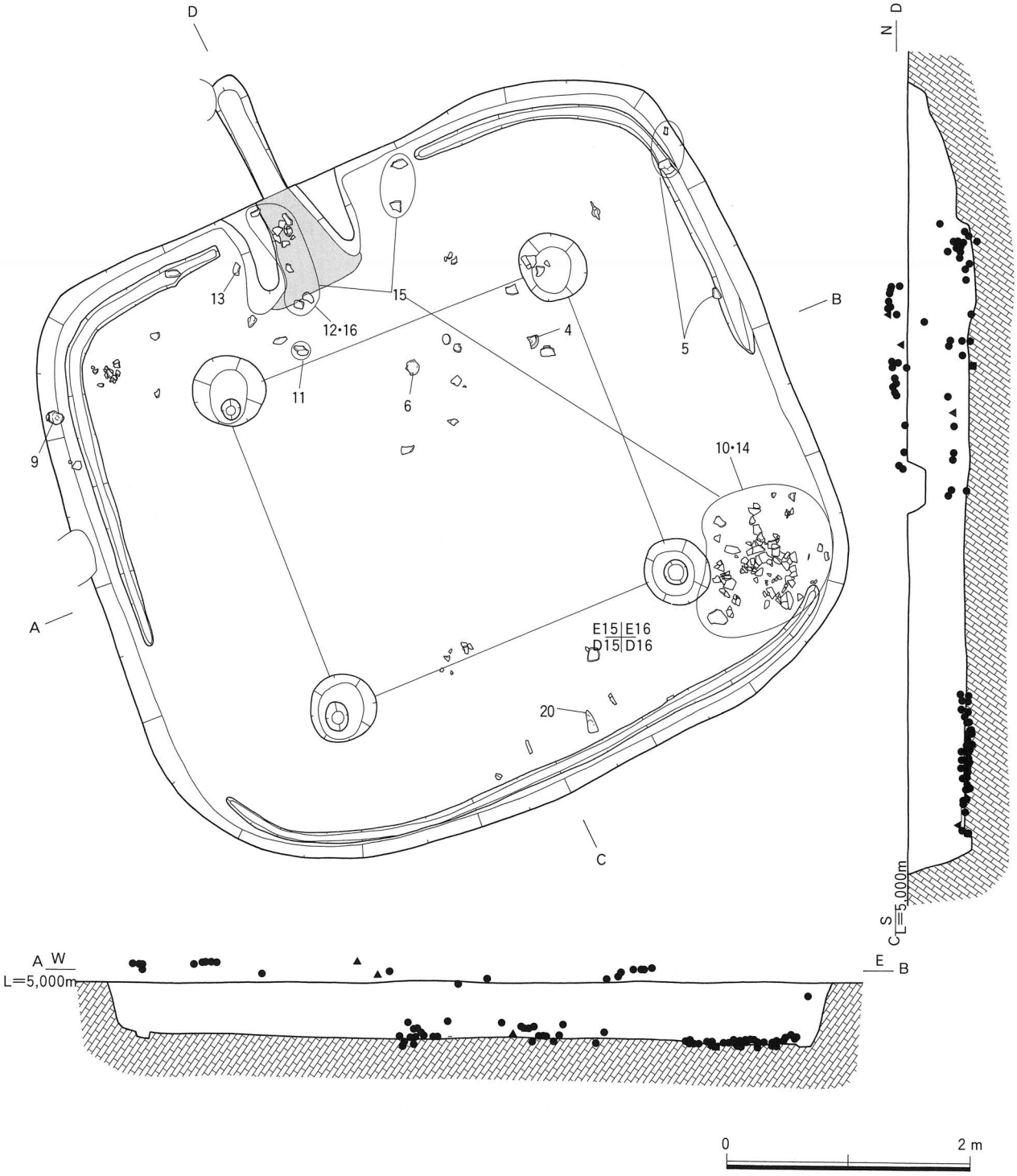
遺物出土状況　竈およびその周辺を中心に検出されている。

出土遺物　１～３は須恵器の杯蓋である。４は須恵器の杯身である。５・６は土師器の甕である。７・

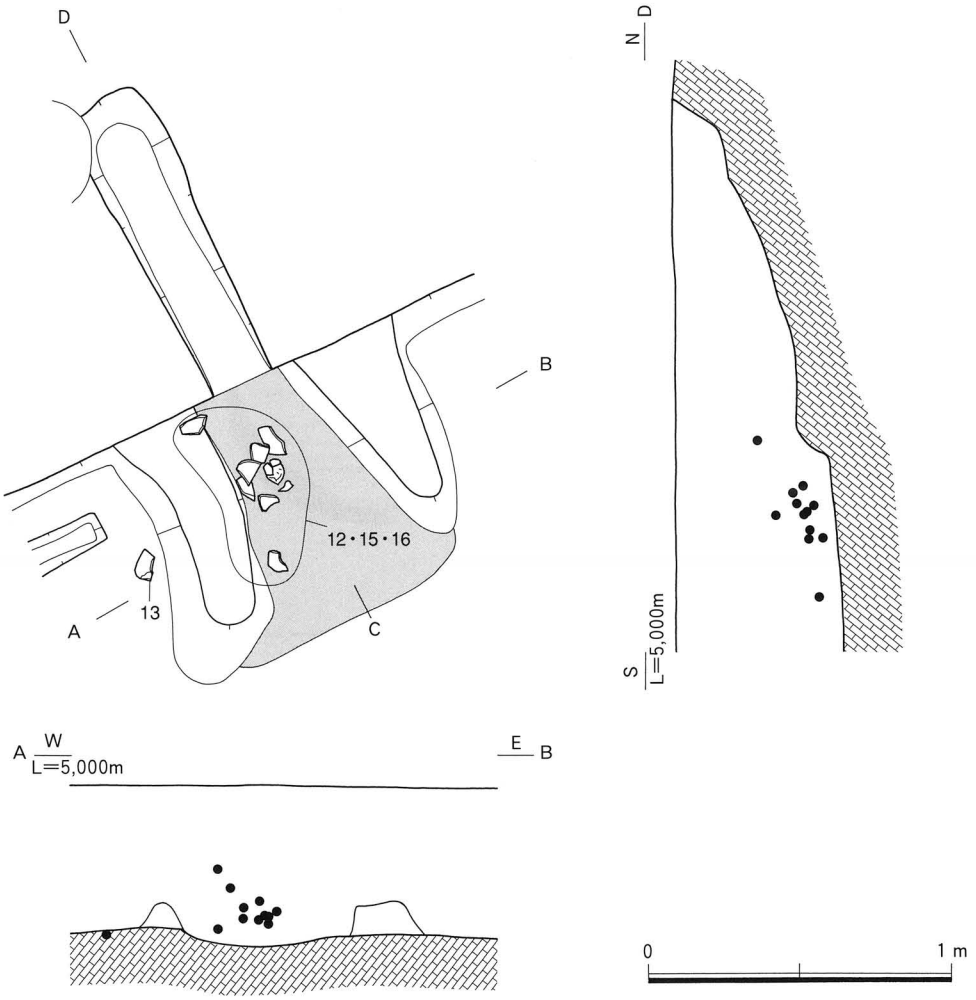


1　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
6　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
14　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
15　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
16　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
17　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　マンガンを含む
18　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
19　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
20　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
21　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト　マンガンを含む
22　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
23　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
24　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）砂質土
25　黄　褐　色（2.5Y 5/6）シルト
26　オリーブ褐色（2.5Y 4/6）粘質土
27　黄　褐　色（2.5Y 5/6）シルト
28　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト　焼土を含む
29　灰黄褐色（10YR 4/2）粘質土　炭化物を層状に含む
30　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
31　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
32　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）粘質土
33　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
34　褐　色（10YR 4/4）粘質土
35　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
36　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）粘質土
37　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
38　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト　炭化物を層状に含む
39　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
40　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
41　灰黄褐色（10YR 4/2）シルト
42　褐　色（7.5YR 4/4）シルト　焼土を含む
43　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
44　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土

第568図　SB3051・EH1　平断面図



第569図　SB3051 遺物出土状況図



第570図　SB3051・EH1 遺物出土状況図

8は砂質片岩の剥片で、竈の部材と考えられる。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第2四半期・MT15並行期）と考えられる。

64号竪穴住居跡（SB3064）（第628～633図）

検出場所　2003年度調査3－3区　Loc.G1・γⅡC9・D9・10・11・E10グリッド

形態・規模　平面形態は方形または長方形を呈するとみられるが、南側は調査区外に延びている。長軸5.43m、短軸4.60m（残存値）、表面積は25.0m²（残存値）を測る。残存する深度は0.21mである。

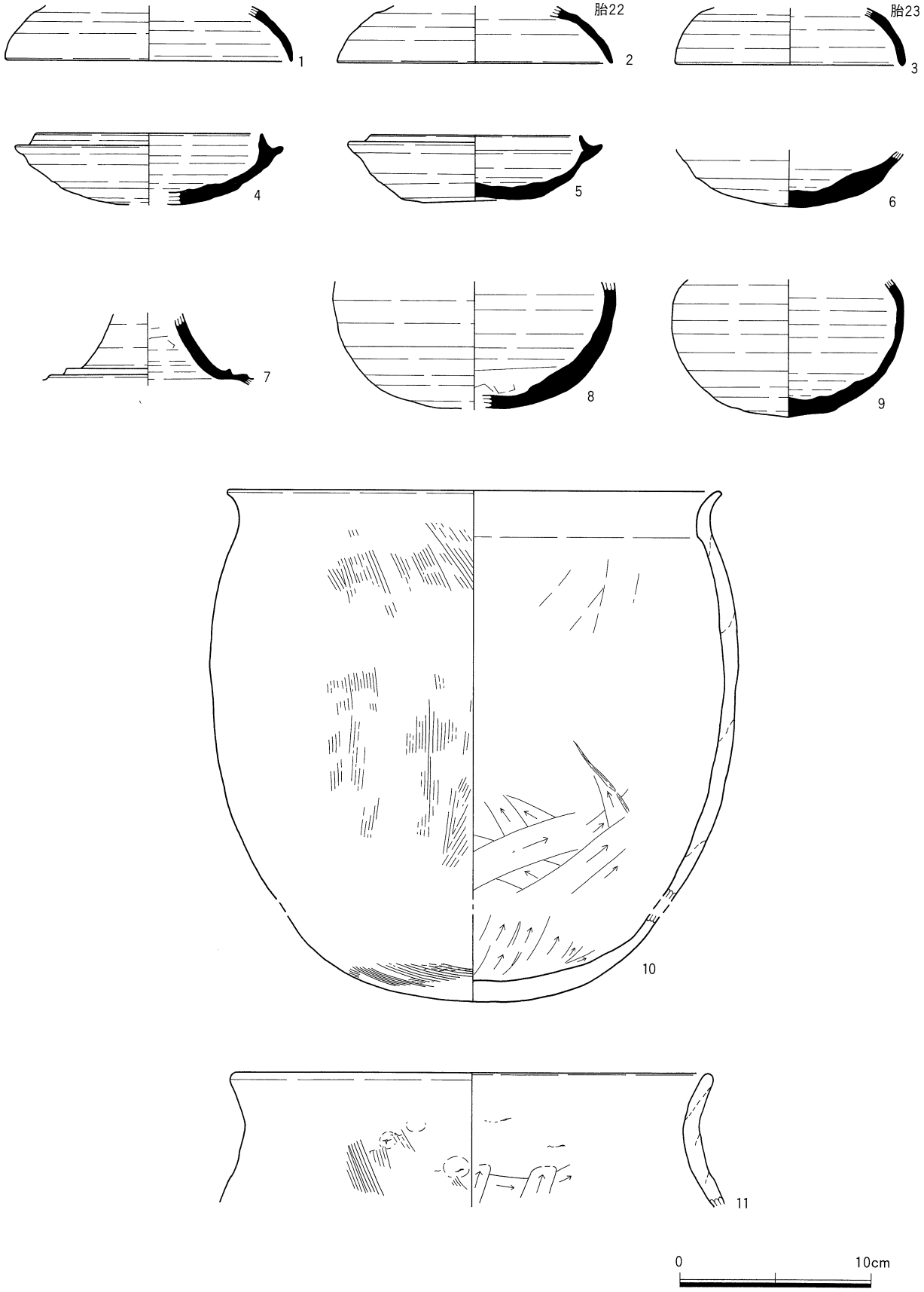
土層　17層に分層される。

柱穴　10基検出されており、そのうちEP1～EP4が主柱穴とみられる。

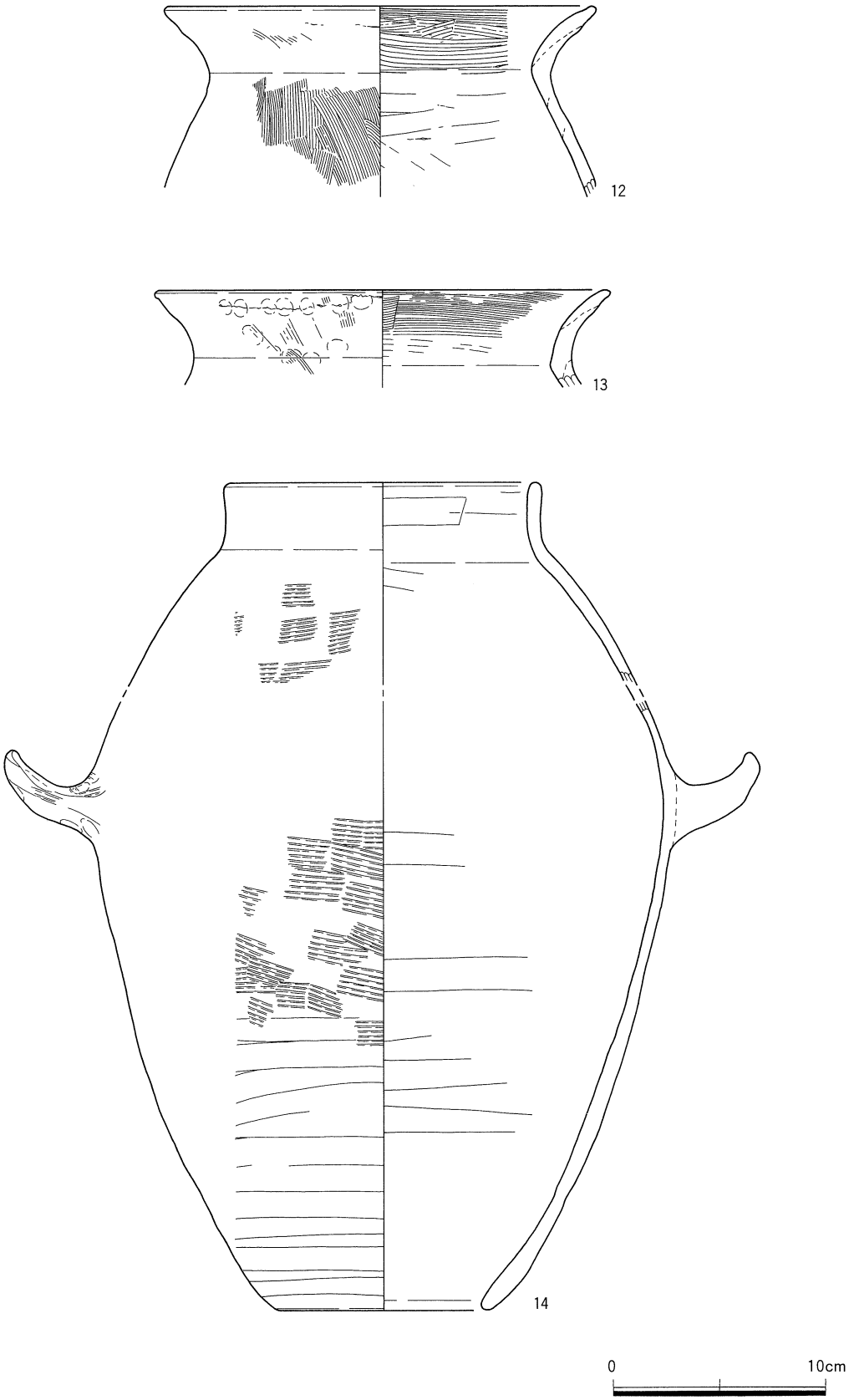
竈　北壁のほぼ中央に1基検出された。袖部、燃焼部および煙道部が検出されている。下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内を中心に検出された。

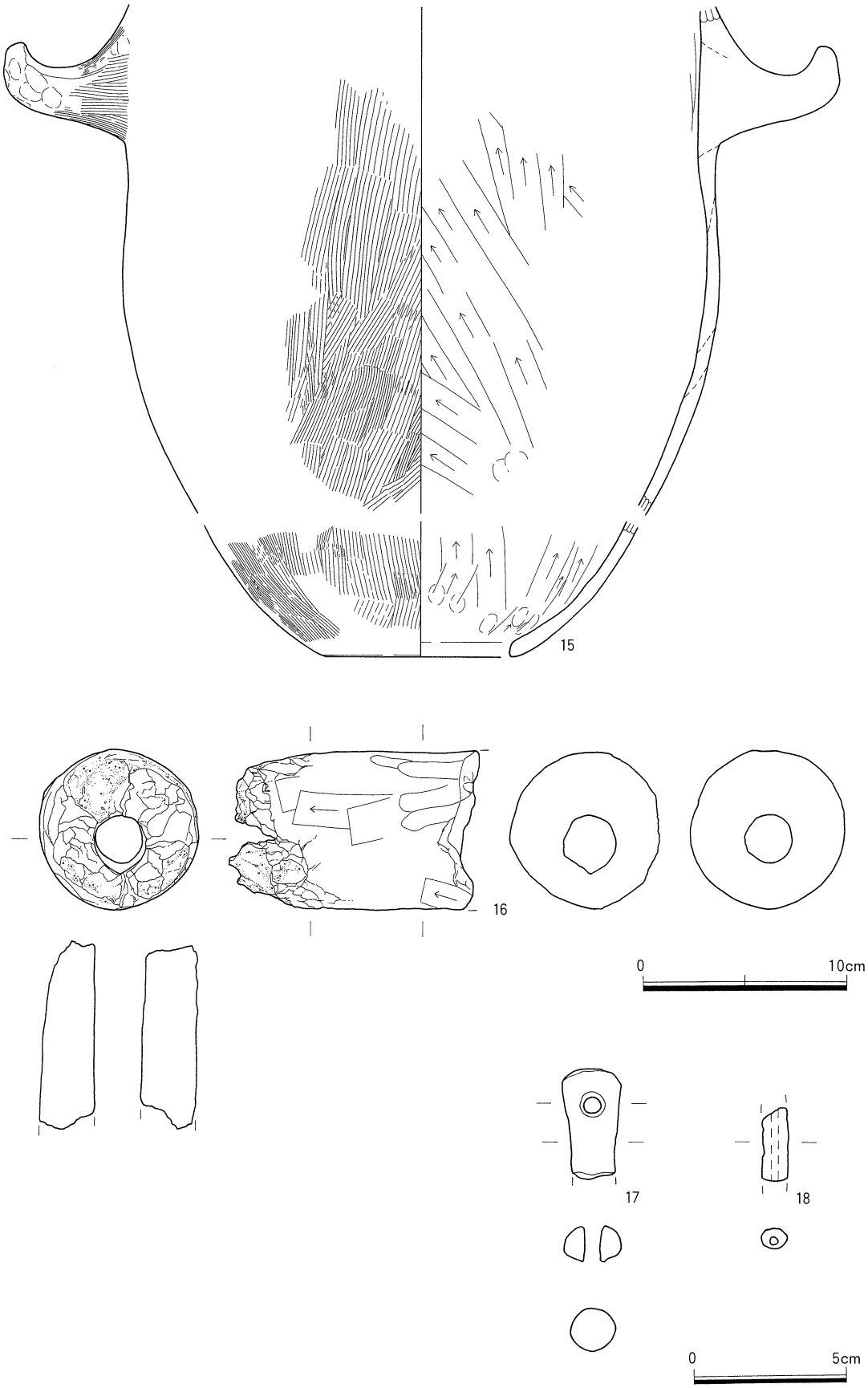
出土遺物　1は須恵器の杯蓋である。2・3は須恵器の杯身である。4は須恵器の高杯である。5～7は土師器の甕である。8・9は埋土上層中より出土した土師器の杯である。



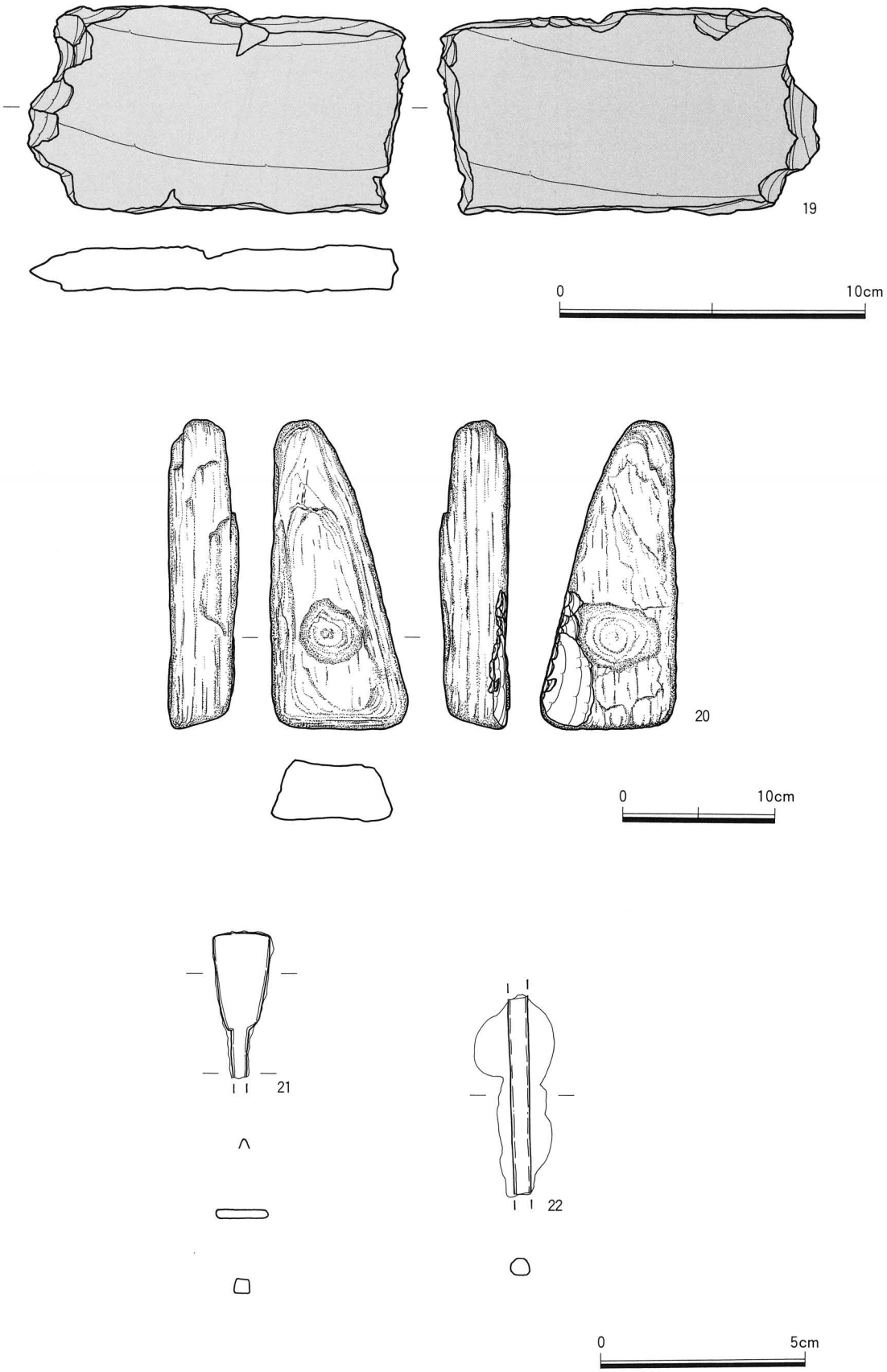
第571図　SB3051 出土遺物（1）



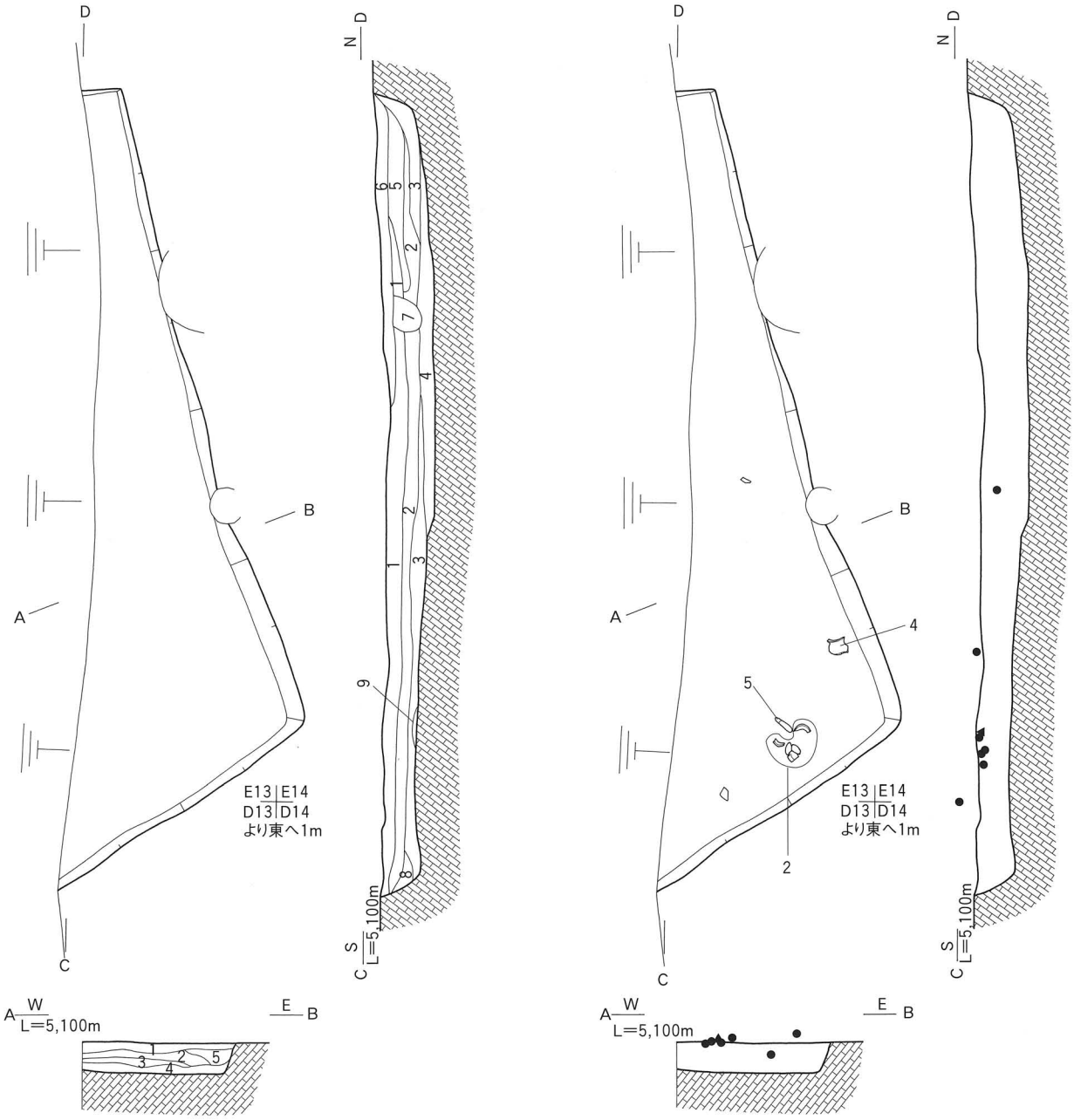
第572図　SB3051 出土遺物（2）



第573図　SB3051 出土遺物（3）



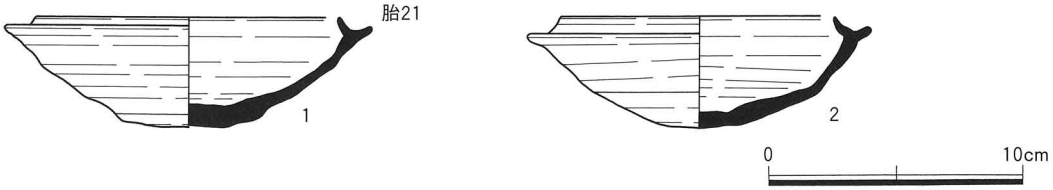
第574図　SB3051 出土遺物（4）



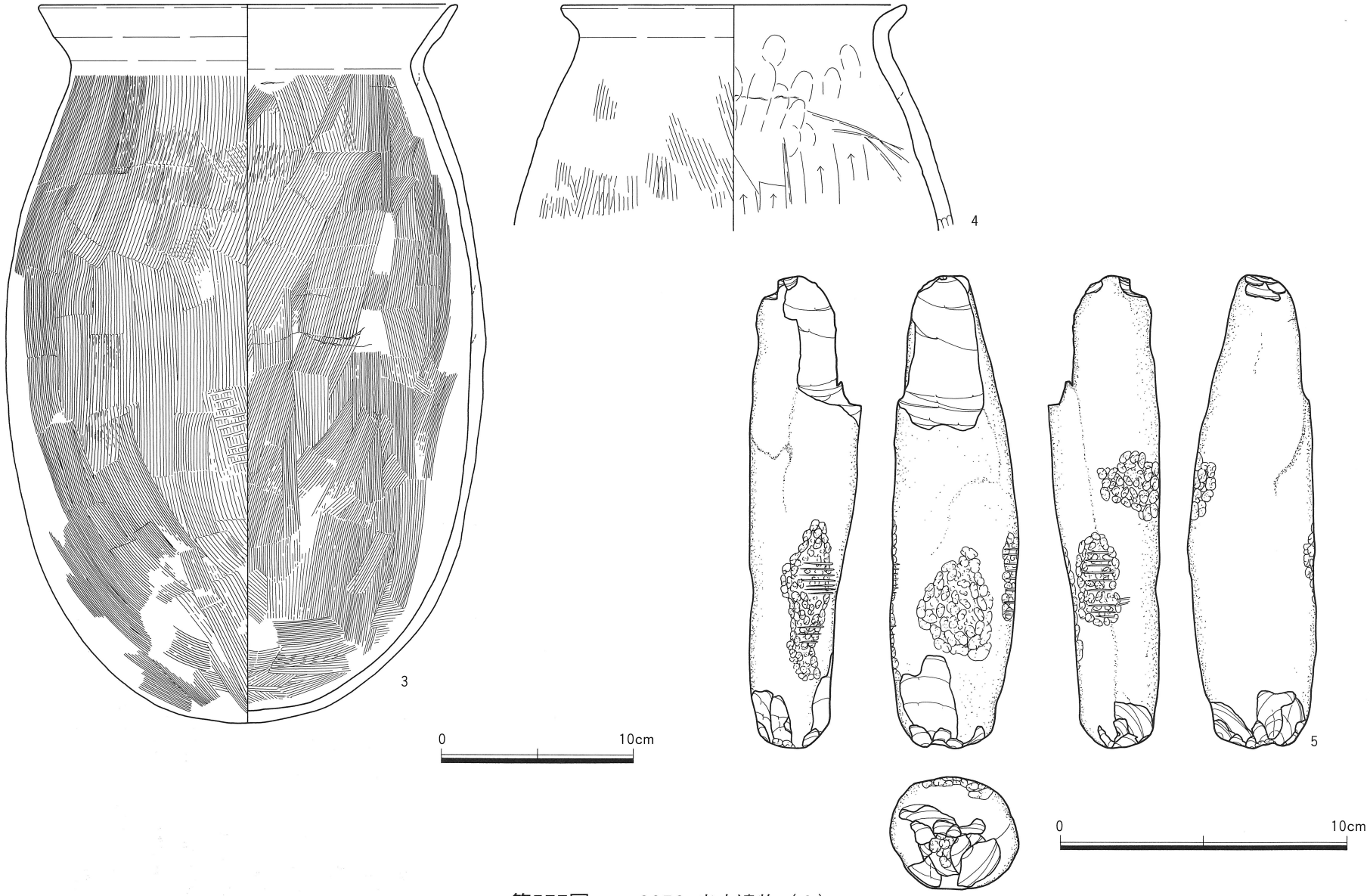
1　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト マンガン含む
2　黄　褐　色（2.5Y 5/3）シルト
3　黄　褐　色（2.5Y 5/4）シルト
4　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）砂質土
5　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト
7　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト 炭化物含む
8　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）シルト
9　オリーブ褐色（2.5Y 4/4）シルト 焼土・炭化物含む

0　2 m

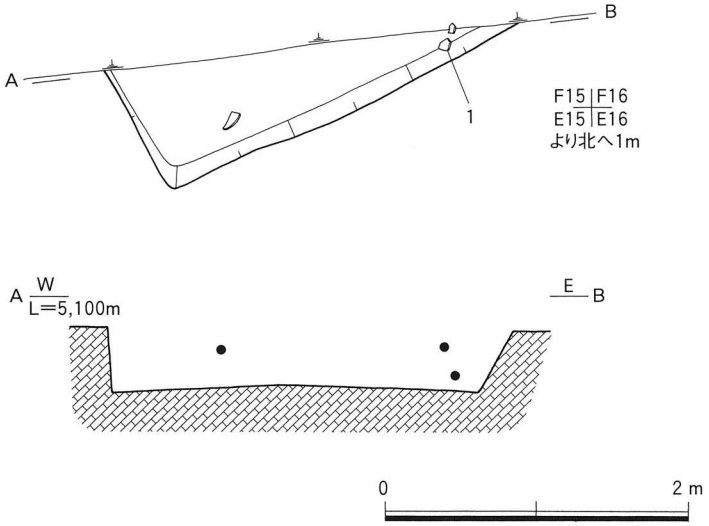
第575図　SB3052 平断面・遺物出土状況図



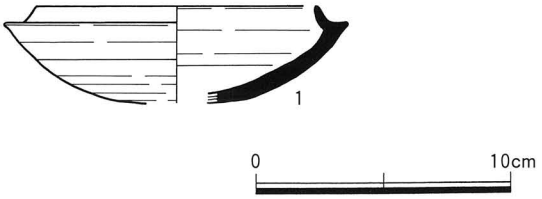
第576図　SB3052 出土遺物（1）



第577図　SB3052 出土遺物（2）



第578図　SB3053 平断面・遺物出土状況図



第579図　SB3053 出土遺物

時期　床面から出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。

65号竪穴住居跡（SB3065）（第634～637図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡD８・９・10・E８・９・10グリッド

形態・規模　平面形状は長方形を呈するとみられるが、北側は調査区外に延びている。長軸7.45m、短軸6.55m（残存値）、表面積は48.8m²（残存値）を測る。残存する深度は0.21mである。

土層　６層に分層される。

柱穴　６基検出されており、そのうちEP１～EP４が主柱穴とみられる。

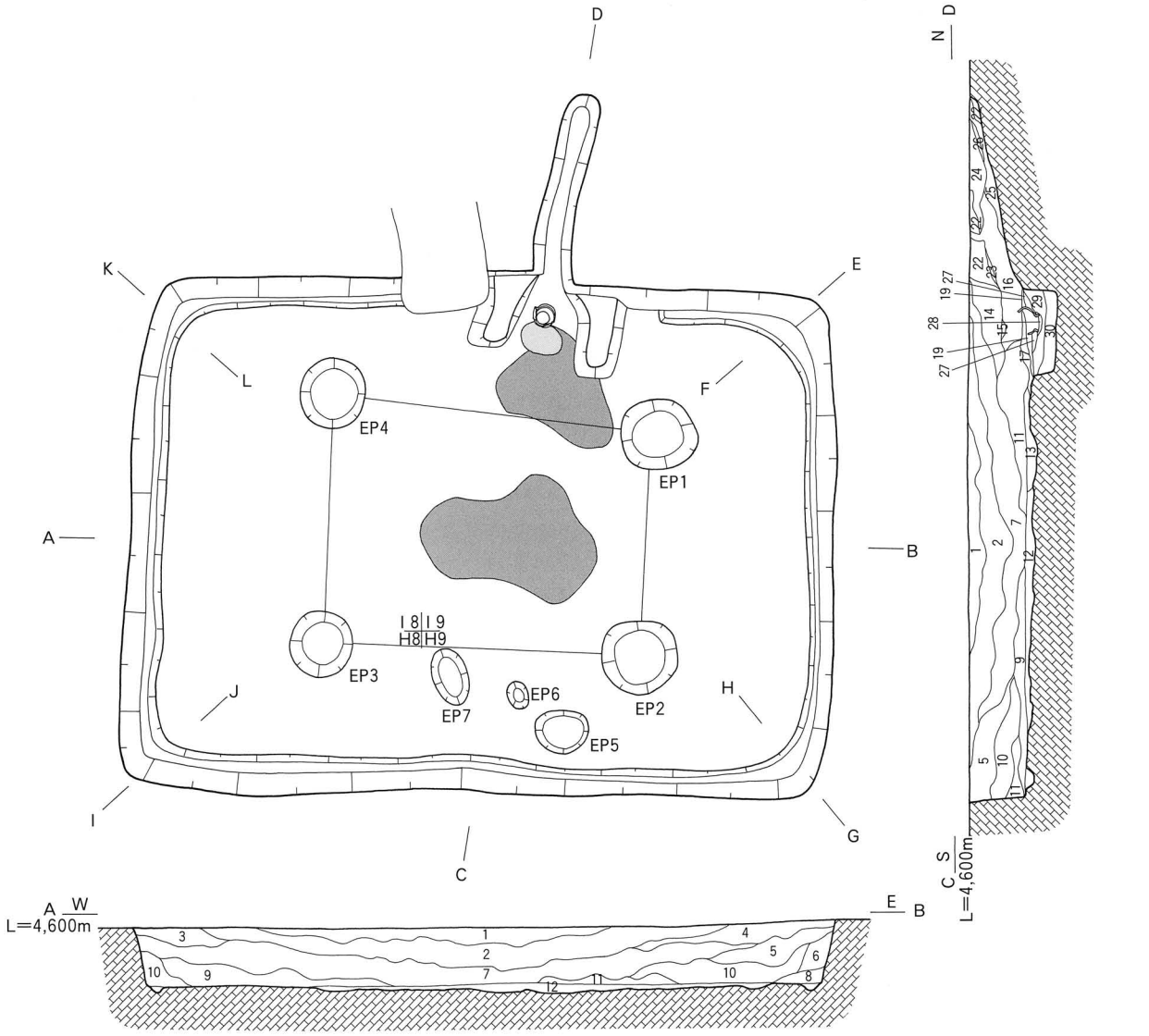
周壁溝　北側に１ヶ所確検出されている。

竈　検出されていない。

遺物出土状況　南壁沿いにわずかに検出された。

出土遺物　１・２は須恵器の壺である。３～５は須恵器の杯蓋である。６～８は須恵器の杯身である。９は須恵器の高杯である。10～12は土師器の甕である。13は土師器の椀である。14は土師器の杯である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第２四半期・TK217並行期）と考えられる。



1　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
2　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
3　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
4　黄　褐　色（2.5Y 5/4）砂質土
5　暗 灰 黄 色（2.5Y 5/2）砂質土
6　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
7　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
8　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
9　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
10　暗 灰 黄 色（2.5Y 4/2）砂質土
11　オリーブ褐色（2.5Y 4/3）砂質土
12　黄　褐　色（2.5Y 5/3）砂質土
13　灰 黄 褐 色（10YR 4/2）粘性砂質土

0　2 m

第580図　SB3054 平断面図

66・67号竪穴住居跡（SB3066・3067）（第638～640図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡD８・９・E８グリッド

形態・規模　平面形態は方形または長方形を呈するとみられるが、65号および69号住居に切られているため規模は不明である。また両者の切り合いについても図上からは判断できない。残存する深度は66号住居が0.21m、67号住居が0.12mを測る。

土層　66号住居は３層に分層される。

柱穴　66号住居から３基検出された。

竈　検出されていない。

遺物出土状況　66号住居の床面の南東部分からまとまって検出されている。

出土遺物　１～４は須恵器の杯蓋である。５・６は須恵器の杯身である。７は須恵器の甕である。８は土師器の甕である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（６世紀第２四半期・MT15並行期）と考えられる。

68・69号竪穴住居跡（SB3068・3069）（第641～645図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡD８・９・E８グリッド

形態・規模　どちらの住居も西側が調査区外に延びているため形状や規模は不明である。また両者の切り合い関係についても図上からは判断できない。69号住居の残存する深度は0.20mを測る。

土層　69号住居は６層に分層される。

柱穴　両住居共に検出されていない。

竈　69号住居において北壁に１基検出された。上部構造の大半は削られていたが、袖部、燃焼部の形状は確認できる。また下部構造は検出されていない。

遺物出土状況　竈内およびその東側からまとまって検出されている。

出土遺物　１・２は須恵器の杯蓋である。３は須恵器の杯である。４・５は土師器の甕である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第１四半期・TK209並行期）と考えられる。

70号竪穴住居跡（SB3070）（第646～650図）

検出場所　2003年度調査３－３区　Loc.G１・γⅡC８・９グリッド

形態・規模　南側が調査区外に延びているため形状や規模は不明である。残存する深度は0.18mを測る。

土層　９層に分層される。

柱穴　検出されていない。

竈　北壁に１基検出されている。袖部および燃焼部が検出されており、下部構造については検出されていない。

遺物出土状況　竈内から検出されている。

出土遺物　１～３は須恵器の高杯である。

時期　出土した遺物から古墳時代後期（７世紀第１四半期・TK209並行期）と考えられる。

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第72集

敷 地 遺 跡（Ⅰ）

道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査報告書

《第１分冊　本文編１》

発行日　平成20（2008）年３月25日

編　集　財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
〒779-0108　徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番２
ＴＥＬ（088）672-4545　　ＦＡＸ（088）672-4550

発　行　徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

印　刷　徳 島 県 教 育 印 刷 株 式 会 社